



年次報告書  
2018

The image features a dark blue background with several overlapping, semi-transparent circles in various shades of blue. On the left side, there is a series of concentric, irregular shapes that resemble a stylized flower or a series of overlapping petals. In the center-right area, the text "TOGETHER TOWARDS PROSPERITY" is written in a clean, white, sans-serif font.

TOGETHER TOWARDS PROSPERITY

## CONTENTS

## 01 目次

x4	頭取からのメッセージ
x6	CEOからのメッセージ
x8	お客様とともに繁栄へ
x9	組織構造
x10	コーポレートガバナンス
x11	コーポレートガバナンス体制
x14	内部監査・内部統制システム
x16	経営陣
x17	沿革 (2012-2017)
x19	アワード受賞歴
x22	企業の社会的責任
x23	財務ハイライト
x28	人的資源管理

## 02 ビジネス活動

x31	コーポレートバンキング
x33	リテールバンキング
x41	財務管理
x44	国際銀行業務・対外関係
x47	TDBキャピタルLLC
x49	TDBリースLLC
x52	リスクマネジメント
x57	情報技術
x59	コルレス銀行

## 03 外部監査

x63	取締役および執行役員の声明
x64	外部監査報告書
x66	財務諸表
x66	包括利益計算書
x67	株主資本等変動計算書
x69	キャッシュフロー計算書
x70	決算書に対する注記

## 頭取からのメッセージ



親愛なるお客様、パートナー、株主の皆様。

今年も成功に満ちた年のレポートのハイライトをご紹介しますことに感謝しています。

私たちは、お客様とパートナーに提供する価値を高めることを重視し、徹底的な変革とプロジェクトを実施しました。

2018年に、世界的に評価の高い150の銀行とのコルレス関係を拡大しました。それにより、外国取引の約85%を決済し、貿易取引全体の約57%の資金を調達しました。

私たちは、国際的な銀行や金融機関から蓄積した資金で、可能な限り最も低い年利で可能な限り長期にわたって提供することに注力し続けました。

さらに、モンゴルと中国の包商銀行および微商銀行との間で、2億5000万元のシンジケートローン契約を初めて締結しました。

また、内モンゴル銀行の信用枠は2億元に増加し、7,000万USDの信用資本を受け取りました。したがって、私たちが海外から受け取った金額は、4,368.6億MNTに達しました。



2018年に、世界的に評価の高い150の銀行とのコルレス関係を拡大しました。それにより、外国取引の約85%を決済し、貿易取引全体の約57%の資金を調達しました。

ADBの信用保証プログラムの第2フェーズで顧客のビジネスに融資するために提供された総資金の30%を獲得したため、ビジネス支援銀行としての価値があることを証明しました。

持続可能な融資基準のリーダーであり、成功した実践者であり、「ToCリーダー」銀行である私たちは、「サステナブルフォーラム2019」を開催して、知識とベストケーススタディをモンゴルの銀行と共有しました。

28年間、私たちと共に喜びと勝利を分かち合ったお客様、パートナー、従業員に心から感謝します。

2019年に私たちはお客様が夢を実現し、価値を生み出し、完全に成功するよう支援することを目指しています。

あなたの将来にすべての最高のことを願っています。

心から敬意を表して

頭取  
MEDREE Balbar



## CEOからのメッセージ



親愛なるお客様、株主、ビジネスパートナー、  
関連会社の皆様

2018年の業績、結果、およびパフォーマンスの  
レポートを提示できることを嬉しく思います。

ポジティブなマクロ経済指標により、2018年は  
TDBにとって資産、顧客預金、ローンポートフォ  
リオの増加、そして最も重要なこととして利害  
関係者からの信頼が高まり、成功した年となり  
ました。

これは、お客様、パートナー、および従業員の  
勤勉さのコラボレーションの成果だと思えます。

報告年度において、TDBの資産は前年比5.9%  
増の7.2兆MNTに達し、顧客預金は同14.7%増  
の3.5兆MNTに達しました。

銀行の総資本は9,288億MNTに達し、1,963億  
MNTの株式資本と資本剰余金が増加しました。

また、銀行セクターの市場シェアを拡大してお  
り、全資産の22%、預金総額の20.04%を占め  
ています。



報告年度において、TDBの資産は前年比5.9%増  
の7.2兆MNTに達し、顧客預金は同14.7%増の3.5兆  
MNTに達しました。

銀行の総資本は9,288億MNTに達し、1,963億MNT  
の株式資本と資本剰余金が増加しました。

2018年、私たちは貿易金融、キャッシュフロー、および金融能力をサポートした結果、当社の貸付ポートフォリオは同10.8%増の2.8兆MNTに達しました。この利息により、収入は8.4%増加して6,645億MNTとなり、純所得は1,887億MNTに達しました。

独立した調査によると、銀行の顧客満足度指数は80.6%と推定され、TDBが「評判の良い」、「快適な」、「熟練した」と評価されたのは、私たちの努力の結果です。

企業の社会的責任を持つ大手銀行として、私たちはいくつかのプロジェクトに着手しました。たとえば、全国で28校の図書館を改修しました。また、母子保健センターの出生後外科集中治療室の改修に寄付しました。

TDBのデジタル化の一環として、AI(人工知能)に基づく初の貸付商品を導入し、「コーポレート Gateway」APIベースの銀行サービスソリューションを拡張して、お客様の時間を節約し、アクセスしやすくしました。

私たちのすべてのパートナー、関係会社の皆様が私たちのすべての勤勉なスタッフと私たちを信頼していることに感謝したいと思います。

2019年、TDBの私たちは、お客様を中心として、お客様のニーズと需要に基づいて製品とサービスを改善し、国の経済に大きく貢献する国際銀行になるよう努めます。

真心を込めて

CEO

ORKHON Onon



# お客様とともに繁栄へ

## 銀行ロゴ

ロゴはコインを基にしてデザインされており、四方から無限に流れ込む富と、成長と富の蓄積に向かって無限に循環する資金を象徴しています。

## スローガン

**“お客様とともに繁栄へ”**

TDBのスローガンは、従業員、顧客、投資家の皆様とともに、発展と繁栄に向けて、力を合わせて高め合いながら歩みます。



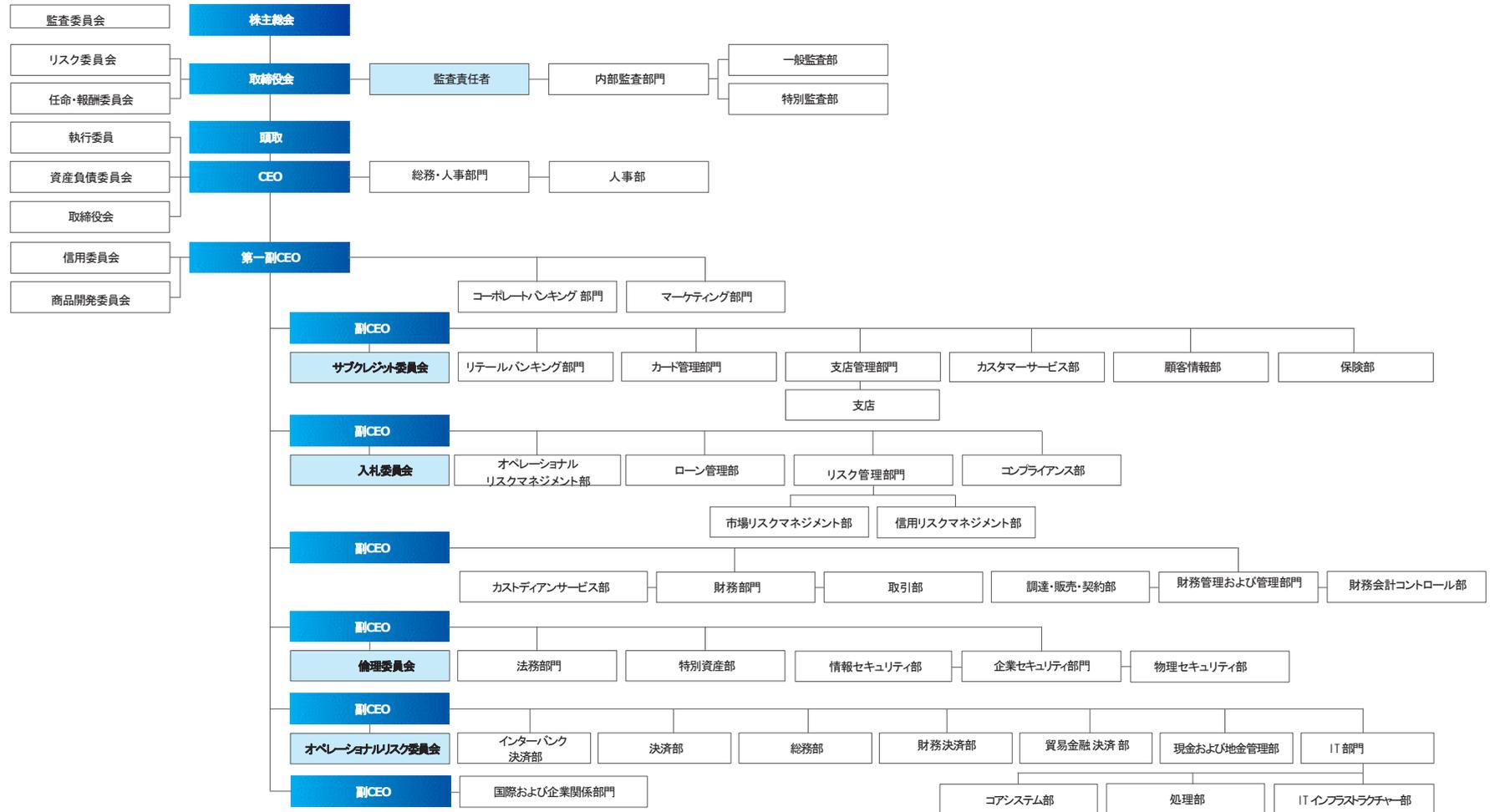
## ミッション

TDBは、モンゴルの主要なユニバーサル・バンクとして、法人、中小企業および個人向けに需要主導型の貴重なバンキング・ソリューションを開発し提供することにより、常に最高の顧客満足度を達成することを目指しています。私たちの成功は、優れたサービス、スタッフのプロフェッショナリズム、最高のコーポレートガバナンスへのコミットメントに基づいています。

## ビジョン

TDBは、強力な国際的プレゼンスを持つユニバーサル・バンクであり、持続可能な財政的幸福を追求するすべての顧客および利害関係者を支援し、献身的で信頼できる責任ある金融パートナーとして、モンゴルの主要金融機関です。

# 組織構造



# コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンスの優位性は企業の持続可能性の基本的側面であり、TDBは国際的なベストプラクティスに沿った包括的ガバナンスの枠組みをサポートしています。

TDBのガバナンス体制は、代表取締役、経営陣、株主およびその他の利害関係者で構成され、それは、倫理的価値の確立と、企業の戦略・目的を設定する枠組みを定義します。

## 取締役会

私たちの取締役会は、すべてのレベルで完璧な価値観、正直さ、そして公開性を必要とします。プロセスを通じて、すべての状況下で透明性の高いオープンなガバナンスとコミュニケーションを実現します。取締役会は、銀行業務を指揮しサポートするためのビジョンと戦略を提供しています。

## 経営陣

TDBの経営陣は、銀行や金融の有能なマネージャーで構成されています。慎重なコーポレートガバナンス体制、ガバナンスの方針と実務は、経営陣を監督し、長期的な株主価値を高める取締役の能力を支えています。

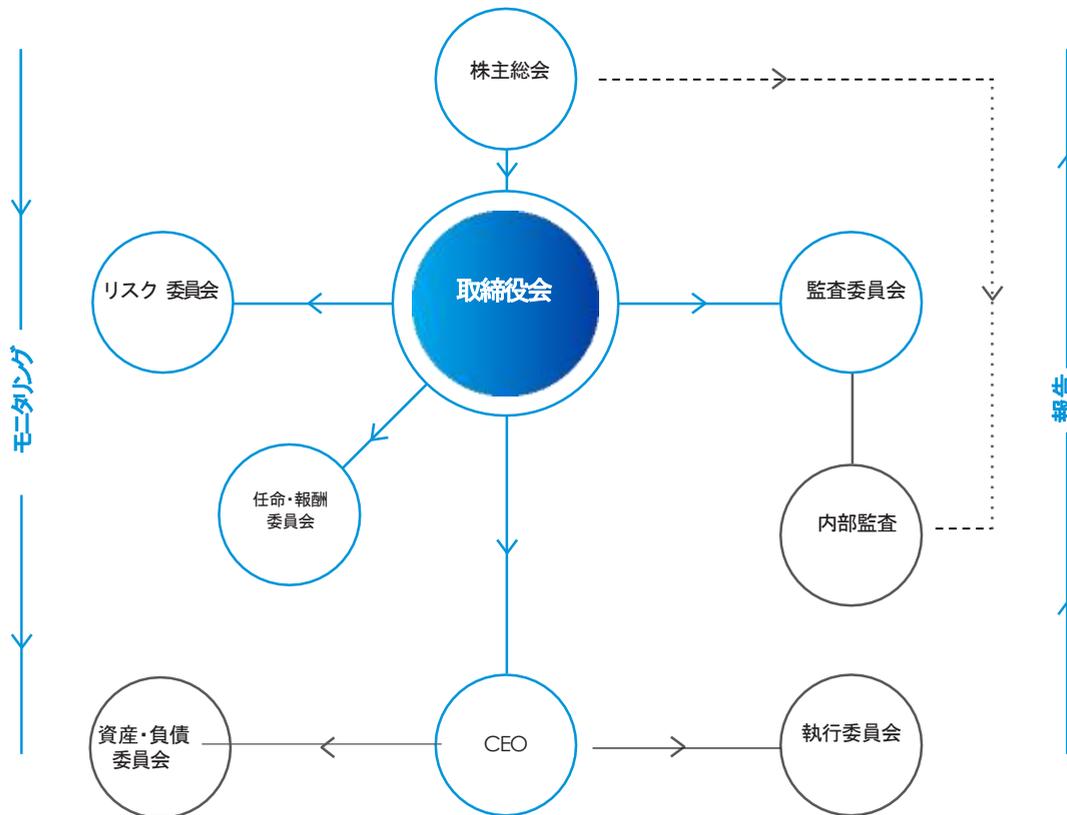
## 従業員

TDBは、忠実で安全、やりがいのある、やりがいのある仕事を提供し、質の高いスタッフを引き付けて維持することの重要性を認識し、その結果、顧客サービスで優れた地位にいることを約束します。

## 私たち

TDBは法的および倫理的責任を遵守し、倫理的な作業領域を維持することを強く約束しています。顧客と地域社会に貢献し、株主の利益を生み出すためには、成功は正当な方法で達成された場合にのみ意味を持ちます。

# コーポレートガバナンス体制



取締役会

会長

Mr. Doljin **ERDENEBILEG**

執行副会長

Mr. Randolph **KOPPA**

執行副会長補佐

Mr. Damdin **GANTUGS**

取締役

Mr. Zuunai **SHAGDARSUREN**

Ms. Jalbaa **BOLORMAA**

Ms. Tamir **TSOLMON**

Mr. Jamsrandorj **DELGERSAIKHAN**

事務局

Ms. Dashzegve **DAVAAJAV**

# 内部監査・内部統制システム

## 運用体制、内部監査の手配

取締役会監査、監査責任者、および内部監査部門(IAD)は、TDBの内部監査業務を担当しています。内部監査は、リスクマネジメント、統制、ガバナンスのプロセスの有効性を評価および改善するための体系的で統制されたアプローチを導入することにより、組織が目標を達成するのを支援します。

IADの機能は、ガバナンス、内部管理、部門、支店、決済センターおよび子会社のリスク管理を含むTDBの業務のあらゆる機能を、独立した、実観的なコンサルティングレポートを通じて指揮します。

## 内部監査の管理構造：



## 内部監査部門の運営

IADは、その結果を取締役会の監査役と監査責任者に報告し、内部監査はすべての業務において監査を行い、改善のために必要な情報を提供します。IADは、取締役会が承認した方針、手順、計画、およびIIAグローバルが発行した国際的な専門業務の枠組み(International Professional Practice Framework)を遵守しています。

## 内部統制システム

TDBの内部統制システムは、取締役会によって実行され、監査役とIADの内部統制の監視、評価の有効性と効率性を担当しています。

内部統制は、組織の目的と目標を目指しており、経営幹部からスタッフまで組織全体で行うべき包括的なプロセスです。内部統制はTDBの日々の機能の不可分な部分であり、あらゆるレベルの業務において最適な制御システムを持つことが求められています。

経営レベルのコントロール、個々の場所と部署のコントロール、オンサイトコントロール、苦情の対応、規制方針、手順、ガイドライン、プログラムへのアクセス権の付与を含みます。

銀行は、関連する法律や規制に基づいて、内部統制システムに必要な組織に対する適切なガバナンスを確立します。

TDBの取締役会は、内部統制システムをより最適化し、集中的に監視し、内部統制機能をより高品質で正確なものにするために、継続的に対策(内部統制に責任を持つ職務の作成、内部統制の手順、従業員の職務内容に内部統制の仕事と役割を含む)を実行しています。

IADは、TDBの内部統制が正常かつ効率的であるかどうかを監査し、取締役会がどのように内部統制を改善しているか、是正措置が適宜実施されたかの結果を評価し、結果を監査委員会、監査責任者、CEOに報告し、その都度必要な措置を講じます。

# 經營陣



1

**Mr. Balbar MEDREE**  
頭取



2

**Mr. Onon ORKHON**  
CEO



3

**Mr. Dambiijav KHURELBAATAR**  
副CEO



4

**Mr. Sanjaasuren ORGODOL**  
副CEO



5

**Ms. Demchigjav OTGONBILEG**  
副CEO



6

**Ms. Bayarbaatar BAYARMAA**  
副CEO



7

**Ms. Palamdorj GANTUUL**  
監査責任者



8

**Ms. Batchuluun MUNKHJAVKHAA**  
総務人事部長

# 沿革 (2012-2017)

- 初のICチップ入りカードを導入。
- モンゴルで初めて3通貨対応のUnion Payカードを導入。
- 3億USDのシニア債発行に成功。

2012



2013

- 初めて国際金融市場で8,200万ドルの "Syndicated Facility Loan Agreement" を締結。
- 正規品の安全なソフトウェアを普及するためのマイクロソフト社と「協力協定」を締結。
- ファイナンスアジア誌からアジア・フロンティア市場の最優秀銀行賞を受賞。

2014

- 初のCNY7億ドルの社債発行に成功。
- モンゴルの銀行として初の日本駐在員事務所を東京に開設。

2015

- 5億ドルのシニア債5年物を発行。
- モンゴル市場で初めてカストディアン銀行業務を開始

2016

- TDBはクリアリングサービスを提供するために国際航空運送協会 (IATA) の入札に参加し、選ばれました。その結果、航空会社とチケット代理店との間の決済取引を迅速かつ安全に実行するための包括的で最先端の金融サービスを提供し始めました。
- TDBは、法人顧客が現金管理効率を高め、利息収入を増やすための新製品であるコンバーチブル企業預金証書を発行しました。
- TDBは、お客様が国内外の取引をより迅速かつ容易に行うことができる「国際一括取引」サービスを導入しました。これによって外国企業は国外から口座を管理することが可能になります。

2017

- TDBは、2014年に発行された7億CNYの満期日に外部資金源なしで元本を正常に償還・再発行することにより、国際資本市場における信頼できる金融法人であることを証明しました。
- TDBのゴールドクレジットカードにVisa pay Wave技術を初導入し、市場にイノベーションの次の一歩を提示しました。
- 次世代のモバイル決済サービスであるTDB Payサービスを導入し、モバイル取引をより簡単に迅速かつ安全にしました。
- 世界中のどこからでも顧客を登録するためのTDBのプライマリバンキングプログラムに関連付けられたオンライン登録ソフトウェア「eReg」の立ち上げに成功しました。
- 当座預金口座の開設、貯蓄口座の開設、QR確認コードなどの公式銀行口座明細書の取得などの機能を追加することで、TDB Onlineサービスを改善しました。
- モンゴルの信用保証基金と提携し、アジア開発銀行が融資する中小企業向けに6,000万USDの融資契約を締結しました。
- TDBは、オンラインバンキングでバンキング、保険、株式市場サービスを顧客に提供する最初の銀行になりました。



## 2018 ハイライト



## 国際銀行および金融機関との資金調達および協力

モンゴルと中国の銀行間で最初の銀行間シンジケートファシリティ契約を締結し、包商銀行と徽商銀行との「シンジケートファシリティ契約」を締結し、250百万元の資金を受け取った。

TDBは、東京の駐在員事務所を通じて、モンゴルから初めて日本のクラウド市場の信用会社と協力して、日本の金融市場からクラウドファンディングという形でMNTの資金調達に成功しました。

「ビザの節約」製品に関する韓国大使館との協力協定に署名しました。



## デジタル銀行と情報セキュリティ

デジタル戦略の取り組みでは、コアバンキングシステムを改善し、ソフトウェアと情報セキュリティ機能を強化し、オムニチャネルプラットフォームを導入しました。このプラットフォームにはすべてのシステムが組み込まれており、顧客のエクスペリエンスが向上し、すべての銀行サービスにデジタルでアクセスできます。

努力の範囲では、Compass Plus LLCと契約を締結しました。

TDBは、モンゴルで最初のPCI DSS(ペイメントカード業界データセキュリティ基準)に完全に準拠した銀行となり、Qualified Security Assessor(QSA)ControlCaseからPCI DSS 3.2資格認定を受けました。



## リテール市場

---

アレンインターナショナルのデザインガイドラインの外観を備えた6つの新しい支店を開設しました。

モンゴルコンテンツLLCとの合意により、子供向け貯蓄商品のブランド名を「Maamuu」に変更しました。

「KHUR」指紋認証システムを導入しました。

モンゴルで初めて、Shopyy.mnの主要な電子商取引プラットフォームを使用した人工知能に基づく電子商取引消費者ローンを導入しました。

モンゴルバンクの「金融教育」キャンペーンの主要な支持者に選ばれました。

2018年のサステナビリティリーダー銀行として、「Sustainable Finance Forum 2018」を開催しました。

## 財務ハイライト

## 連結財政状態計算書

10億MNT

資産	2015	2016	2017	2018
現金および預金	695.0	1,188.8	1,073.9	1,294.8
有価証券	1,412.5	1,525.4	2,026.3	1,759.1
関連会社および合併会社への投資	46.8	59.5	60.8	-
貸出金および前払金(純額)	2,645.0	2,835.2	2,765.0	3,054.7
再販契約の下で購入された請求書	99.8	-	12.0	-
劣後ローン	4.0	4.0	-	-
有形固定資産(純額)	204.9	333.6	324.1	397.5
無形資産(純額)	1.4	5.0	2.6	2.8
投資不動産	99.8	88.9	92.0	80.1
抵当権のある不動産(純額)	1.4	2.2	2.8	2.7
繰延税金資産	333.5	602.5	515.4	627.1
その他の資産	-	-	-	64.9
<b>総資産</b>	<b>5,544.1</b>	<b>6,645.2</b>	<b>6,874.9</b>	<b>7,283.8</b>

10億MNT

負債	2015	2016	2017	2018
顧客からの預金	2,210.0	2,415.5	3,070.2	3,522.8
銀行およびその他の金融機関による預金 および支払い	112.8	143.2	243.9	182.0
買戻し条件付き売却手形	99.8	130.0	130.0	65.0
借入金	1,012.4	1,392.2	1,068.7	975.8
繰延税金負債	4.4	1.5	0.0	-
発行済債券	1,175.9	1,569.4	1,344.6	1,461.2
その他の負債	231.0	209.4	142.0	148.2
発行済劣後債	29.9	24.9	-	-
<b>総負債</b>	<b>4,876.2</b>	<b>5,886.0</b>	<b>5,999.4</b>	<b>6,355.0</b>
株主資本	2015	2016	2017	2018
株式資本	69.3	67.7	69.3	265.6
再評価準備金	135.3	127.0	130.0	129.2
売却可能金融資産の未実現利益(損失)	(23.8)	30.2	13.7	10.7
キャッシュフロー・ヘッジの評価損益の累積	39.9	14.9	72.4	29.4
留保利益	445.2	516.6	590.2	493.8
<b>グループの株主に帰属する総資本</b>	<b>665.9</b>	<b>756.4</b>	<b>875.5</b>	<b>928.8</b>
非支配持分	2.0	2.8	-	-
<b>総資本</b>	<b>667.9</b>	<b>759.2</b>	<b>875.5</b>	<b>928.8</b>
<b>総負債と資本</b>	<b>5,544.1</b>	<b>6,645.2</b>	<b>6,874.9</b>	<b>7,283.8</b>

## 連結損益計算書

10億MNT

	2015	2016	2017	2018
金利収入	532.9	593.2	612.9	664.5
支払利息	(358.5)	(400.8)	(434.1)	(475.8)
<b>純受取利息</b>	<b>174.3</b>	<b>192.4</b>	<b>178.8</b>	<b>188.7</b>
純手数料および手数料収入	29.4	30.6	37.0	38.5
その他の営業利益(純額)	(15.2)	12.0	48.0	(8.9)
<b>正味非利息所得</b>	<b>14.2</b>	<b>42.6</b>	<b>85.0</b>	<b>29.6</b>
<b>営業利益</b>	<b>188.6</b>	<b>235.0</b>	<b>263.8</b>	<b>218.3</b>
営業経費	(91.4)	(92.7)	(89.9)	(91.8)
アソシエイトの利益(損失)配分	12.6	17.3	15.9	15.5
減損損失の引当金繰入額	(47.0)	(92.0)	(115.6)	(129.1)
<b>税引前利益</b>	<b>62.7</b>	<b>67.7</b>	<b>74.2</b>	<b>12.9</b>
法人所得税	(1.3)	(0.2)	(0.4)	(0.3)
<b>純利益</b>	<b>61.5</b>	<b>67.5</b>	<b>73.8</b>	<b>12.6</b>

## 比率

10億MNT

	2015	2016	2017	2018
<b>収益性</b>				
コスト収益率	48.5%	39.4%	34.1%	42.0%
純利息マージン	4.1%	4.3%	3.9%	3.9%
ROE	9.2%	8.9%	8.4%	1.4%
ROA	1.1%	1.0%	1.1%	0.2%
<b>成長速度</b>				
資産の成長	2.4%	19.9%	3.5%	5.9%
ローンの伸び	-4.8%	7.2%	-2.5%	10.5%
預金の伸び	-12.8%	9.3%	27.1%	14.7%
資本の増加	20.1%	13.6%	15.8%	6.1%
<b>資産の質</b>				
貸出金預金比率	124.1%	123.7%	98.8%	99.1%
資産比率対するローン	49.5%	45.0%	44.1%	47.9%
流動性比率	44.4%	47.1%	45.7%	42.3%
<b>資本</b>				
Tier 1 自己資本比率	12.3%	11.2%	14.0%	16.6%
資本比率	16.7%	14.6%	17.0%	19.5%

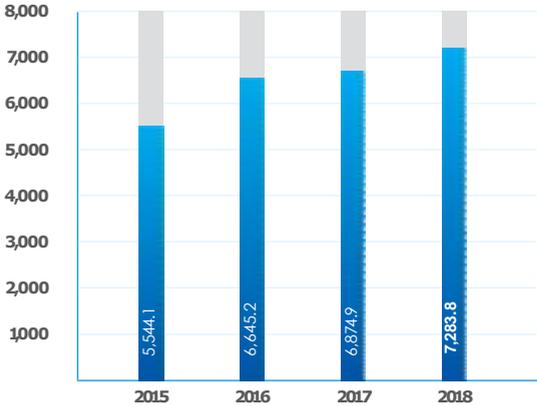
2018年に総資産は前年比4,089億MNT(5.9%)増加し、7兆2,838億MNTに達しました。有価証券は13.2%減少し、1兆7,591億MNTに達しました。貸付金(純額)は10.5%増加し、3兆547億MNTに達しました。

総負債は5.9%増の6兆3,550億MNTに達し、顧客からの預金は14.7%増の3兆5,228億MNTに達しました。借入金 は8.7%減少して9,958億MNTに達しました。

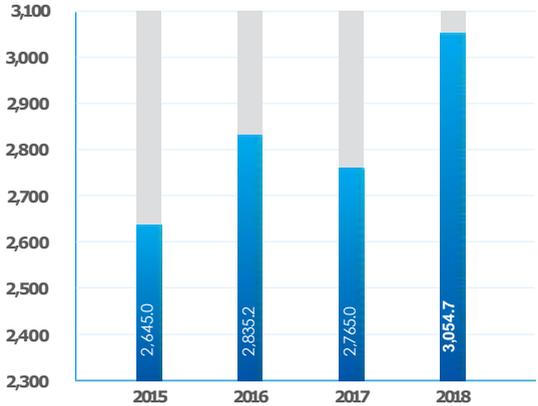
総資本は6.1パーセント増加して9,288億MNTに達し、株式資本は1,963億MNT増加して2,656億MNTに達しました。

2018年の金利収入は8.4%増の6,645億MNTに達し、支払利息は9.6%増の4,758億MNTに達し、純利息は1,877億MNTに達しました。  
 営業利益は2,183億MNT、税引後の純利益は126億MNTでした。

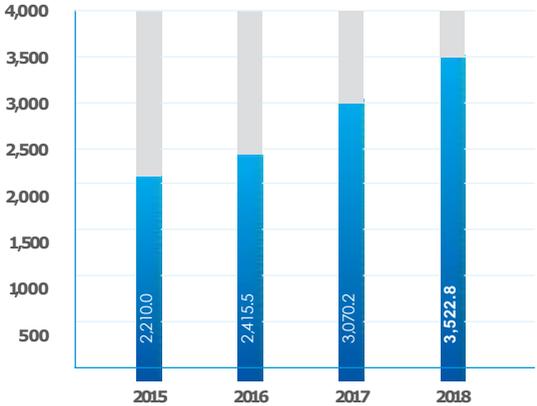
総資産



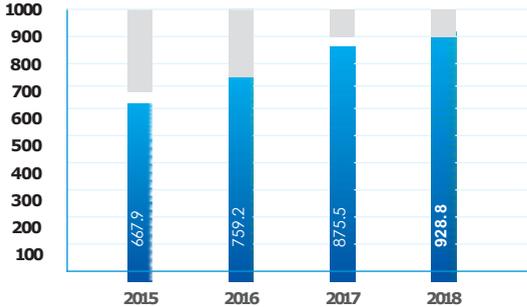
純債務・前払金



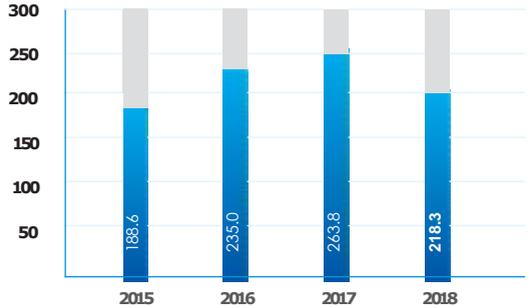
顧客からの預金



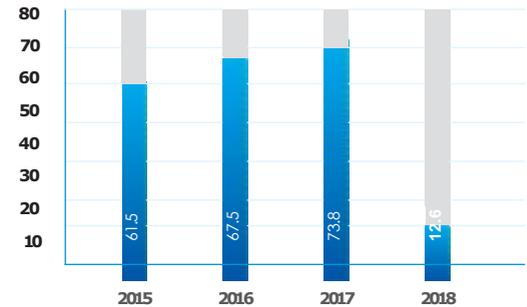
総資本



営業利益



純利益



## アワード受賞歴



### 「モンゴルのベストプライベートバンク」

「アジアマネー」誌から「モンゴルのベストプライベートバンク」賞を受賞

2017, 2018



### 「安定性の基準」

「EURアジア銀行金融協会」から「安定性の基準」賞を受賞

### 「モンゴルのベスト商業銀行」

7年連続で「グローバル・バンキング & ファイナンス・レビュー」による「モンゴルのベスト・コマーシャル・バンク」賞を受賞  
2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018



### 「ベストアクワイアラー」

Visa WorldwideはTDBを「ベストアクワイアラー」に認定しました。



## 企業の社会的責任

### 子どもに優しい銀行

#### 全国の28の学校の図書館を改装しました

TDBの28周年にあたり、全国で28校の図書館の改修プロジェクトを更新しました。このプロジェクトは2018年5月に開始され、年間を通じて約50,000人の生徒に届きました。



#### 2年目の「命を救う」プロジェクトをサポート

新生児の死亡率を減らすことを目的としたプロジェクトの第3フェーズに銀行は、出生後の外科集中治療部の改修に寄付しました。このプロジェクトは、部の面積を拡大し、最先端の機器を装備しました。プロジェクト後5か月以内に、149人の子どもたちがその部で治療を受けました。



### 国のコンテンツMaamuuを承認

MaamuuブランドとそのキャラクターAamiとTamiを子供に宣伝するために、国内のコンテンツクリエイターMongol Content LLCと承認契約を締結しました。

### 補聴器を備えた子供のための第29学校に新しいチェスクラブを開設

聴覚障害のある生徒をサポートするために、TDBIは学校の部屋の1つを、必要なすべてのツールと教育機器を備えた最新のチェスクラブに改装しました。



### ユースサッカー選手の支援は13年目

Duulian 2020トーナメントで、第14番学校のサッカーチームの支援は13年目、青少年と子供の特別教育学級のサポートは2年目を迎えました。青少年チームは、いくつかのトロフィーを獲得し、素晴らしい結果を示しました。



## UB マラソン

子供たちの幸福と運動能力をサポートするために、私たちはUBマラソン2018に出席するチンゲルテイ地区の第61番学校と第24番学校の500人の生徒を招待しました。



## 第29番学校のニューイヤパーティーに出席

TDBは第29番学校の子供たちに14年連続で新年の贈り物を届けました。



### 「生涯一緒に」キャンペーンを成功裏に開催

私たちは、ビジネスオーナー、起業家、ビジネスウーマンを対象とした、いくつかの講義、ネットワーキング、ブックサインイベントを含む、15の一連のイベントを開催しました。



### 献血キャンペーン

私たちは、国立血液センターが主催する献血を促進するキャンペーンに参加し、献血しました。また、一般の人々にも血液を提供することの重要性を説明し、献血を呼びかけました。



### Achlalt Khuukhduud NGO

私たちは、障がい者や特別なニーズのある高齢者の世話をするAchlalt Khuukhduud NGOを支援しました。20人から50人の収容能力を持つ新しい建物の購入資金を調達しました。



### 「木のための水」プロジェクト

「My Club」が運営して4年目になる樹木の給水プロジェクトをTDBが支援し、資金調達とトゥブ県の1万2,000本の樹木に水を供給。





## 人的資源管理

2018年には、変更とリノベーションの管理を実施する目的を設定し、従業員が継続的に自己啓発と開発の機会を得られるようにし、市場で競争力のある給与とインセンティブを提供し、従業員の福利厚生を支援したことにより、従業員は満足と高い生産性で仕事をしました。

## 人的資源管理

2018年には、労働市場から371人の応募者を募集し、280人を超える従業員を昇進させ、従業員のキャリア開発を支援しました。

### 従業員のトレーニングと個人的成長

組織文化調査を実施する独立した調査会社があり、その結果、2018年の5つのモジュール管理プログラムのトップエグゼクティブがいました。

2018年、銀行のポリシーと従業員のトレーニングニーズに基づいて、6,897人の従業員のスキルを向上させ、開発しました。2017年には545人の従業員が訓練されていましたが、2018年にはこの数が24%増加しました。

モンゴル銀行協会と協力して、シンガポールから研修役員を招き、コンピテンシーを向上させ、高度なレベルの知識を提供し、商業銀行の企業金融に携わる従業員の国際経験から学ぶための研修および指導サービスを組織しました。

認定リテールバンカー、公認財務アナリスト、人事のシニアプロフェッショナルなどの専門家をトレーニングして、国際的に認められた専門家を準備しています。

すべての従業員が自ら成長するという目的の範囲内で、「サポートプログラム2018」を実施し、60人の従業員に授業料の払い戻しを認めました。

さらに、より高い学位を取得するために留学に行った3人の従業員に奨学金を授与しました。

私たちは、銀行および金融業界でトーストマスター国際人前で話すクラブの公式会員を獲得した最初の人物であり、従業員を育成するために「TDBトーストマスタークラブ」を開設しました。

従業員を活性化し、生産性と満足度を高め、仕事に適した環境を提供することを目的に、「カジュアルフライデー」を創設しました。

私たちは、従業員の社会的問題を支援し、彼らの健康を保護するために、「健康手当」と「健康休暇」を導入しました。

また、従業員の健康を支援し、病気の可能性を防ぎ、情報とアドバイスを提供することを目的として、世界保健デーの「健康デーイベント」を毎年開催し始めました。

従業員の住宅ローンの金利を雇用年数に応じて異なる金利で引き下げることにより、従業員の社会問題を支援しました。

また、従業員が家族や同僚と自由な時間を過ごし、友好的な雰囲気強化し、誇りを高めるために、従業員の間で「子供の日家族イベント」を開催しました。子どもたちを幸せにするだけでなく、銀行の活動を促進することもできました。

950人以上の従業員と1300人以上の子供を持つ配偶者がイベントに出席し、暖かい雰囲気に満ちた楽しい一日を過ごしました。

モンゴルの銀行家協会が主催する「私たちは銀行家です」キャンペーンの範囲内で、「スピーチコンテスト」、「プライドキャンペーン」、「Facebookアクティベーションキャンペーン」、「インターネット感謝」、「私たちの未来-私たちの銀行家」などの企画を成功裏に実施しました。

02

ビジネス活動



## コーポレートバンキング

コーポレートバンキング市場のリーディングバンクであるTDBは、モンゴルの発展途上のすべてのセクターに迅速かつ信頼性の高い金融商品とサービスを提供するために取り組んできました。当社は業界の先駆者であり、銀行の法人向けおよび中小企業向けの融資ポートフォリオを前年比10.8%増の2.8兆MNTに拡大しました。

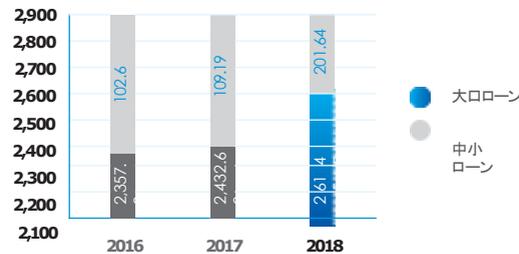
2018年、当社は、低利融資による長期ローンで顧客をサポートするという目標を設定しました。

目的の範囲内で、モンゴル開発銀行、国際協力機構(JICA)、国際協力銀行(JBIC)、アジア開発銀行(ADB)、台湾輸出入銀行(TEXIM)、コメルツ銀行、TDBは30以上の国内および外国の銀行、および金融機関で、上記のすべての金融プログラムを成功裏に実施しており、2018年末現在で4,386億6000万MNTに達しました。

TDBの低コストのカバードローン提供の結果、顧客は財務コストを削減し、財務能力を高め、継続的にビジネスを行う機会を作ることができました。

国内および国際市場での銀行の評判、小売および法人顧客との実り多い協力、適切な管理、および成功したチームワークの結果として、法人および中小企業の顧客からの銀行の利息収入は2018年に2,983億MNTに達し、前年より127.2億MNT(4.3%)増加しました。

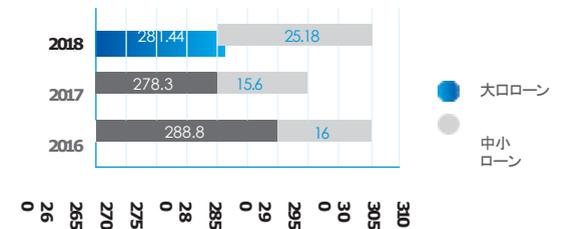
法人および中小企業の信用残高(10億MNT)



さらに、モンゴルの外国貿易決済の大部分を単独で実行している経験豊富な銀行として、お客様の購入、サービス、キャッシュフロー、財務能力をサポートするために、総額6,629.6億MNTの信用状と保証状の発行を行い、当社は2018年に再び「モンゴルの最高の貿易金融サービスプロバイダー」を受賞しました

国の発展に不可欠な国家政策の共同実施者として成功し、私たちは国家金融機関が実施するさまざまなプログラムにサブレンダーとして参加しました。たとえば、モンゴル開発銀行が実施する「カシミアプログラム」で125億MNT、ADBおよびモンゴル政府が実施する「農業および農村開発プロジェクトへの追加資金」プログラムで60億MNTのソフトローンをお客様に提供しました。

法人および中小企業向けローンからの利息収入(10億MNT)



Oyu Tolgoi LLCのサプライヤーの金融ニーズを満たすために、銀行は、Oyu Tolgoi LLCとの製品およびサービス供給契約と請求書で保護されたローンおよび信用ライン製品を新たに導入し、サプライヤー企業に総額649億MNTのローンを発行しました。

2018年、当社は、AQRIに関連してモンゴル銀行が設定したタスクと基準を遵守することを保証し、融資と顧客対応の質の向上にコミットしました。2019年に当社は、顧客のニーズに基づいて高品質の製品とサービスを提供する市場でのリーダーシップを強化することを目指しています。



## リテールバンキング

リテールバンキング部門は、銀行の商品とサービスの品質と歩留まりの向上に取り組み、また、支店とオンラインチャネルを通じて顧客の需要に基づいて競争力の高い商品を提供しています。2018年には、顧客が支店に行く必要のない、遠くからでも受け取ることができる潜在的な商品の範囲を増やすことに焦点を合わせました。報告年度のリテールバンキング部門の主要な成果は次の通りです。



### 預かり資産:

貯蓄の成長を促進し、その利益を顧客に還元し、顧客の財務知識を向上させるために計画された活動を組織することに焦点を当てました。

そのため、当社の製品条件の競争力を維持し、各顧客のプロセスが節約を蓄積できるようにします。

また、料金を引き下げ、eサービスを使用して自分の普通預金口座を開く機能を強化し、従業員の運用プロセスを容易にします。

さらに、文書の重複をなくし、顧客からの必要な文書を減らし、より快適な顧客サービスを提供するために努力しました。



### ローン:

必要な文書の数を減らし、新しい高度な技術に基づいた革新的な製品またはサービスを導入することにより、顧客に迅速なサービスを提供することを目的としたポリシーを実施しました。

また、改善された条件でローンにアクセスするための顧客にリモートバンキングサービスを提供し、金利を最小化することで中小企業家をサポートすることに焦点を当てました。



## 拡張されたデジタル銀行業務

デジタル戦略の取り組みでは、コアバンキングシステムを改善し、ソフトウェアおよび情報セキュリティ機能を強化し、オムニチャネルプラットフォームを導入しました。  
このプラットフォームは、顧客がどのようにまたはどこにいるかに関わらず、統合されたまとまりのある顧客体験を生み出します。

### 「Shopsy.mn」でeコマース消費者ローン商品を発売

モンゴルで初めて、Shopsy.mnでeコマース消費者ローン商品を導入しました。これは、ビジネス協力を拡大し、戦略的組織の活動を支援し、消費者ローン商品を多様化し、顧客のニーズに応え、時間を節約します。

市民は、銀行の顧客であるかどうかに関係なく、電子商取引を提供するShopsy.mnウェブサイトからTDBのローンの助けを借りて商品を購入することを選択し、顧客の自宅住所に配達するアイテムを注文しました。このサービスは高度な技術と人工知能に基づいており、銀行に行かずに商品を購入していることは注目に値します。

### 韓国から送金を受け取るためにVRemitサービスを開始しました

韓国の「VP」と協力して、送金を受け取るサービス「VRemit」を市場に導入しました。このサービスを使用すると、韓国の任意の銀行口座からモンゴルのすべての銀行口座にリアルタイムで取引を行うことができます。また、取引金額に関係なく、低料金でどこにいても取引を行うことができます。

### いつでもどこでも貯蓄担保ローンをオンラインで利用可能

顧客の時間を節約し、製品をより簡単かつ迅速に提供するために、TDBのTDBオンラインサービスを使用して、顧客がどこからでも1分以内に貯蓄を担保にローンを受け取ったり、返済したりすることができるようにしました。

### 状態情報交換システム「KHUR」を導入

国立データセンターと共同で、顧客のローンに関する情報を交換するシステム「KHUR」を導入しました。また、KHURシステムの助けを借りて、顧客は銀行の支店で自分の指紋と組織IDのみを使用してさまざまな文書を持ち込む必要がなくなりました。

### コーポレートゲートウェイサービスにより、パートナーの数が増加しました

企業のゲートウェイサービスのユーザーと開発者の数は、内部システム統合によりオペレーショナルプロセスを簡素化する目的で増加しました。

このサービスは、APIを介してすべての銀行サービスを企業と接続し、組織の機械的プロセスを自動化し、オペレーショナル段階を最小化してコストと時間を節約するサービスが電子銀行の次の段階になるシステムです。

このサービスは、Lend.mn、モビコム、Geregeシステムズ、ShopyyやSkytelなどの最高の技術ソリューション会社で利用されています。



## 子ども、若者、お客様の金融リテラシーを高めるための当社の努力

### 世界貯蓄の日を祝って7年目

モンゴル銀行、モンゴル銀行協会、ドイツ連邦準備制度の国際協力基金と商業銀行は、2018年9月と10月に7年目の「世界貯蓄の日」を祝いました。

イベントでは、預金者の中年の子供たちの間で手描きのアートコンテスト「My Dream」を開催し、コンテストに参加したすべての人に贈り物を贈りました。

「世界貯蓄の日」イベントに参加した子供たちは、「Maamuu」ブランドのキャラクターであるAmiとTamiと一緒に写真を撮りました。

私たちは小学校で「未来の貯蓄-明日の未来」トレーニングを開催し、生徒にお金の価値、お金が必要な理由、お金を貯めること、将来の節約が重要である理由、賢明な支出方法を理解するための教育を提供しています。



### 「Maamuu」子供向け貯蓄を開始

すべての子供に貯蓄を提供するというミッションで、「Mongol Content LLC」と協力し、子供の貯蓄のための全国ブランド製品「Maamuu」の立ち上げに成功しました。さらに、定期的な振替が行われる定期預金の取引手数料を廃止し、すべてのクライアントにも蓄積を提供しています。



### 6年目の「ジュニアカスタマー」イベントを開催

満18歳に達したのお客様のために、6月11日に開催された6年目の「ジュニアカスタマー」イベントを祝いました。今年の行事では、250人の若い顧客がゲストラッパーのT.Munkh-Erdene (Big Gee)、モンゴル大学の教師、B.Nandin-Erdene、Axis Inc. LLCのエグゼクティブディレクター、「Call Pro」のエグゼクティブディレクター、トレーニングセンター「Faro」の創設者、UBコメディの創設者でコメディアンB.Ider-Odらがイベントに参加し、彼らの目標と一致した正しい選択を行い、成功し、一貫性を保つ方法を教えてきました。歌手のO.Gantulgaは彼の歌で人々を楽しませました。



## その他

### FIFAワールドカップおよび冬季オリンピック中にカード所有者のプロモーションキャンペーンを成功裏に実施

TDBは、冬季オリンピックとFIFAワールドカップの多文化イベントに参加するために、カード所有者を対象とした伝統的なラッフルキャンペーンを開催しています。韓国の平昌で開催された第23回冬季オリンピックとロシアで開催されたFIFAワールドカップに参加するために、合計12人のカード所有者を招待しました。ロシアで開催されたFIFAワールドカップの間に、Unionpayカードの購入取引からの10%のキャッシュバックキャンペーンを行い、カード所有者の満足度が向上しました。



### MoneyGramの会議を開催

銀行はモンゴル銀行の主要な国際送金代理店であり、モンゴルの代理店銀行の代表者を含む「マネーグラムサービス会議」の開催に成功しています。

2018年6月14日から、トランス銀行はモンゴルの7番目の代理店銀行メンバーとして協力契約を締結し、MoneyGramサービスを開始しました。



### 共同カードの種類増加

割引に基づいて、ターゲットセグメントとの最初の共同カードから15年を経過したTDB。

昨年、ウランバートル鉄道は、従業員向けの特別なデザインの統一給与カードを導入しました。さらに、Invescore NBFの顧客とNexus Financeの顧客向けの共同クレジットカードが市場に導入されました。

### 入金可能なATMの数を増やしました

銀行のサービスは、場所だけでなく、顧客サービスセンター、ショッピングセンター、支店に関係なく、顧客に迅速なサービスを提供するために入金可能なATMの数を増やすことにより、顧客の満足度を高めました。

### 保険仲介サービス

バンカシュアランスビジネスの主な目標は、クライアントの利益を保護すること、より正確には、クライアントがポリシーに従って補償を受けるようにすることです。2018年、当社のクライアントは、保険仲介業務を通じて17億MNTの保険補償額を受け取りました。私たちはクライアントに代わって行動しますが、厳しいリスクの枠組みの中で持続可能で収益性の高い純保険料収入を生み出す協力保険会社に焦点を当てています。報告年度に、保険料額の57億MNTを仲介しました。これは、バンカシュアランス部門で最高です。

来年には、バンカシュアランスアクティビティにデジタルトランスフォーメーションを組み込み、ブランチやスマートフォンやタブレットアプリなどのフロントエンドアプリケーションなど、クライアントが好みのチャネルを選択できるようにする予定です。



## 財務管理

## 外国為替市場運営

2018年の財務報告年に、当行は市場での主導的地位を維持しながら、外国為替取引高を30%以上増やすことを目標に設定し、売上高を前年より41.2%増やすことに成功しました。

安定したマクロ経済環境と、対外貿易、投資、消費の増加、財政赤字の削減などの経済回復により、当行は、日本円の取引量と同様に、顧客のニーズや必要性を満たすために柔軟な外国為替サービスを実施した注目すべきパフォーマンスの1つであった前年と比較して2倍になりました。

当行は、顧客に市場の最新情報と財務アドバイザリーを定期的に提供しながら、国内および海外の市場見通しの不確実性の結果として、業務を改善し、リスクを軽減するための一連の措置を講じました。

さらに、当行は、モンゴル銀行が管理する銀行間オークションシステムの3行目のプライマリディーラーに選ばれました。さらに、当行は国際基準を満たす製品とサービスの開発と実装に取り組んできました。

## マネーマーケットオペレーション

当行は、この報告期間において、準備金要件を継続的に満たし、モンゴル銀行が設定した規制上の最小値を順守しながら、国内通貨市場での地位を維持しました。さらに、当行は、自由市場の外貨準備を短中期的に低リスク・プロファイルおよび高利回り資産に配分することにより、国際市場で債務証券および債券を取引することにより、業務範囲を拡大し、金利収入を増やしました。

ミッションの範囲内で、当行は、国際銀行および金融機関との協力関係を拡大し、2019年の主導的地位を維持しながら外貨準備の効率と利用を改善することを計画しています。

## 資産および負債の管理

報告年度には、顧客の要求を満たし、リスク負担能力を高めるために顧客の預金者を保護するために行われた多数の措置の結果として、銀行の総資産と顧客からの預金はそれぞれ6.3%と14.3%増加し、資本は10.4%増加しました。このように、資本と資本の増加が成功したことは、顧客と国際的な評判に対する当行の信頼性の反映であると言えます。

景気回復とビジネスリスクの減少の環境において、当行は信用および流動性リスクならびに資本計画の管理に成功し、その結果、前年度と比較して加重平均預金および貸出の割合が減少しました。さらに、当行は、最適なバランス構造、運用効率、成長計画の改善を継続しています。

## カストディアンサービス

当行は、報告年度において、顧客数の増加、製品およびサービスの提供、そして容易な提供に焦点を当てました。

特に、当行は顧客および証券会社に数字署名を導入し、共同決済口座を通じてオンラインでお金を引き出すことができるようにしました。証券会社との法人設立を拡大することにより、当行は、清算サービスの下で合計1,037億MNTの決済要素取引を実行しました。これは、有価証券市場決済の24.4%を占めました。当行は、民間投資基金および地方銀行との間で締結された相互協定に基づいて、保管サービスの下で証券保管サービスを提供しました。

2019年、当行はカストディアンバンキング商品を改善し、事業を国際基準に合わせるというコミットメントを通じて、起業家や投資家の金融ニーズを満たすサービスを導入することを目指しています。



國際銀行業務・對外關係

## 国際銀行業務・対外関係

### コルレス銀行

モンゴルの主要な国際銀行であるTDBは、150を超える国際的に評判の高い銀行や金融機関と長期にわたる安定した関係を築いています。銀行は、国際的なパートナー銀行の広範なネットワークを活用し、国の国際送金の80%以上を処理し、国際的なカウンターパートが資金を提供し、顧客に有利な条件で資金を提供します。

2018年に国際銀行および金融機関から得られた資金調達総額は2億9,050万USDに達しました。これには、ロシアのVTB銀行からの7,000万USDの資金調達とTrans Kapital Bank、国際投資銀行、内モンゴル銀行による与信枠が増加し、それぞれ850万USD、1,000万EUR、2億元に達しました。

さらに、2018年4月、TDBは「シンジケートファシリティ契約」を締結しました

中国の包商銀行および徽商銀行とともに、2億5,000万元の資金を受け取りました。この取引はモンゴルと中国の銀行間の最初の銀行間シンジケートされたファシリティ契約であり、モンゴルと中国の共同プロジェクトに必要な資金を提供することができたため、注目に値します。

銀行は、カウンターパートとの多国間協力をさらに拡大し、2018年6月8日にロシアの国際経済協力銀行と「包括的な協力協定」を確立しました。

お客様の対外貿易活動を継続的にサポートすることに専念しているTDBは、同国の貿易の大部分に資金を提供しています。2018年、52の有名な国際銀行から取得した貿易金融ラインの合計は7億5,000万USDに達しました。

### プロジェクトローン

TDBは、中小企業(SME)、企業、および小売顧客にビジネスを拡大するために不可欠な資金を提供しており、アジア開発銀行(ADB)、独立行政法人国際協力機構(JICA)、国際協力銀行(JBIC)、KfWドイツ銀行との貸し出しプログラムを通じて顧客が製品を国際市場に輸出および導入できるようサポートしています。

たとえば、2016年から2018年の間に、TDBはADBのプログラムの第2フェーズで顧客のビジネスに融資するために提供された総資金の30%を取得しました。

## 企業関係

高度な支払いシステムが導入されました。

Trade and Development Bankは、お客様の金融ニーズを完全に満たすソリューションの導入に常に努めています。

たとえば、報告期間にTDBはOyutolgoi LLCと協力して、FTPプロトコルに基づいた自動ワイヤ転送サービスを導入しました。

このサービスは、お客様が銀行の支店を訪問したり、オンラインバンキングプラットフォームを使用したりすることなく、多数のトランザクションを実行するための新しいオプションです。

年金ローンの金利が引き下げられました。

TDBは、年金ローンの金利を徐々に引き下げるために、モンゴル政府の2016年から2020年の行動計画に従って、社会保険総局との協力を拡大しています。

その結果、年金ローンの金利は2017年の18%から15%に、2018年には12%に引き下げられました。

TDBを通じて年金を受け取る年金受給者の数は2018年に倍増しました。

## TDB東京駐在員事務所

2018年11月から、TDBは東京の駐在員事務所を通じて、モンゴルから初めて日本のクラウド市場の信用会社と協力して、日本の金融市場からクラウド資金の形でMNT資金を受け取りました。この取引により、他のモンゴル企業も市場を開拓する機会が開かれます。

TDBは、2018年8月8日に東京の駐在員事務所を通じて日本のTryfund LLCと協力契約を締結し、モンゴルと日本の企業間の電子通信と投資取引を可能にするオンラインM&Aプラットフォームを導入しました。

TDBの東京駐在員事務所は、日本最大の広告代理店の1つであるDentsu Artist Inc.にコンサルティングサービスを提供し、子会社のDentsu Data Artist Mongolia LLCをウランバートルに開設しました。東京駐在員事務所は、日本企業にコンサルティングサービスを提供し、モンゴル市場に参入するために必要なすべての情報を提供しています。





## TDBキャピタルLLC

TDBキャピタルLLCは、クライアントのビジネス開発と金融市場への積極的な参加を促進することに専念し、企業金融、証券取引、研究分析、国際基準と慣行に沿った専門的な助言サービスを含む包括的な投資銀行サービスを提供しています。

### 投資銀行サービス

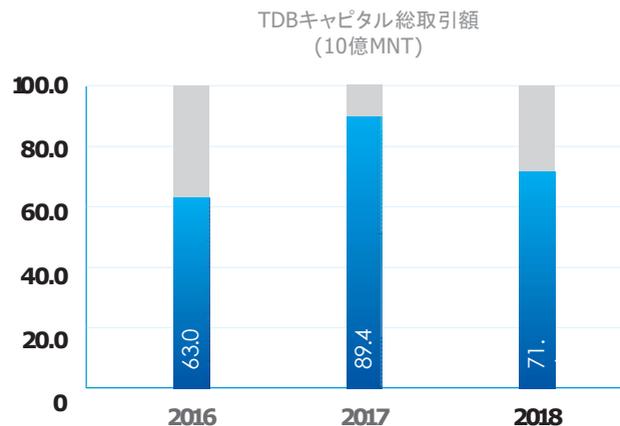
TDBは、評判の良い国際投資銀行との経験に基づき、債務、株式、その他の金融商品や私募債発行のための引受けサービスを提供し、企業のM&A、リストラ、アドバイザーサービスのためのカスタムソリューションを提供しています。報告期間中、当社は複数の財務顧問および私募債取引に取り組み、顧客の地方公募の準備を開始しました。

さらに、当社は資本市場の紹介、モンゴル証券取引所での取引への参加および証券の発行に関する対話型ガイドを作成し、資本市場参加者の金融リテラシーを向上させ、市場の透明性を高めました。また、当社は、現地資本市場に関する統計とデータの集計に関する報告書の発行を開始し、上場企業の定量分析をクライアントに提供しています。

### 証券取引

モンゴルの金融市場インフラストラクチャーの発展に多大な貢献をした当社は、報告期間中に「TDBブローカー」オンライン取引システムを全面的に見直しました。改良されたユーザーインターフェイスにより、システムがモンゴル証券取引所に直接接続され、クライアントが証券取引に参加し、決済と証券口座を監視し、注文書を観察し、テクニカル分析を行い、専門調査にアクセスし、定期ニュースやリアルタイムで更新された情報を入手できるようにします。資本市場の大手証券会社として、当社は2018年に総額716億MNTの取引を実行し、モンゴル証券取引所の株式取引全体の18.1%を占めました。

TDBキャピタルは、ブローカーサービスを拡大し、将来的に国際市場向けの仲介サービスを導入することを目指しています。





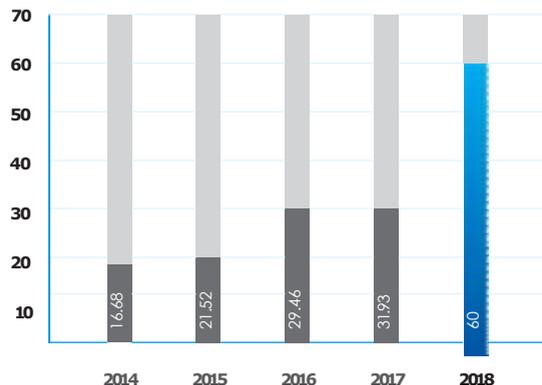
## TDBリースLLC

TDBリースLLCは、モンゴル貿易開発銀行と日本のMGリース株式会社が共同で設立した革新的な金融リース会社です。過去5年間で3800件以上のリース商品に対して1億1,500万USDの金融リースを行うことにより、当社の事業は順調に拡大し、当社はモンゴル最大のリース会社の1つになっています。

### サプライヤー

TDBリースLLCは、それぞれの分野のトップである30社以上と協力しており、鉱業、インフラストラクチャー、建設、道路輸送、農業、製造などモンゴルの経済と社会の発展に重要な貢献をしている分野にあらゆる種類の機器を供給しています。

金融リースサービスの合計額  
(百万USD)



	"SHIMA SEIKI" <i>(Japan)</i>
	"KOMATSU" <i>(Japan)</i>
	"HYUNDAI" <i>(Korea)</i>
	"CATERPILLAR" <i>(U.S.A)</i>
	"XCMG" <i>(China)</i> "SINOTRUCK" <i>(China)</i>
	"HITACHI" <i>(Japan)</i>
	"LIUGONG" <i>(China)</i>
	"SANDVIK" <i>(Finland)</i>
	"YOKOHAMA" <i>(Japan)</i>

	"CLAAS" <i>(Germany)</i>
	"GLORY" <i>(Japan)</i>
	"Benz" <i>(Germany)</i> "FUSO" <i>(Japan)</i> "John Deere"
	"Liebherr" <i>(Germany)</i>
	"Doosan" <i>(Korea)</i>
	"CNH" <i>(USA)</i>
	"ISUZU" <i>(Japan)</i>
	"Toyota Yanmar etc."
	VOLVO

	SUZUKI
	BELAZ
	Systemex
	Mines up
	Japan used car
	SDLG
	Japan used car
	Toyota

	Lovol, Foton
	Nissan, Renault
	Toyota
	Yutong
	Dayun, Reddot, Cabr/M
	Sanme, Eriez, Lenham, Multotec
	Kubota
	Shantui

	Europharma
	UAZ Patriot



## リスクマネジメント

事業活動におけるリスクの適切な評価と効果的なリスク軽減に関して、企業がさらされているすべての関連リスクを早期に検出すること、さらにリスクを機会に変える能力は、金融機関の安定性の鍵です。

当行は、当行の信用、市場、流動性および顧客のE & Sリスクの評価、リスクの軽減、リスクの防止、モニタリングおよび当行の業務の継続性の確保、ならびにスタッフの知識およびリスクの認識の向上に重点を置いています。当行は、報告期間中に銀行内での強力なリスク文化の普及と育成に注意を払いました。

### 信用 リスクマネジメント

報告年度において、当行は、モンゴル銀行により承認され、健全性比率を完全に満たした「資産分類、貸倒損失の見直しおよびその配分」に従って、それぞれの貸出金を分類し、関連する損失予測を設定しました。

信用リスクマネジメント部は、セクター別、製品別、通貨別などで、貸付ポートフォリオの集中リスクを集散的に評価し、各ケースについて詳細なマクロ経済調査を実施しました。調査結果に基づいて、ローンポリシーが策定され、遵守されました。

信用リスクマネジメント部は、銀行の運営に関する国際および現地の規制委員会が発行するリスクマネジメントの基準とガイダンスを実装しています。この目的のために、次の活動が実施されました。

銀行部門の不良債権は、AQRの調査結果、IMFの「拡張信用供与プログラム」の下で行われた調査結果に基づいて行われた調整、および過去数年間の不利な経済状況により、2018年に増加しました。不良債権は、銀行の資産を減らし、収益性と自己資本を悪化させ、さらに、新しいローンの資金の利用可能性を妨げ、ローンのアクセシビリティを低下させる主な要因です。

したがって、TDBは、第4四半期に不良債権を削減する目的でワーキンググループを設立しました。ワーキンググループは、不良資産の管理および運用手順を改革するための多くの活動を無事に完了しました。

さらに、当行は資産査定(AQR)の下で「モンゴルの商業銀行のソルベンシーレビュー報告書が提供するガイダンス」に記載されている行動計画を策定しました。信用リスク評価とリスクマネジメントシステムの改善は、関連する内部ポリシーと手順に反映されています。特に、適切なリスク管理フレームワークを維持するために、リスクマネジメント委員会のオペレーショナルルールで修正が開発されました。特に、信用リスクの要求と制限が詳細に提供されています。

さらに、銀行は信用の質を監視し、問題のあるローンを管理し、早期発見と緩和を可能にするシステムを持っている必要があります。これにより、当行は、関連するローン規制にリスクベースのレビュープロセスを組み込み、不良債権を削減するプロセスを強化しました。

2018年に当行のリスクマネジメントシステムを開発し、国際標準を達成するために、多くのプロジェクトが開始されました。

- BoMのモニタリングとレビューの標準の予想される変更に関連して、国際標準の実装に関する研究が行われ、プロジェクトの準備が完了しました。
- 担保評価方法の強化に焦点を当てました。この作業の一環として、リスク担当者トレーニングが提供され、スペシャライズドアパーサー証明書を取得するための試験を受けました
- 国際金融報告基準の変更に関しては、信用リスクの評価とローン減損の計算のためにIFRS 9に移行する準備が行われました。

## 市場リスクマネジメント

市場リスク管理の枠組みの下で、政治的、社会的、経済的、規制環境、およびその変化、ならびに異常な市場条件の影響および主要経済部門の変化が銀行の事業運営に与える影響に関する調査が行われ、銀行管理、ALCOおよび関連銀行の調査結果が提供されました。さらに、流動性、為替レート、取引相手のリスクマネジメントおよびリスク計算方法が改善され、国際基準に適合しました。

報告年度に、銀行の流動性GAP報告の自動化が改善され、リスクの特定と予測が強化され、報告の有効性が向上しました。

金利リスク管理を改善するための枠組みの中で、銀行融資の基本金利の計算をより洗練させるための研究が行われました。その結果、バーゼル銀行監督委員会が提供する「満期一致限界資金費用」法が導入されました。

為替レートリスクマネジメントを改善するための枠組みの中で、VaRの自動計算プロセスを開始しました。この計算を自動化することにより、人的要因に起因するリスクと時間の消費を減らすことができます。

市場リスクの管理に関しては、当行の財務諸表でストレステストを実施する方法論を調査し、貸付ポートフォリオおよび貸借対照表で為替レートストレステストを実施し、抵当貸付ポートフォリオで担保市場価値ストレステストを実施しました。その結果、従業員に関連情報を提供し、調査結果に基づいて適切な行動を取ることができました。

さらに、内部報告プログラムにリスクダッシュボードを作成し、市場リスクマネジメントに関連する管理情報システムを改善しました。

## 環境および社会的(E&S)リスク管理

当行は、財務上の決定を下す前に、顧客の事業の環境的および社会的リスクを評価することにより、事業のマイナスの影響を防止および軽減することにより、環境および社会にプラスの影響を与えて長期にわたって持続可能な事業を行うという目標の一部として、必要に応じてこれらのリスクを軽減するための運用と契約と要件を設定します。さらに、当行は、環境にやさしい事業を支援し、「グリーン」ファイナンスの発展に貢献するとともに、事業のE&Sリスクを軽減することを目指しています。

運用のすべての段階で持続可能な金融の原則を実施するための取り組みでは、銀行の全従業員、特に過去1年間の融資担当者のスキルと知識の向上に努めました。従業員全体で669人が、2018年に環境および社会のリスクマネジメントシステムに関するトレーニングを受けました。

TDBは2018年に873件の「グリーン」ローンを発行しました。これには、大気汚染の削減、エネルギーおよび水の使用効率の向上、廃棄物の削減、再生可能エネルギーに関連するローン、環境に優しい自動車などが含まれます。TDBは、グリーンローン商品の開発とグリーンローンの成長を促進する計画です。

### カンボジアの銀行や金融機関からの代表者がTDBを訪問

カンボジアの銀行および金融機関の代表者がウランバートルを訪問し、モンゴルの銀行および金融機関によって成功裏に実施されているモンゴルの持続可能な金融イニシアチブについて学びました。訪問中に、TDBはその運用において環境および社会的リスクマネジメントシステムを効果的に実装した経験を共有しました。



### 2018年の「ToCリーダー」銀行

TDBは、2018年のThe ToC (サステナブル・ファイナンス) リーダーバンクとして、2018年のサステナブル・ファイナンスフォーラムをモンゴル銀行協会およびモンゴルサステナブル・ファイナンス協会と共催しました。

### 大学で開催されたサステナブル・ファイナンスイニシアチブに関する入門セミナー

社会的責任は、一般的に銀行が文化とガバナンスの卓越性を達成する方法であると理解されており、環境と社会に関する関連情報を国民に伝え、グリーンファイナンスの知識を増やすことが間違いなく重要です。TDBは初めて、モンゴル国立大学と金融経済大学の3年生と4年生を対象に、サステナブル・ファイナンスイニシアチブとTDBの環境社会リスクマネジメントシステムの重要性に関する入門セミナーを開催しました。

### オペレーショナルリスクマネジメント

銀行は、オペレーショナルリスクマネジメントの有効性を高めるために、国際標準化された方法論である「リスクとコントロールの自己評価」を成功裏に実施しています。この方法には、リスク所有者(事業体および従業員)レベルでリスクを識別、評価、管理するという利点があるため、リスクに基づく意思決定を強化し、オペレーショナルリスクマッピングの開発に役立ちます。

銀行は過去1年間、ITリスク管理に重点を置いており、国際的なベストプラクティスに沿って、それに関連する業務のリスク評価を実施しています。したがって、銀行は、銀行の製品およびサービスのリスク評価を行う際に、ITリスク要因を確実にカバーします。したがって、PCIDSS規格の要件に基づき、2年目はその認証に準拠するためにリスク評価が完了しています。

報告期間中に、内部要因、外部要因、プログラム、システム障害におけるオペレーショナルリスクを効率的に管理しました。さらに、顧客トランザクション、パフォーマンス障害、機械的エラーの潜在的なリスクを防ぐために、内部システムを改善しました。

### コンプライアンス

報告年度に、当行は銀行におけるコンプライアンス文化の形成に焦点を当て、すべての銀行従業員の責任と参加を強化することにより、業務において規制コンプライアンスを実施しました。当行は、適用される法律および法務法、反マネーロンダリングおよびテロ対策資金調達(AML / CFT)の引当を含む現地および国際的な規制当局によって確立されたその他の規則および規制に従って、その事業活動を常に行ってきました。

2018年、外国のコルレス銀行の要件と規制ルールおよび規制は以前よりも厳しくなり、これによりモンゴルの銀行業界のコルレス関係におけるリスクが結果として高まりました。

さらに、FATF-Asia Pacific Group (APG) は、AML / CTF対策に関するモンゴルの相互評価報告を公表しました。これらの外部環境に関して、当社はマネーロンダリング防止およびテロ対策資金調達の内部統制プログラム、KYC措置、およびRBA申請を特定および強化しました。

信頼できる安定したビジネス関係をサポートするために、銀行はウォルフスバークグループのコルレス銀行のデューデリジェンスアンケート(CBDDQ)の最終更新バージョンを使用して、外国の金融機関でKYCデューデリジェンスを実施しています。

銀行は、内部の運用、ポリシー、および手順を国際的な要件に準拠するとともに、すべての利害関係者の積極的な協力を通じて、国際関係および顧客に提供するさまざまなサービスにおけるコンプライアンス関連のリスクを排除する目的を設定しました。国の経済、外国貿易および投資に関連する可能性のあるリスクを防止することにより、すべての可能な協力活動を支援しました。



## 情報技術

TDBは、最新のハードウェアおよびソフトウェアテクノロジーと国際基準に適合した技術とツールを使用して、顧客のニーズを満たし、従業員の従業員の効率を高め、銀行の際限のない安全な作業手順を保証する安定的かつ信頼性の高い銀行業務、配送製品およびサービスを提供しています。

### お客様にとってよりアクセスしやすくシンプルな銀行サービス

TDBは、会計期間に、顧客がインターネットを通じて銀行サービス入手できる成果物と、インターネットを介した特定の情報、支払いと決済を簡単に実行する簡単なソフトウェア、技術の機会と利点を提供できるITプロジェクトとプログラムを実現しました。

オンライン貸出サービスを開始し、公共サービスの「KHUR」および「DAN」システムと完全に統合しました。その結果、顧客はオンラインでローンやその他の銀行サービスを利用でき、銀行支店の公開情報から参照を取得できます。

銀行情報システムの迅速かつ安全なサービスを確保するために、主要なハードウェア、ソフトウェアの更新およびソリューションを実装しました。

銀行のメインソフトウェアシステム、データベース、サーバー、サービス、デバイスとそのオペレーティングシステム、情報セキュリティ、従業員のシステムでのカード暗号化は、PCI-DSS (Payment Card Industry Data Security Standard) 規格によって再度正常に検証されます。

資本市場サービスは顧客にとってよりアクセスしやすく、顧客はさまざまな情報を取得し、オンラインでプライマリおよびセカンダリ市場取引を実行し、リアルタイムで為替レートの取引実行を受信し、オンラインで注文データベースから情報を取得できます。

モンゴル銀行の要件に合わせて、銀行の災害復旧センターをウランバートル市から離れた場所に移動しました。

Diebold Nixdorf ATMを導入するためのハードウェアとソフトウェアを準備しました。これにより、市場で現金の入出金を行うことができます。

VISA PayWave発行プロジェクト内で、協力銀行 (Ulaanbaatar City 銀行、National Investment 銀行、Capitron 銀行、Chinggis Khaan 銀行、Bogd 銀行、Arig 銀行など) の国際 VISA カードを作成するためのカード認証テストを実施しました。) VISA PayWave 非接触カード技術に、また、Bogd 銀行、Trans 銀行の国際的なユニオンペイカードをチップベースのカード技術にするためのカード認証テストを正常に実行しました。

商店のPOS端末であるIPPOSのプロジェクトを実装することにより、レジ機との接続に取り組み、Monos、Circle K、Sansarスーパーマーケットなどの大規模組織との統合に成功しました。このソリューションには、端末のコストを削減し、領収書のコストを削減し、迅速なサービスを提供する多くの利点があります。



## ノストロ・アカウント

通貨	No.	ノストロ銀行	SWIFT CODE
USD	1	ING BELGIUM NV/SA	BBRUBEBB
	2	BANK OF CHINA (HONG KONG) LIMITED	BKCHHKHH
	3	包商銀行	BTCBCNBJ
	4	COMMERZBANK AG	COBADEFF
	5	KOOKMINBANK	CZNBKRSE
	6	EXIMBANK OF RUSSIA	EXIRRUMM
	7	内モンゴル銀行 CO.,LTD.	HSSYCNBH001
	8	INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF CHINA	ICBKCNBJNMA
	9	UNICREDIT BANK AO	IMBKRUUM
	10	KEB HANA BANK	KOEXKRSE
	11	OVERSEA-CHINESE BANKING CORPORATION LIMITED	OCBCSGSG
	12	CHINA CONSTRUCTION BANK CORPORATION	PCBCCNBJNME
	13	JSC ROSSELKHOZBANK	RUAGRUMM
	14	SBERBANK (HEAD OFFICE - ALL BRANCHES AND OFFICES IN RUSSIA)	SABRRUMM
	15	TRANSKAPITALBANK	TJSCRUMM
	16	VTB BANK (PJSC)	VTBRRUMM
EUR	17	ING BELGIUM NV/SA	BBRUBEBB
	18	EXIMBANK OF RUSSIA	EXIRRUMM
	19	TRANSKAPITALBANK	TJSCRUMM
	20	COMMERZBANK AG	COBADEFF
JPY	21	MUFG BANK, LTD.	BOTKJPJT
	22	COMMERZBANK AG	COBADEFF
	23	MIZUHO BANK, LTD.	MHCBJPJT
	24	SUMITOMO Mitsui Banking Corporation	SMBCJPJT
GBP	25	THE BANK OF TOKYO-MITSUBISHI UFJ, LTD.,	BOTKGB2L
	26	COMMERZBANK AG	COBADEFF
	27	TRANSKAPITALBANK	TJSCRUMM

<b>CHF</b>	28	COMMERZBANK AG	COBADEFF
<b>AUD</b>	29	AUSTRALIA AND NEW ZEALAND BANKING GROUP LIMITED	ANZBAU3M
	30	COMMERZBANK AG	COBADEFF
<b>KRW</b>	31	KOOKMINBANK	CZNBKRSE
	32	KEB HANA BANK	KOEXKRSE
<b>CNY</b>	33	中国農業銀行	ABOCCNBJ050
	34	BANK OF CHINA /ERLIAN BRANCH/	BKCHCNBJ880
	35	BANK OF CHINA (HONG KONG) LIMITED	BKCHHKHH
	36	包商銀行	BTCBCNBJ
	37	内モンゴル銀行CO.,LTD.	HSSYCNBH001
	38	INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF CHINA	ICBKCNBJNMA
	39	CHINA CONSTRUCTION BANK CORPORATION	PCBCCNBJNME
<b>CAD</b>	40	SHANGHAI PUDONG DEVELOPMENT BANK	SPDBCNSH
	41	BANQUE NATIONALE DU CANADA	BNDCCAMMINT
<b>RUB</b>	42	COMMERZBANK AG	COBADEFF
	43	EXIMBANK OF RUSSIA	EXIRRUMM
	44	UNICREDIT BANK AO	IMBKRUUM
	45	JSC ROSSELKHOZBANK	RUAGRUMM
	46	SBERBANK (BAIKALSKY HEAD OFFICE)	SABRRU66
	47	TRANSKAPITALBANK	TJSCRUMM
	48	VTB BANK (PJSC)	VTBRRUMM
<b>NZD</b>	49	ANZ BANK NEW ZEALAND LIMITED	ANZBNZ22
	50	COMMERZBANK AG	COBADEFF
<b>HKD</b>	51	BANK OF TOKYO-MITSUBISHI UFJ, LTD., THE	BOTKHKHH
	52	COMMERZBANK AG	COBADEFF
<b>SGD</b>	53	COMMERZBANK AG	COBADEFF
	54	OVERSEA-CHINESE BANKING CORPORATION LIMITED	OCCBSGSG
<b>SEK</b>	55	COMMERZBANK AG	COBADEFF
	56	NORDEA BANK AB (PUBL)	NDEASESS
<b>TRY</b>	57	TURKIYE IS BANKASI A.S.	ISBKTRIS

03

外部監査



# モンゴル貿易開発銀行およびその子会社

---

連結財務諸表 2018年12月31日

(外部監査報告書あり)



モンゴル貿易開発銀行 企業情報

**登録事業所および主要事業所**  
 Peace Avenue 19  
 Sukhbaatar district, 1st khoroo  
 Ulaanbaatar, 14210  
 Mongolia

**取締役会**  
 D. Erdenebileg (会長)  
 R. Koppa  
 D. Gantugs  
 T. Tsolmon  
 Z. Shagdarsuren  
 J. Bolormaa  
 J. Delgersaikhan

**銀行長官**  
 D. Davaajav

**独立監査人**  
 KPMG Samjong Accounting Corp.  
 Seoul, Korea





KPMG Samjong Accounting Corp.

Gangnam Finance Center, 27th Floor,  
152 Teheran-ro  
Gangnam-gu, Seoul 06236  
Republic of Korea

Tel. 82-2-2112-0100  
Fax. 82-2-2112-0101  
www.kr.kpmg.com

**外部監査報告書**

**モンゴル貿易開発銀行(LLC)**  
**取締役会および株主総会 御中**

**意見**

当監査法人は、2018年12月31日および2017年12月31日現在のモンゴル貿易開発銀行(「銀行」)の財務諸表を監査した。財務諸表には、包括利益(損失)計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、重要な会計方針及びその他の説明的情報とそれらの注記を含んでいる。

当社の意見では、添付の財務諸表は、モンゴル銀行(「BOM」)のガイドラインに沿って改訂された国際財務報告基準(IFRS)に基づき、2018年12月31日および2017年12月31日現在の財政状態ならびに当該年度の財務実績およびキャッシュ・フローを正しく反映している。

**意見の根拠**

当社は、国際監査基準(ISA)に従って監査を実施した。これらの基準の下での当社の責任は、報告書の財務諸表の監査に関する監査人の責任セクションでさらに説明されている。当社は、モンゴルの財務諸表の監査に関連する倫理的要件に従って銀行から独立しており、これらの要件に従って他の倫理的責任を果たしている。当社は、当社が得た監査証拠が、当社の意見の根拠を提供するのに十分かつ適切であると考えている。

**特に注意すべき事項**

財務諸表の注記1に記載されているように、銀行はモンゴルの銀行法を遵守するために子会社を売却した。したがって、2018年12月31日現在、銀行は子会社、関連会社または合併事業への投資を一切行っていない。

財務諸表の注記39に記載されているように、2019年3月にモンゴル政府(「政府」)は、国有企業のErdenet Mining Corporation LLC(「EMC」)を6か月間緊急体制に置くこと発表した。緊急体制の期間中、モンゴル政府は、銀行とEMCとの関係や、Mongolian Copper Corporation(「MCC」)によるEMCの49%持分の取得資金を含む財務書類を調査する予定である。また、この取引は銀行によって助言を受け、一部の資金が提供された。政府はこの買収の資金調達に不規則性があると主張しており、銀行は、政府がこの買収に資金提供したと主張する企業への建設中の貸付金および期限前返済に重大なエクスポージャーを有している。EMCでの6か月間の緊急体制下での政府による財務書類の検査が現在進行中であるため、この問題の最終的な結果は現在決定できない。したがって、結果として生じる可能性のある銀行への影響についての見直しは、財務書類では作成されておらず、当社の意見は、この問題に関して修正されていない。



**重要な監査事項**

重要な監査事項は、当社の専門的判断において、当期の財務諸表の監査において最も重要であった事項である。これらの問題は、財務諸表全体の監査の文脈で対処され、それについて意見を述べる際に、これらの問題に関する意見を提供するものではない。

**貸倒引当金**

減損した貸付金および有価証券を含む信用リスクの管理の定性的および定量的な説明については、財務諸表の注記36を参照のこと。重要な会計方針および重要な会計上の見積りに関しては、財務諸表の注記3を参照のこと。貸付金および引当金レベルに関する情報については、財務諸表の注記7および28を参照のこと。

**財務諸表のリスク**

報告日現在、銀行は総資産の41.9%に相当する3,054,731,766千MNTの金額で436,666,656千MNTの貸倒引当金の貸出金および前払金を報告している。2018年度に銀行は、包括利益計算書に減損損失の見直しとして129,204,862千MNTの金額を計上した。

財務諸表のリスクは、特に、モンゴル銀行(BOM)のガイドラインに基づく担保からの収入の評価を含む判断の前提に基づく、評価された貸倒引当金の計算における不確実性の推定から生じる。

リスク評価の一環として、銀行固有の課題により、2018年のBOMの資産査定(AQR)の結果を重要なリスクとして特定した。

**監査アプローチ**

リスク評価を実施し、監査手順を計画するために、モンゴルの金融機関の会計環境とBOMなどによって改訂されたローン評価のガイドラインを理解した。さらに、当行のプロセスと貸倒引当金を導き出す際に使用する主要な指標を評価した。

リスク評価に基づいて、コントロールと実質的なテストを含む監査アプローチを確立した。

統制テストでは、ローンおよび貸倒引当金の承認、記録、モニタリング、再編に関する主要な内部統制の設計、実装、運用の有効性を評価した。

さらに、サンプルベースでローンの実質的な監査手順を実施した。これらには、次の手順が含まれるが、これらに限定されるものではない。

- ローン分類の妥当性テスト
- 関連するITアプリケーションコントロールによる非行情報の正確性テスト
- 銀行が適用した主要な仮定に挑戦することにより、質的要因に関する銀行の評価テスト
- 銀行の分類を、関連する業界、ビジネス、環境、およびBOMの引当のガイドラインの要件に対する理解と比較
- 貸倒損失の見直しの再計算など

**当社の観察**

統制および実質的な監査手順のテスト結果に基づいて、BOMガイドラインに従った貸倒引当金は合理的であると考える。



**その他の情報**

その他の情報については、経営陣に責任がある。その他の情報には、年次報告に含まれる情報を含んでいるが、財務諸表および当社の監査人の報告は含まれていない。年次報告は、当監査法人の報告日以降に利用可能になる予定である。

財務諸表に関する当社の意見は、他の情報を網羅しておらず、いかなる形式の結論の保証を表明するものではない。

当社の財務諸表の監査に関連して、当社の責任は、上記のその他の情報が利用可能になった時点でそれを読み、その他の情報が財務諸表または監査で得られた知見と実質的に矛盾しているかどうか、または重大な虚偽記載があるかどうかを検討することである。

年次報告を読んで、その中に重大な虚偽記載があると結論付けた場合、ガバナンス担当者に問題を伝える必要がある。

**経営者および財務諸表のガバナンス責任者の責任**

経営陣は、BOMガイドラインで修正されたIFRSに準拠した財務諸表の作成と公正な表示を担当し、不正または誤謬によるものかどうかにかかわらず、重要な虚偽表示のない財務諸表の作成を可能にするために、経営陣の決定などの内部統制に責任を負う。

財務諸表の作成において、経営者は、経営者が銀行を清算または業務中止を決定した場合もしくは現実的な代替手段がない場合を除き、継続企業として事業継続能力を評価し、継続企業に関連する事項を開示し、継続企業の会計基準を使用する責任を負う。

ガバナンスの責任者は、銀行の財務報告プロセスを監督する責任がある。

**財務諸表の監査に対する監査人の責任**

当社の目的は、財務諸表全体に重大な虚偽の表示がないかどうか、詐欺または誤謬によるものかどうかについて合理的な保証を得ることであり、当社の意見を含む監査報告書を発行することである。合理的な保証は高レベルの保証であるが、ISAに基づいて実施された監査において重要な虚偽表示の存在を常に検出することの保証にはならない。虚偽表示は、詐欺または誤謬から発生する可能性があり、これらの財務諸表に基づいて行われた利用者の経済的決定に個別または全体に影響を与えることが合理的に予想される場合、重要と見なされる。

ISAに準拠した監査の一環として、当社は専門的な判断を行い、監査の過程で専門的な懐疑的態度を維持する。当社はまた、

- 詐欺または誤謬によるものかどうかにかかわらず、財務諸表の重要な虚偽表示のリスクを特定および評価し、それらのリスクに対応する監査手順を設計および実行し、意見の根拠を提供するのに十分かつ適切な監査証拠を取得する。詐欺は共謀、偽造、意図的な不作為、不実表示、または内部統制の無効化を伴う可能性があるため、不正に起因する重大な虚偽表示を検出しないリスクは、誤謬に起因するものよりも高くなる。
- 状況に適した監査手順を設計するために、監査に関連する内部統制の理解を得ますが、銀行の内部統制の有効性に関する意見を表明する目的はない。
- 使用された会計方針の妥当性、および経営陣が行った会計上の見積りおよび関連する開示の妥当性を評価する。



**財務諸表の監査に対する監査人の責任(続き)**

- 経営者による継続企業会計の使用の妥当性、および得られた監査証拠に基づいて、銀行が継続企業として継続する能力に重大な疑念を投げかけられる可能性のある事象または状況に関連する重大な不確実性が存在するかどうかを結論付ける。もし重大な不確実性が存在すると結論付けた場合、監査報告書で財務諸表の関連する開示に注意を喚起するか、そのような開示が不十分な場合は意見を修正する必要がある。当社の結論は、監査人の報告日まで得られた監査証拠に基づいているが、将来の出来事や状況により、銀行が継続企業として継続しなくなる可能性は存在する。
- 開示を含む財務諸表の全体的な表示、構造、内容を評価し、財務諸表が公正な表示を実現する方法で基礎となる取引やイベントを表しているかどうかを評価する。

当社は、監査の計画範囲とタイミング、および監査中に特定した内部統制の重大な欠陥を含む重要な監査結果に関して、ガバナンスの責任者と連絡を取る。

ガバナンス担当者には、当社の独立性に関連する倫理的要件を遵守し、独立性に関連して合理的に考えられるすべての関係やその他の事項、関連するセーフガードについて、それらに連絡する声明を提出する。

ガバナンスを担当する者に伝えられた事項から、当期の財務諸表の監査において最重要監査事項を決定する。当社は、法律や規制がこの問題について一般に開示することを妨げる場合を除き、または非常にまれな状況において、記載することの悪影響が公共の利益を上回ると合理的に期待され、当社が報告書に問題を伝えるべきではないと判断した場合を除き、これらの事項を監査報告書に記載する。

**その他の事項**

この報告は、取締役会のメンバーとしての銀行のメンバー、銀行によるUSD紙幣の潜在的な提供に関連するメンバーに対してのみ行われ、他の目的のためには行われぬ。この報告の内容について、他人に対する責任を負わない。

この外部監査報告書は監査のエンゲージメントパートナーWang-Moon Kimが作成した。

*KPMG Samjong Accounting Corp.*

KPMG Samjong Accounting Corp.  
Seoul, Korea  
29 March 2019

この報告書は、2019年3月29日の監査報告日において有効である。監査報告書の日付とこの報告書の閲覧時点との間に生じる可能性のある特定の後発事象または状況は、添付の連結財務書類およびその注記に重大な影響を及ぼす可能性がある。したがって、監査報告書の読者は、上記の監査報告書が、そのような後続の事象または状況があればその影響を反映するように更新されていないことを理解しなければならない。

モンゴル貿易開発銀行  
財務諸表  
2018年12月31日および2017年12月31日現在

	注記	2018 千MNT	2017 千MNT
<b>資産</b>			
現金および預金	4	1,294,793,495	1,073,933,382
有価証券	5	1,759,141,556	2,026,286,707
子会社および関連会社への投資	6	-	60,841,264
貸出金および前払金	7	3,054,731,766	2,764,974,569
再販契約の下で購入された請求書	8	-	11,981,945
有形固定資産(純額)	9	397,500,104	324,138,590
無形資産(純額)	10	2,776,409	2,587,186
投資不動産	11	80,114,526	91,951,413
抵当権のある不動産(純額)	12	2,723,159	2,808,306
その他の資産	13	62,713,041	515,421,954
売却目的で保有する非流動資産	14	64,869,626	-
<b>総資産</b>		<b>7,283,789,682</b>	<b>6,874,925,316</b>
<b>負債および株主資本</b>			
<b>負債</b>			
顧客からの預金	15	3,522,766,676	3,070,233,636
銀行およびその他の金融機関による預金・預け入れ	16	182,007,964	243,907,591
買戻し条件付き売却手形	17	65,000,000	129,960,388
借入金	18	975,825,981	1,068,669,444
当期税金負債		-	20,303
発行済債券	19	1,461,246,758	1,344,633,676
その他の負債	20	148,162,221	141,967,647
<b>総負債</b>		<b>6,355,009,600</b>	<b>5,999,392,685</b>
<b>純資産</b>			
株式資本	21	55,205,582	50,000,011
資本剰余金	21	210,393,158	19,272,456
再評価準備金	9, 22	129,231,895	130,014,323
売却可能金融資産の累積未実現利益	22	10,738,119	13,721,669
キャッシュフローヘッジの評価に関する累積未実現利益	22	29,398,246	72,371,681
留保利益		493,813,082	590,152,491
<b>総資本</b>		<b>928,780,082</b>	<b>875,532,631</b>
<b>総負債と資本</b>		<b>7,283,789,682</b>	<b>6,874,925,316</b>

付属の決算書に対する注記を参照

モンゴル貿易開発銀行  
包括利益計算書  
2018年度および2017年度

	注記	2018 千MNT	2017 千MNT
金利収入 支払	23	664,509,719	612,882,220
利息	24	(475,765,337)	(434,121,831)
<b>純受取利息</b>		<b>188,744,382</b>	<b>178,760,389</b>
純手数料および手数料収入	25	38,524,029	37,039,956
その他の営業利益(費用)純額	26	(8,929,419)	47,974,223
<b>正味非利息所得</b>		<b>29,594,610</b>	<b>85,014,179</b>
<b>Operating profit</b>		<b>218,338,992</b>	<b>263,774,568</b>
営業費用	27	(91,779,552)	(89,930,081)
関連会社および合弁会社の利益の分配	6	15,491,654	15,858,850
減損損失引当金	28	(129,089,040)	(115,562,031)
<b>税引前利益</b>		<b>12,962,054</b>	<b>74,141,306</b>
法人所得税	30	(322,324)	(381,360)
<b>当期純利益</b>		<b>12,639,730</b>	<b>73,759,946</b>
<b>その他の当期包括利益(損失):</b>			
<b>純損益に再分類されない項目</b>			
有形固定資産の再評価準備金の純変動	9, 22	(782,428)	3,022,199
<b>純損益に再分類される(可能性のある)項目</b>			
売却可能金融資産の公正価値の未実現純変動	22	(2,984,025)	(16,497,585)
キャッシュフローヘッジの評価における未実現純益(損失)	22	(42,973,435)	57,466,279
<b>その他の包括利益(損失)</b>		<b>(46,739,888)</b>	<b>43,990,893</b>
<b>年間の包括利益(損失)合計</b>		<b>(34,100,158)</b>	<b>117,750,839</b>
<b>帰属する利益:</b>			
銀行の純資産保有者		12,639,730	73,759,946
非支配持分		-	-
<b>当期純利益</b>		<b>12,639,730</b>	<b>73,759,946</b>
<b>包括利益(損失)の合計:</b>			
銀行の純資産保有者		(34,100,158)	117,750,839
非支配持分		-	-
<b>年間の包括利益(損失)合計</b>		<b>(34,100,158)</b>	<b>117,750,839</b>

付属の決算書に対する注記を参照

モンゴル貿易開発銀行  
株主資本等変動計算書  
2018年度および2017年度

銀行の純資産保有者に帰属									
(単位: 千MNT)									
注記	資本金	資本剰余金	再評価準備金	売却可能金融資産に関する累積未実現利益(損失)	キャッシュフローヘッジの評価に関する累積未実現利益(損失)	収益	合計	非支配持分	総資本
2018年1月1日	50,000,011	19,272,456	130,014,323	13,721,669	72,371,681	590,152,491	875,532,631	-	875,532,631
包括利益(損失)計									
当期純利益	-	-	-	-	-	12,639,730	12,639,730	-	12,639,730
その他の包括利益(損失)									
未実現売却可能金融資産の公正価値の純変動	22	-	-	(2,983,550)	-	-	(2,984,025)	-	(2,984,025)
資産および設備の再評価準備金の純変動	9, 22	-	(782,428)	-	-	7,690,861	6,908,433	-	6,908,433
ネットキャッシュフローヘッジの評価における純未実現損失	22	-	-	-	(42,973,435)	-	(42,973,435)	-	(42,973,435)
その他の包括利益(損失)計		-	(782,428)	(2,983,550)	(42,973,435)	7,690,861	(39,049,027)	-	(39,049,027)
株主との取引									
新株の発行	21	5,205,571	191,120,702	-	-	-	196,326,273	-	196,326,273
AQR結果に関連する追加引当金		-	-	-	-	(116,670,000)	(116,670,000)	-	(116,670,000)
2018年12月31日	55,205,582	210,393,158	129,231,895	10,738,119	29,398,246	493,813,082	928,780,082	-	928,780,082

付属の決算書に対する注記を参照

モンゴル貿易開発銀行  
株主資本等変動計算書(続き)  
2018年度および2017年度

	銀行の純資産保有者に帰属 (単位: 千MNT)										
	注記	資本金	資本剰余金	資本調整	再評価 準備金	売却可能金 融資産に関 する累積未 実現利益 (損失)	キャッシュフ ローヘッジの 評価に 関する累積 未実現利益 (損失)	留保収益	合計	非支配持分	総資本
2017年1月1日		50,000,011	19,272,456	(1,583,600)	126,992,124	30,219,254	14,905,402	516,572,740	756,378,387	2,772,338	759,150,725
<b>包括利益計</b>											
当期純利益		-	-	-	-	-	-	73,759,946	73,759,946	-	-73,759,946
<b>その他の包括利益</b>											
売却可能金融資産の公正価値の純未実現 変化	22	-	-	-	-	(16,497,585)	-	-	(16,497,585)	-	(16,497,585)
有形固定資産の再評価準備金の純変動	9, 22	-	-	-	3,022,199	-	-	-	3,022,199	-	3,022,199
キャッシュフローヘッジの評価における 純未実現損失	22	-	-	-	-	-	57,466,279	-	57,466,279	-	-57,466,279
その他の包括利益計		-	-	-	3,022,199	(16,497,585)	57,466,279	-	-43,990,893	-	43,990,893
<b>その他</b>											
連結範囲の変更等		-	-	1,583,600	-	-	-	(180,195)	1,403,405	(2,772,338)	(1,368,933)
2017年12月31日		50,000,011	19,272,456	-	130,014,323	13,721,669	72,371,681	590,152,491	875,532,631	-	875,532,631

付属の決算書に対する注記を参照

モンゴル貿易開発銀行  
キャッシュフロー計算書  
2018年度および2017年度

	注記	2018 千MNT	2017 千MNT
<b>営業活動からのキャッシュフロー:</b>			
当期純利益		12,639,730	73,759,946
調整額: 減価償却費	9, 10, 27	9,627,054	9,605,279
関連会社および合併会社の利益分配	6	(15,491,654)	(15,858,850)
有価証券の処分に伴う損失(利益)	26	3,154,611	(14,168,548)
子会社への投資の処分による損失	26	10,759,812	-
関連会社および合併会社への投資の処分による損失(利益)	26	9,839,472	(8,556,355)
純受取利息	23, 24	(188,744,382)	(178,760,389)
受取配当金	26	(44,661)	-
法人所得税	30	322,324	381,360
有形固定資産の処分益	26	(54,545)	(4,868)
投資不動産の処分損失	26	1,806,391	-
償却された有形固定資産	27	41,279	140,534
減損損失引当金	28	129,089,040	115,562,031
投資不動産の評価益	11, 26	(1,463,673)	(3,027,463)
有形固定資産の評価益	9	-	(117,643)
<b>営業変更前の営業利益</b>			
<b>資産と負債</b>		(28,519,202)	(21,044,966)
BOM預金残高の増加	4, 32	(42,412,826)	(70,864,203)
貸付金の増加		(475,869,052)	(45,631,007)
再販契約に基づいて購入した請求書の減少(増加)	8	11,981,945	(11,981,945)
劣後ローンの減少		-	4,000,000
その他の資産の減少(増加)(*)	13	(103,343,997)	176,213,881
顧客からの預金の増加	15	452,533,040	654,704,530
銀行・その他の金融機関による預金の増加(減少)	16	(61,899,627)	100,699,920
その他の負債の減少(*)	20	(2,682,535)	(60,443,040)
受取利息		621,528,007	579,971,677
受取配当金		44,661	-
支払利息		(457,975,935)	(435,529,091)
支払法人税		(342,627)	(374,540)
<b>営業活動によって提供された(使用された)純キャッシュフロー</b>		(86,958,148)	869,721,216
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>			
子会社の処分		6,845,310	-
有価証券の購入	5	(498,874,879)	(734,444,700)
有価証券の処分	5	774,578,560	231,267,801
関連会社および合併会社への投資の処分	6	895,711	24,387,146
投資不動産の処分による収入	9	11,494,169	-
有形固定資産の購入	9	(66,993,120)	(3,980,119)
有形固定資産の処分による収入	10	64,358	7,710
無形資産の購入	11	(1,644,483)	(446,628)
差し押さえられた不動産の処分による収入	12	468,726	-
<b>投資活動によって提供される(使用される)純キャッシュフロー</b>		226,883,013	(483,208,790)

付属の決算書に対する注記を参照

モンゴル貿易開発銀行  
キャッシュフロー計算書(続き)  
2018年度および2017年度

	注記	2018 千MNT	2017 千MNT
<b>財務活動によるキャッシュフロー:</b>			
買戻し条件付き返金手形の返済	17	(64,960,388)	-
取入金からの収入	18	964,881,151	529,125,941
借金の返済	18	(1,057,724,614)	(851,763,044)
発行済債券からの収入	19	-	9,978,539
発行済債券の返済	19	-	(234,711,793)
発行された劣後債の返済		-	(24,895,300)
新株の発行	21	196,326,273	-
<b>ファイナンスによって提供される(使用される)純キャッシュフロー</b>		38,522,422	(572,265,657)
<b>現金および現金同等物の純増加(減少)</b>		178,447,287	(185,753,231)
<b>年初の現金および現金同等物</b>		705,535,226	891,288,457
<b>現金および現金同等物の年度末</b>	32	883,982,513	705,535,226

(\*)未収利息及び未払利息の未払金の変動を除き、その他資産及びその他の負債の変動を表しています。

付属の決算書に対する注記を参照

モンゴル貿易開発銀行  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

1 組織と事業

モンゴル貿易開発銀行

モンゴル貿易開発銀行(「銀行」)は、モンゴルの会社法に基づいて設立されたモンゴルの有限責任会社です。銀行は、モンゴルの銀行法およびライセンスNo.8に従って、1993年5月29日にモンゴル銀行の頭取(「BOM」)によって発行された政令No.3 / 149によって銀行業務を行うための特別な任務を与えられました。2002年2月27日にBOMによって更新されました。

前述の決議、ライセンス、およびチャーターに従い、当行は、23支店および28決済センターを通じて、現金の貯蓄、貸出、取り扱および現金送金の処理、決済、外国通貨取引、その他の銀行活動などの銀行活動を行っています。

銀行の直接の親会社は、Globull Investment and Development SCA(「Globull」)であり、これは銀行に対する66.82%の持分を所有しており、ルクセンブルクに法人化されています。Globullは、米国の各州に法人化されているUS Global Investment LLC(「US Global」)が完全所有しています。

2018年12月31日および2017年現在の銀行の子会社、関連会社、および合弁会社は次のとおりです。

親会社	名称	2018 分類	持分(%)		所在地	報告日	業種
			2018	2017			
TDB	TDBキャピタルLLC(*1)	販売可能	10.0	100.0	モンゴル	12月31日	金融
	NNC LLC(*2)	販売可能	9.9	36.9	モンゴル	12月31日	マスコミ
	MGL Leasing(*2)	販売可能	10.0	55.0	モンゴル	12月31日	金融
	MIK Holding JSC(*2)	販売可能	9.9	21.9	モンゴル	12月31日	不動産

(\*1)銀行は、すべての銀行が非銀行会社を子会社または関連会社として保有することを厳しく禁じているモンゴル修正の銀行法に準拠するために、TDBキャピタルLLC(TDBC)株式の90%を売却しました。銀行は、TDBC株式の処分により約108億の損失を認識した。

(\*2) TDBCに対する支配権の喪失により、銀行はMIK保有のJSC、MGLリース、およびNNC LLCに対する重要な影響力をそれぞれ失った。銀行は残りの株式をそれぞれ販売可能有価証券に再分類した。

2018年12月31日の時点で、銀行は子会社または関連会社への投資を一切行っていない。ただし、IAS第28号に従って、これらの投資の処分までの取引は、財務諸表の純資産法で認識されていた。比較期間の財務諸表は連結財務諸表である。

したがって、以前は支配会社とその子会社を指していた「グループ」は、財務諸表では「銀行」に置き換えられている。

モンゴル貿易開発銀行  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

2 準備の基礎

コンプライアンスに関する声明

添付の財務諸表は、BOMガイドラインで修正された国際財務報告基準(「IFRS」)に従って作成された財務諸表です。

BOMガイドラインによって変更された主要な項目のうち、IFRSに準拠していないものには次のものが含まれ、詳細は対応するメモに含まれています。

- 貸倒引当金準備金、売掛金、信用状、未使用の信用コミットメント、未積立シンジケート、差し押さえ物件、および差し押さえ資産
- 繰延税金の会計処理
- IFRS 9の適用の発効日を延期する

財務諸表は、2019年3月29日に取締役会によって発行が承認されました。

測定的基础

財務諸表は、以下を除き、過去のコストに基づいて作成されます。

- 公正価値で測定されるデリバティブ金融商品
- 公正価値で測定される販売可能金融資産
- 取得後に公正価値で測定される特定の資産および設備
- 公正価値で測定される投資不動産
- 公正価値で測定される貴金属

機能とプレゼンテーション通貨

これらの財務諸表は、モンゴルトゥグルク(「MNT」)で表示され、千の位で四捨五入されています。MNTは銀行の機能的な通貨です。

見積もりと判断の使用

財務諸表の作成には、経営陣が会計方針の適用と、報告された資産、負債、収益および費用の金額に影響を与える判断、見積りおよび仮定を行う必要があります。実際の結果はこれらの推定値と異なる場合があります。

見積りおよび基礎となる仮定は継続的に見直されます。会計上の見積りの見直しは、見積りが修正された期間および影響を受ける将来の期間に認識されます。

財務諸表で認識される金額に最も重要な影響を与える会計方針の適用における当行の見積りの不確実性および重要な判断の重要な分野は、貸倒引当金、金融商品の評価、ならびに有形固定資産および投資不動産の評価です。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

### 3重要な会計方針

以下に記載された会計方針は、銀行によって一貫して適用されており、前年度に使用されたものと一致しています。

#### 統合の基礎

##### (i) 子会社

子会社は、銀行が管理する投資先です。当行は、投資先との関与からの変動リターンにさらされている、または投資先に対する権利を有する場合、投資先を管理し、投資先に対するその力を通してそれらのリターンに影響を与える能力を有します。子会社の財務諸表は、支配が開始された日から支配が終了する日までの財務諸表に含まれています。

##### (ii) コントロールの喪失

銀行が子会社の支配を失うと、子会社の資産および負債、ならびに純資産の関連する非支配保険およびその他のコンポーネントの認識が中止されます。結果として生じる利益または損失は、純損益に認識されます。旧子会社に留保された利息は、支配が失われたときに公正価値で測定されます。

##### (iii) 統合時にグループ内トランザクションが削除されました

グループ内の残高、取引、およびグループ内取引から生じる未実現の収益および費用は、財務諸表の作成時に消去されます。グループ内損失は、グループ内損失が財務諸表での認識を必要とする減損を示している場合、費用として認識されます。

##### (iv) 非支配持分

子会社の非支配特権は、子会社の親の特権とは別に会計処理されます。純利益または損失およびその他の包括利益の各コンポーネントは、割り当てにより非支配株主の残高がゼロ未満に減少した場合でも、親および非支配株主の所有者に帰属します。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

### 3重要な会計方針(続き)

#### ビジネスの組み合わせ

##### (i) ビジネスの組み合わせ

ビジネスの組み合わせは、共通の管理下にある事業体またはビジネスを含む組み合わせでない限り、取得方法を適用することにより会計処理されます。

識別可能な各資産および負債は、取得日の公正価値で測定されます。

取得日現在、被取得者の非支配持分は、被取得者の識別可能な純資産の非支配持分の比例持分として測定されます。

事業の組み合わせで移転された対価は、取得者が移転した資産の取得日の公正価値、取得者が被取得者の前所有者に付した負債、および純資産の合計として計算される公正価値で測定されます。取得者が発行した持分。

条件付対価は、取得日の公正価値で測定されます。金融商品の定義を満たす条件付対価を支払う義務が純資産として分類される場合、再測定されず、決済は純資産内で会計処理されます。その他の場合、条件付対価の公正価値のその後の変動は純損益に認識されます。

##### (ii) のれん

当行は、取得日におけるのれんを次のように測定しています。

- 移転された対価の公正価値。プラス
- 被取得者の非支配持分の認識された量。プラス
- 事業の組み合わせが段階的に達成された場合、被取得企業の既存の純資産持分の公正価値。マイナス
- 取得され、負債が引き受けられた識別可能な資産の純認識額（一般に公正価値）。

超過額がマイナスの場合、バーゲン購入による利益は直ちに純損益に認識されます。

当行が非支配持分を追加取得した場合、当取引は純資産取引とみなされるため、当行はのれんを認識しない。

モンゴル貿易開発銀行  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**3 重要な会計方針(続き)**

**関連会社および合弁会社への投資**

アソシエイトとは、当行が財務および経営方針に対して重要な影響力を持っているが、支配力を持たない事業体です。銀行がその他の事業体の議決権の20%から50%を保有している場合、重要な影響が存在すると推定されます。

合弁事業とは、契約を共同で管理する当事者が契約の純資産に対する権利を有する共同契約です。共同管理とは、契約の管理の合意の共有であり、関連する活動に関する決定が、管理を共有する当事者の全会一致の同意を必要とする場合にのみ存在します。

関連会社および合弁事業への投資は当初取得原価で認識され、取得日後の関連会社および合弁会社の純資産および純資産の変動に対する当行の持分を認識するために帳簿価額が増減する。グループ内の残高と取引、およびグループ内の取引から生じる未実現の収入と費用は、財務諸表の作成において消去されます。グループ内損失は、グループ内損失が財務諸表での認識を必要とする減損を示している場合、費用として認識されます。

関連会社または合弁会社が、類似の状況における類似の取引およびイベントに当行の会計方針とは異なる会計方針を使用している場合、純資産法を適用する際に財務諸表に適切な調整が行われます。

当行の損失に対する持分が純資産会計対象の投資先に対する持分を超える場合、長期投資を含むその持分の帳簿価額はゼロに減額され、当行の範囲を除き、さらなる損失の認識は中止される。さらなる損失に対して、投資先に代わって義務を負うか、支払わなければならない。

**外貨取引**

外貨での取引は、取引日の為替レートで銀行の各事業体の機能通貨に換算されます。

外貨建ての貨幣資産と負債は、報告日の為替レートで機能通貨に換算されます。外国通貨で公正価値で測定される非貨幣資産および負債は、公正価値が決定された際の際の為替レートで機能通貨に換算されます。外国通貨の差異は通常、純損益で認識されます。外国通貨の履歴費用に基づいて測定される非貨幣項目は翻訳されません。

ただし、販売可能純資産投資の換算から生じる外国通貨の差異(減損を除き、OCIで認識された外国通貨の差異は純損益に再分類されます)はOCIで認識されます。

モンゴル貿易開発銀行  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**3 重要な会計方針(続き)**

**金融商品**

**(i) 分類**

取引のために保有される金融資産および金融負債には、債券証券、純資産証券、および短期取引目的で当行が取得および保有する証券が含まれます。公正価値の変動は純損益に認識されます。

損益を通じて公正価値で計上されるデリバティブには、有効なヘッジ手段として指定されていない特定のデリバティブ契約が含まれます。純受取可能ポジション(正の公正価値)にあるすべての取引デリバティブおよび購入したオプションは、取引資産として報告されます。正味支払可能ポジション(負の公正価値)にあるすべての取引デリバティブおよび書面オプションは、取引負債として報告されます。

損益を通じて公正価値で測定される金融資産または金融負債には、1) そのような指定により会計上のミスマッチが解消または大幅に減少するため、当初認識時に指定された金融資産および金融負債が含まれます。2) それぞれの金融資産および金融負債は、金融資産、負債、またはその両方のグループの一部であり、それらのパフォーマンスは、文書化されたリスクマネジメントまたは投資戦略に従って公正価値ベースで評価されます。または3) 組み込まれたデリバティブが分離基準を満たしていません。損益を通じて公正価値で測定される金融資産および金融負債は公正価値で記録され、公正価値の変動は現在の事業に記録されます。

オリジネーター・ローンおよび債権は、銀行が債務者に金銭を提供することにより作成されたローンおよび債権です。オリジネーターされた貸付金および債権は顧客に対する貸付金および貸付金で構成され、見積回収可能額を反映する引当金を控除して報告されます。この手当は、BOMの頭取と財務省が共同で承認した、資産分類と引当に関する規則に従って見積もられます。(BOM引当ガイドライン)

満期保有資産は、当行が満期まで保有する意図および能力を有する固定または決定可能な支払いおよび満期が固定された非デリバティブ資産であり、損益を通じて公正価値でまたは売却可能として指定されていない。これには、銀行が保有する特定の有価証券が含まれます。

販売可能資産は、販売可能として指定されているか、金融資産のその他のカテゴリに分類されていない非デリバティブ資産です。

**(ii) 初期認識**

金融資産または金融負債は、当初、公正価値に、金融資産がその後損益を通じて公正価値で会計処理されない場合、その取得または発行に直接起因する取引費用で測定されます。FVTPLの金融資産については、直接帰属する取引費用は発生時に純損益に認識されます。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

### 3 重要な会計方針(続き)

#### 金融商品(続き)

##### (iii) その他の測定

当初認識後、取引のために保有されているすべての金融資産および負債、損益を通じて公正価値で計上されるデリバティブ、損益を通じて公正価値で計上される金融資産および負債、および販売可能資産は、公正価値で測定されます。アクティブな市場で市場価格が見積もられておらず、その公正価値を信頼性をもって測定できない場合は、取引費用を含む原価で減損損失を控除して計上されます。取引商品および販売可能資産の公正価値の変動から生じる損益は、それぞれ純損益に認識され、純資産に直接認識されます。

すべての非取引金融負債、オリジネートされたローンおよび債権、ならびに満期保有資産は、該当する場合、減損損失控除後の償却原価で測定されます。償却原価は実効金利法で計算されます。初期取引費用を含む資本剰余金および割引は、関連する金融商品の帳簿価額に含まれ、金融商品の実効金利に基づいて償却されます。

#### 金融資産および負債の認識の中止

##### (i) 金融資産

銀行は、金融資産からキャッシュフローに対する契約上の権利が失効するか、その資産からキャッシュフローを受け取る契約上の権利を譲渡したか、それらのフローフローを支払う義務を引き受けた場合、金融資産の認識を中止します。特定の基準に従って、または所有権の実質的にすべてのリスクと報酬を譲渡する場合、1人または複数の受信者に送信されます。

銀行は、以前に認識された金融資産を譲渡する取引を開始しますが、それらの資産に関連するすべてのリスクと報酬を実質的に保持します。金融資産の実質的にすべてのリスクと報酬が保持も譲渡もされていない取引では、銀行はその資産の管理(すなわち、譲渡資産を売却する実際の能力)が放棄された場合、譲渡資産の認識を中止します。譲渡で保持される権利と義務は、必要に応じて資産と負債として別々に認識されます。資産の管理が維持されている場合、当行は、継続的な関与の範囲で資産を認識し続けます。これは、譲渡された金融資産の価値の変動にさらされる程度によって決まります。

認識中止の基準は、資産全体ではなく資産の一部の譲渡、または該当する場合は類似の金融資産のグループ全体に適用されます。資産の一部を譲渡する場合、そのような部分は、明確に特定されたキャッシュフロー、資産の完全に比例したシェア、または明確に特定されたキャッシュフローの完全に比例したシェアでなければなりません。

##### (ii) 財務負債

金融負債は、負債に基づく義務が免除またはキャンセルまたは期限切れになると認識が中止されます。既存の金融負債が実質的に異なる条件で同じ貸主のその他に置き換えられた場合、または既存の負債の条件が大幅に変更された場合、そのような交換または変更は、元の負債の認識の中止および新しい負債の認識として扱われます。負債、およびそれぞれの帳簿価額の差額は、包括利益計算書に認識されます。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

### 3 重要な会計方針(続き)

#### キャッシュフローヘッジ

デリバティブが、認識された資産または負債に関連する特定のリスクまたは損益に影響を及ぼす可能性の高い予測取引に起因するキャッシュフローの変動性のヘッジにおいてヘッジ手段として指定されている場合、デリバティブの公正価値は、その他の包括利益に認識されています。デリバティブの公正価値の変動の非有効部分は、直ちに純損益に認識されます。ヘッジデリバティブの有効期限が切れるか、売却、終了、または行使された場合、ヘッジがキャッシュフローヘッジの基準を満たさなくなった場合、またはヘッジ指定が取り消された場合、ヘッジ会計は将来的に中止されます。予測取引の非継続ヘッジでは、ヘッジが有効であった年からその他の包括利益で認識された累積額は、予測取引が発生し、損益に影響を与える場合、再分類調整として純資産から純損益に再分類されます。予測取引が発生しないと予想される場合、その他の包括利益の残高は、再分類調整として直ちに損益に再分類されます。

#### 現金および現金同等物

現金および現金同等物は、手持ちの現金と、当初の満期が3か月未満の銀行およびその他の金融機関からの無制限の支払いで構成され、公正価値の変動のわずかなリスクの対象となり、短期管理コメントにおいて銀行によって使用されます。

#### 有形固定資産

##### (i) 認識とその他の測定

有形固定資産の初期費用は、輸入関税、返金不可の購入税を含む購入価格、および資産をその使用目的のために労働条件および場所にするための直接帰属費用を含みます。

資産として認識された後、公正価値を確実に測定できる有形固定資産は、再評価日の公正価値からその後の累積減価償却およびその後の累積減損を差し引いた再評価額で計上されます。修繕費やオーバーホール費用など、資産や設備の運用開始後に発生した支出は、通常、費用が発生した年度に費用計上されます。

支出の結果、当初評価されたパフォーマンス基準を超えて有形固定資産の使用から得られると予想される将来の経済的便益が増加したことを明確に実証できる状況では、支出は追加として資本化される資産および設備の費用。

当行は、資産および設備を再評価し、再評価された資産の公正価値が帳簿価額と実質的に異なるようにしている。再評価から生じる剰余金は、純資産の再評価準備金で処理されます。生じた赤字は、同じ資産の以前の増加の範囲で再評価準備金と相殺されます。その他のすべての場合、帳簿価額の減少は減損として純損益に計上されます。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

3 重要な会計方針(続き)

有形固定資産(続き)

(ii) 減価償却

減価償却費は、有形固定資産の各項目の推定耐用年数にわたって定額法で損益に計上されます。資産および設備の推定耐用年数は次のとおりです。

• 建物	40-60年
• オフィス機器および自動車	10年
• コンピューター	3-5年

減価償却方法、耐用年数および残存価額は各報告日でレビューされ、必要に応じて調整されます。この変更は、会計上の見積りの変更として会計処理されます。

建設中

建設中は、完全に完成または設置されていない新しい建物や建物の建設費用を表します。建設期間中の建設中の減価償却は提供されません。

無形資産

(i) 無形資産の取得

当行が取得した無形資産は、累積償却額および減損損失を控除した原価で計上される。

(ii) 償却

償却は、無形資産の耐用年数が無期限でない場合、無形資産の推定耐用年数にわたって定額法で包括利益計算書に請求されます。無形資産の推定耐用年数は次のとおりです。

• ソフトウェア	3年
• 特許	10年

償却方法と償却期間は各報告日でレビューされ、必要に応じて調整されます。この変更は、会計上の見積りの変更として会計処理されます。

投資不動産

賃貸収入を得るため、または資本増価の恩恵を受けるために保有されている不動産は、投資不動産として分類されます。投資不動産は当初、その費用で測定されます。取引費用は初期測定に含まれています。その後、投資不動産は公正価値で測定され、公正価値の変動は純損益に認識されます。

所有者の占有または売却を目的とした開発の開始により、所有者が占有する資産または棚卸資産に公正価値で振り替えられた投資不動産のみなし費用は、使用の変更日における投資不動産の公正価値です。

所有者が所有する不動産が、所有者の居住の中止により公正価値で保有される投資不動産になる場合、銀行は、使用の変更日の公正価値で再評価し、投資不動産に再分類するものとします。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

3 重要な会計方針(続き)

抵当流れの不動産

差し押さえを通じて取得された不動産は、当初、公正価値で認識され、差し押さえ物件として記録されます。その後、手当はBOMの頭取と財務省によって共同で承認されたBOM プロビジョンガイドラインに従って推定されます。このようなモデルは、時間特性に基づいて当行の抵当流れ物件を分類し、延滞、準標準、疑わしい、および損失をそれぞれ実行する信用分類カテゴリに対して、0%、25%、50%、75%、および100%の割合で引当金を設定します。

売却目的で保有する非流動資産

継続使用ではなく主に売却を通じて回収されると予想される非流動資産は、売却目的保有に分類されます。資産は、そのような資産の販売のための通常かつ慣習的な条件にのみ従う現状で即時販売が可能でなければならず、その販売は非常に可能性が高くなければなりません。資産を売却目的保有として分類する直前に、資産の帳簿価額は、該当するIFRSに従って再測定されます。その後、通常、資産は帳簿価額と売却費用控除後の公正価値の低い方で測定されます。

非流動資産が売却目的保有資産として分類される場合、資産は減価償却されません。

売却目的保有としての初期分類での減損損失および再測定でのその後の損益は、純損益に認識されます。IAS第36号「資産の減損」に基づく累積減損損失を超える利益は認識されません。

モンゴル貿易開発銀行  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

3 重要な会計方針(続き)

**減損**

銀行の資産の帳簿価額は、各報告日で見直され、減損の兆候があるかどうかを判断されます。そのような兆候が存在する場合、資産の回収可能額が見積もられます。

**(i) 貸付金および債権**

貸付金および債権は、回収不能の引当金控除後に表示されます。BOM 引当ガイドラインに従って、これらの貸付金および債権を回収可能額まで減額するために、未払い残高の定期的なレビューに基づいて、潜在的に減損していると特定された貸付金および債権の帳簿価額に対して引当が行われます。引当金勘定の増加は純損益に認識されます。ローンが回収不能であることがわかっている場合、必要なすべての法務手続きが完了し、最終的な損失が決定された場合、ローンは直接償却されます。

2017年6月30日に改訂されたBOM 引当ガイドラインに従って、銀行は、時間要因と質的特性に基づいて債権を分類し、見直しを決定することで債権の品質を決定する必要があります。このようなモデルは、信用リスクの分類カテゴリに基づいて、0.5%、1%から5%、5%から25%、15%から50%、および50%から100%の割合で銀行の引当金を分類します。延滞、標準以下、疑わしいおよび損失。当行は、預金担保ローンおよびオーバーナイト・ローンの引当金を認識していません。

信用度分類を決定する際に考慮される定性的特性には、ローンファイルの完全性、借り手の財務指標、担保の価値およびローンの以前の再スケジュールなどが含まれます。

2017年6月30日に改訂されたBOM引当ガイドラインに従って、銀行は、債務者の分類と引当の決定における債務者の定性的特性に基づいて、オフバランス資産と偶発債務の品質を決定する必要があります。BOM引当ガイドラインは、残存期間に応じて引当率のモデルを設定していました。そのようなモデルは、以下の信用分類カテゴリに基づいて、残存期間が1年未満の場合、オフバランス資産および偶発債務損失に対する当行の引当金を0%、5%、25%、50%および100%の割合で分類します。延滞して、それぞれ標準以下、疑わしい、損失を実施します。残存期間が1年以上の場合、当行は、以下の信用分類カテゴリに基づいて、0%、1%、15%、35%、および75%の率で、オフバランス資産および偶発債務損失に対する当行の引当金を分類します。延滞して、それぞれ標準以下、疑わしい、損失を実施します。

その後の事象により減損損失の額が減少する場合、減損損失の減少は純損益を通じて戻入されます。

モンゴル貿易開発銀行  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

3 重要な会計方針(続き)

**減損(続き)**

**(ii) 販売可能金融資産**

販売可能金融資産の公正価値の下落がその他の包括利益で認識され、資産が減損しているという客観的な証拠がある場合、その他の包括利益で認識された累積損失は純資産から利益または金融資産の認識が中止されていない場合でも、再分類調整としての損失、売却可能として分類された純資産商品への投資について純損益に認識された減損損失は、純損益を通じて戻入されません。その後の期間に、販売可能として分類された負債性金融商品の公正価値が増加し、その増加が減損損失が純損益に認識された後に発生する事象に客観的に関連している場合、純損益に認識された反転の販売可能金融資産の公正価値の下落がその他の包括利益で認識され、資産が減損しているという客観的な証拠がある場合、その他の包括利益で認識された累積損失は、金融資産の認識が中止されていない場合でも、再分類調整として純資産から純資産へ、販売可能と分類された純資産商品への投資について純損益に認識された減損損失は、純損益を通じて戻入できません。その後の期間に、販売可能として分類された負債性金融商品の公正価値が増加し、その増加が減損損失が純損益に認識された後に発生する事象に客観的に関連している場合、純損益に認識された反転のさらに、純資産証券への投資の場合、その費用を下回る公正価値の大幅なまたは長期にわたる下落は、減損の客観的な証拠です。

**(iii) 満期保有金融資産**

償却原価で測定される満期保有金融資産に関する減損損失は、帳簿価額と資産の当初の実効金利で割引かれた見積将来キャッシュフローの現在価値との差額として計算され、利益として認識されるまたは損失。減損資産の利息は、割引の解消を通じて引き続き認識されます。その後の事象により減損損失の額が減少する場合、減損損失の減少は純損益を通じて戻入されます。

**(iv) 資産その他の金融商品**

銀行は、各報告日に資産が減損している可能性があるかどうかを評価します。そのような兆候が存在する場合、または資産の年次減損テストが必要な場合、当行は各資産の回収可能額を見積もる。回収可能額は、資産または現金生成部の売却費用と使用価値を差し引いた公正価値のうち、高い方です。使用価値を評価する際、推定される将来のキャッシュフローは、貨幣の時間価値と資産に固有のリスクの現在の市場評価を反映する割引前割引率を使用して、現在価値に割引されます。その他の資産からのキャッシュフローとはほとんど無関係なキャッシュフローを生成しないアセットの場合、そのアセットが属するキャッシュ生成部の回収可能額が決定されます。減損損失は、資産またはその現金生成部の帳簿価額が回収可能額を超えるたびに認識されます。減損は、包括利益計算書で現在の業務の損失として認識されます。

減損損失は、回収可能額を決定するために使用される見積りに変更があった場合に戻入されます。減損損失は、減損損失が認識されなかった場合、資産の帳簿価額が減価償却または償却の純額で決定される帳簿価額を超えない範囲でのみ取り消されます。減損の反転はすべて、利益計算書に含まれる利益として認識されます。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

3 重要な会計方針(続き)

買戻し契約

当行は、固定価格で将来の特定の日に実質的に同一の投資を再販(買戻し)する契約の下で投資の購入(売却)を行う。将来の日付でそれらを転売するというコミットメントを条件として購入された投資は、保険では認識されません。支払額は、銀行または顧客へのローンで認識されます。債権は、基礎となる証券によって担保されているものとして表示されます。買戻し契約に基づいて売却された投資は引き続き財政状態計算書に認識され、適宜、取引目的で保有する資産または売却可能のいずれかの会計方針に従って測定されます。投資の売却による収益は、銀行または顧客への負債として報告されます。売却対価と買戻し対価の差額は、金利収入または費用として扱われ、実効金利法を使用して契約期間中に発生します。

株式資本

(i) 普通株式

普通株式は純資産として分類されます。普通株式および新株予約権の発行に直接起因する増分費用は、純資産純額からの控除として認識されます。

(ii) 財務シェア

純資産として認識された株式資本が買戻される場合、直接帰属する費用を含む支払対価の金額は、税効果の純額であり、純資産からの控除として認識されます。買戻された株式は財務株式として分類され、総資本からの控除として表示されます。財務株式がその後売却または再発行されると、受け取った金額は純資産の増加として認識され、結果として生じる取引の黒字または赤字は留保利益との間で振替されます。

(iii) 非支配持分

非支配持分は、直接または間接的に親の利益に起因しない子会社の純資産を表し、IFRS 3「ビジネスの」に従って計算された元の組み合わせの日付における非支配持分の金額と組み合わせの日付以降の純資産の変更の組み合わせと非支配持分の割合で構成されます。

引当

銀行が過去の出来事の結果として法務または建設的義務を負う場合、引当は、ファイナンスで認識され、その義務を解決するために経済的便益の流出が必要になる可能性が高い。効果が重大な場合、引当は、予想される将来のキャッシュフローを、貨幣の時間価値の現在の市場評価、および適切な場合には負債に固有のリスクを反映する割引率によって割り引くことによって決定されます。

セグメント報告

事業セグメントは、銀行のその他のコンポーネントとの取引に関連する収益および費用を含む、収益を獲得し、費用が発生するビジネス活動に従事する銀行のコンポーネントです。すべての事業セグメントの経営成績は、当社の最高経営意思決定者(「CODM」)によって定期的レビューされ、セグメントに割り当てられるリソースについて決定を下し、そのパフォーマンスを評価します。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

3 重要な会計方針(続き)

収益

(i) 金利収入

金利収入および費用は、資産または負債の実効利回りを考慮に入れて、包括利益計算書に計上されません。金利収入および費用には、利付商品の帳簿価額と実効金利ベースで計算された満期時の金額との間の割引または資本剰余金またはその他の差額の償却が含まれます。実効金利ベースであるが、発生時にそれらを純損益で認識する。

(ii) 手数料収入

手数料サービスの収入は、提供される金融サービスに対して顧客に請求されます。手数料収入は、顧客との契約から決定された取引価格に基づいて測定され、対応するサービスが提供されるときに認識されます。

(iii) 賃貸料所得

リース資産からの賃貸収入は、リース期間にわたって定額法で包括利益計算書に認識されます。付与されたリースインセンティブは、合計賃貸収入の不可欠な部分として認識されます。

(iv) 配当金

配当配当金は、配当を受け取る権利が確立されたときに認識されます。

オペレーティングリースの支払い

オペレーティングリースに基づく支払いは、リース期間にわたって定額法で包括利益計算書に認識されます。受け取ったリースのインセンティブは、リース期間にわたる合計レンタル費用の控除として包括利益計算書に認識されます。

所得税

法人所得税は、現在の税のみで構成されています。

当期税は、報告日で制定または実質的に制定された税率と、過去の年に対する未払税金の調整を使用して、その年の課税所得または損失に対して予想される未収税または未収税です。

財務省は2010年5月に繰延税金の差異に関する規制を発表しました。しかし、モンゴル税務署はまだ規制を実施しておらず、繰延税の問題は税法にまだ組み込まれていません。商業銀行を含む企業、税務当局、円滑な採用のためには、計算方法の発行、トレーニング、実務家との議論などの実質的な実装努力が必要です。BOMは、繰延税金資産および負債の会計処理に関する商業銀行向けのガイドラインの発行を計画しており、商業銀行による繰延税金の現在の会計慣行はIFRSに準拠していないことを認識しています。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

### 3 重要な会計方針(続き)

#### 所得税(続き)

モンゴル政府は、市場経済への移行に伴い、ビジネスと商業インフラストラクチャーの改革を続けています。その結果、ビジネスに影響を与える法律や規制は急速に変化し続けています。これらの変更は、不十分な起草、さまざまな解釈、および税務当局による一貫性のない適用によって特徴付けられることがあります。特に、税は罰金と罰則を課すことが法律で許可されている多くの当局による検討と調査の対象となります。当行は、期末時点の税法およびステータスの理解に基づいて、すべての税負債を適切に提供していると考えていますが、上記の事実は、当段階では定量化できない銀行の税リスクを生み出す可能性があります。

#### 従業員給付

銀行は、州の社会保険制度に対する法定の社会保険金の支払いに応じて雇用主の一部を提供する場合を除き、従業員に退職手当を提供しません。当行による拠出は、発生時に包括利益計算書の費用として認識されます。

#### 採用された新しい基準と解釈

当行は、2018年1月1日から以下の新しい会計基準を適用しました。

##### (i) 顧客との契約からのIFRS 15収益(IFRS 15)

銀行は、顧客との契約からIFRS 15号の収益を適用しました。この基準は、IAS 18 収益、IAS 11建設のための建設、SIC-31広告サービスを反転する収益バーター取引、IFRIC 13顧客ロイヤリティプログラム、IFRIC 15 Realの構築のための合意、IFRIC 18顧客からの資産の譲渡に代わるものです。

IAS 18やその他の標準は、商品の販売、サービスの提供、利子、ロイヤリティ、配当、建設契約などのさまざまなタイプの取引の収益認識基準を提供します。ただし、新しい標準IFRS 15に基づく収益は、5ステップモデルの適用(①契約の特定→②履行義務の特定→③取引価格の決定→④履行義務への取引価格の割り当て→⑤履行義務の充足時に収益を認識する)。

当行は2018年1月時点でIFRS 15の影響を分析しており、財務諸表への重要な影響はないと結論付けました。2018年の財務諸表に影響を与える可能性のある重要な取引はありませんでした。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

### 3 重要な会計方針(続き)

#### まだ採用されていない新しい基準と解釈

以下の新しい基準、既存の基準に対する解釈および修正が公開されており、2019年1月1日以降に開始する年次期間に有効であり、銀行はそれらを早期に採用していません。

##### (i) IFRS 9金融商品(IFRS 9)

2015年12月に公開されたIFRS 9は、IAS 39「金融商品:認識と測定」の既存のガイダンスに代わるものです。IFRS 9には、金融商品の分類と測定に関する改訂されたガイダンス、金融資産の減損を計算するための新しい予想信用損失モデル、および新しい一般的なヘッジ会計要件が含まれています。また、金融商品の認識および認識の中止に関するガイダンスをIFRS 9から引き継いでいます。IFRS 9は、2018年1月1日以降に開始する年次期間に有効です。ただし、BOMは、モンゴル商業銀行のIFRS 9の発効日を2020年1月1日に延期しました。

当行は、IFRS 9の適用により生じる財務諸表への潜在的な影響を評価しています。

##### (ii) IFRS 16リース(IFRS 16)

IFRS 16リースはIAS 17リース、IFRIC 4契約にリースが含まれるかどうかの決定、SIC-15オペレーティングリース-インセンティブ、SIC-27リースの法務フォームに関連する取引の実質の評価を置き換えます。

銀行は、契約の開始時および最初の適用日において、契約がリースであるか、それを含むかどうかを評価するものとします。ただし、実用的な手段として、当行は、契約が最初の申請日においてリースであるか、リースを含むかどうかを再評価する必要はありません。

リースである、またはリースを含む契約の場合、借手と貸手は、契約内の各リース要素を、契約の非リース要素とは別にリースとして会計処理するものとします。

借手は、原資産を使用する借手の権利を表す使用権資産を認識し、支払いを行う義務を表す負債をリースするものとします。ただし、短期リースおよび低価値資産のリースには例外が適用される場合があります。さらに、実務上の便法として、借手は、原資産のクラスごとに、非リース構成要素をリース構成要素から分離せず、代わりに各リース構成要素および関連する非リース構成要素を単一のリース構成要素として会計処理することを選択できます。

当行は、2019年1月から始まる年次期間にこの基準を適用する予定です。当行は現在、2018年12月31日時点でIFRS 16の影響を評価しています。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

4 現金および預金

	2018 千MNT	2017 千MNT
手許現金	77,762,969	62,641,118
銀行およびその他の金融機関への預金	279,835,253	218,623,755
BOM(*)を使用した残高	937,195,273	792,668,509
	1,294,793,495	1,073,933,382

(\*)2018年12月31日、BOMでは、MNTの平均顧客預金の最低10.5%、および外国通貨の平均顧客預金の12%をBOMで2週間維持する必要があります。2017年12月に、BOMは、2週間の平均顧客預金の最低12%をBOMで維持することを要求しました。毎日の要件に関連して、銀行はまた、毎日の終わりに必要な準備金の50%以上を維持する必要があります。2018年12月31日および2017年に、必要な引当金はそれぞれ410,810,982千MNTおよび368,398,156千MNTでした。

5 有価証券

	2018 千MNT	2017 千MNT
<b>販売可能有価証券</b>		
引用符で囲まれていない純資産証券(*)1	3,552,205	443,430
取得資産、取得価額(*)2	75,260,890	92,257,890
純資産証券、公正価値	51,388,358	22,898,445
国債	25,212,595	1,870,111
モンゴル銀行財務法案	443,184,145	684,543,820
住宅ローン担保証券	102,802,800	105,177,000
	701,400,993	907,190,696
<b>満期保有有価証券</b>		
国債	992,740,563	992,667,318
モンゴル開発銀行債	65,000,000	126,428,693
	1,057,740,563	1,119,096,011
	1,759,141,556	2,026,286,707

(\*)1非上場の純資産証券は、非上場非公開会社への投資を表しており、活発な市場には上場市場価格がなく、その公正価値を確実に測定できないため、原価で計上されます。

(\*)2当行は、MNRECがローンを返済しない場合に当行にMNREC株式が譲渡される、当行とMNRECの株主との間の個別の合意に基づいて、モンゴルナショナルレアアースコーポレーションLLC(「MNREC」) 2016年12月26日現在、当行はMNRECの100%純資産持分を取得し、BOMガイドラインに従って販売可能有価証券として分類されています。差し戻された資産は、BOMガイドラインに従って原価で記録されます。当行は、2018年のAQRの結果として16,997,000千MNTの減損損失を認識しました。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

6 関連会社および合弁会社への投資

	2018 千MNT	2017 千MNT
MIK Holding JSCへの投資	-	44,331,909
MG Leasing LLCへの投資	-	5,480,743
NNC LLCへの投資	-	11,028,612
	-	60,841,264

当行は2018年にTD8キャピタルLLC(TD8C)株式の90%を売却しました。TD8C株式を売却した結果、当行はTD8Cの支配権を失い、残りの株式を販売可能有価証券に再分類しました。したがって、当行は、MIKの保有JSC、MGリース、およびNNC LLCに対するそれぞれの重要な影響力を失った。銀行は残りの株式をそれぞれ販売可能有価証券に再分類しました。

2018年12月31日および2017年12月31日現在、および2017年および2018年12月31日で終了した年度の関連会社および加入事業の要約財務諸表は次のとおりです。

投資先	2018 千MNT		2017 千MNT	
	資産	負債	資産	負債
MIK Holding JSC	3,186,975,027	2,997,171,098	2,778,947,860	2,612,635,129
MG Leasing LLC	179,370,169	164,262,242	87,739,238	77,774,249
NNC LLC	40,138,303	12,039,301	41,893,789	13,351,833
	2018 千MNT		2017 千MNT	
	営業利益(損失)	純利益	営業利益	純利益
MIK Holding JSC	235,482,019	58,933,072	216,078,035	65,032,240
MG Leasing LLC	12,154,861	5,142,938	7,407,715	2,860,446
NNC LLC	6,512,922	(553,412)	6,253,272	(2,460,144)

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

7 貸付金

	2018 千MNT	2017 千MNT
顧客への貸付金	3,456,658,750	3,002,411,299
役員、取締役、スタッフへの融資	34,739,672	30,495,732
	3,491,398,422	3,032,907,031
貸倒引当金	(436,666,656)	(267,932,462)
	3,054,731,766	2,764,974,569

2018年度および2017年度の貸倒引当金の推移は次のとおりです。

	2018 千MNT	2017 千MNT
1月1日	267,932,462	153,566,637
年間純引当金(*1)	228,877,862	114,365,825
償却	(60,143,668)	-
12月31日	436,666,656	267,932,462

(\*1) AQR結果が含まれています。

さらに、当行は、2018年および2017年にそれぞれ109,394,123千MNTおよび170,632,476千MNTの帳簿価額を有するMIK SPCに住宅ローンを譲渡した。これらの取引は認識中止の対象となりました。

当行は、2018年中に309,670千MNTの帳簿価額の抵当貸付プールをモンゴル住宅ローン公社HFC LLCに譲渡しました。したがって、当行は財務諸表で認識を中止しなかったが、これらの取引を2018年12月31日の残高が4,162,660千MNTである担保付融資として会計処理した。(注記 18)

銀行は、2016年6月にモンゴル銀行とトラブル資産回復プログラム(「TARP」)契約を締結しました。TARPは、指定された経済部門の2人の借り手がローンの元本と利息を完全に返済することを期待していない中期的に、この契約に基づき、BOMは当行が発行済債券を購入し、当行は特定のローンを付与しました。

8 再販契約の下で購入された請求書

契約当事者	売却日	満期	金利	2018 千MNT	2017 千MNT
Trans Bank	2017年12月28日	2018年1月2日	11.0%	-	11,981,945

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

9 有形固定資産

資産および設備2018年12月31日および2017年12月31日現在はそのとおりです。

2018年12月31日 (千MNT)					
	建物	オフィス機器 輸送機器	コンピューター その他	建設中(*1)	合計
原価/再評価					
原価	38,457,088	10,716,262	26,326,256	142,820,691	218,320,297
再評価時	130,014,323	-	-	-	130,014,323
2018年1月1日	168,471,411	10,716,262	26,326,256	142,820,691	348,334,620
追加	-	10,637,429	8,907,851	55,148,467	74,693,747
処分	-	(339,715)	(4,830,250)	-	(5,169,965)
償却	-	(585,907)	(985,964)	-	(1,571,871)
再評価 余剰(*1) 変化	4,386,864	-	-	-	4,386,864
連結範囲	-	(33,337)	(50,264)	-	(83,601)
2018年12月31日	172,858,275	20,394,732	29,367,629	197,969,158	420,589,794
測定値:					
原価	38,457,088	20,394,732	29,367,629	197,969,158	286,188,607
再評価	134,401,187	-	-	-	134,401,187
	172,858,275	20,394,732	29,367,629	197,969,158	420,589,794

累積減価償却

2018年1月1日	591,374	4,970,701	18,633,955	-	24,196,030
年間の料金	3,406,098	1,001,208	3,761,897	-	8,169,203
廃棄	-	(339,715)	(4,830,250)	-	(5,169,965)
償却	-	(545,261)	(985,331)	-	(1,530,592)
再評価余剰変化	(2,521,571)	-	-	-	(2,521,571)
連結範囲	-	(17,858)	(35,557)	-	(53,415)
2018年12月31日	1,475,901	5,069,075	16,544,714	-	23,089,690

帳簿価額

2018年12月31日	171,382,374	15,325,657	12,822,915	197,969,158	397,500,104
-------------	-------------	------------	------------	-------------	-------------

(\*1)建設中のアカウントは、主に当行の新しいオフィスビルと支店の建設費用で構成されています。銀行は、リバーストーンプロパティLLCと新しい本社を建設する契約を結び、2016年6月と2018年12月にそれぞれ136,973,200千MNTと52,683,800千MNTを支払いました。2018年に、Riverstone Property LLCは建設都市開発省からすべての建設許可を取得し、実際の建設を開始しました。建物は2022年に完成します。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

9 有形固定資産(続)

2017年12月31日  
(千MNT)

	建物(*1)	オフィス機器 輸送機器	コンピューター その他	建設中(*2)	合計
<b>原価/再評価</b>					
原価	48,018,214	13,804,225	23,829,662	142,199,641	227,851,742
再評価時	126,150,568	841,556	-	-	126,992,124
	174,168,782	14,645,781	23,829,662	142,199,641	354,843,866
2017年1月1日					
追加	161,589	274,927	2,922,553	621,050	3,980,119
廃棄	-	(34,071)	(3,786)	-	(37,857)
償却	(128,825)	(45,463)	(346,870)	-	(521,158)
連結範囲変化	(6,069,773)	(3,283,356)	(75,303)	-	(9,428,432)
再評価 余剰	419,503	(841,556)	-	-	(422,053)
再評価損失	(79,865)	-	-	-	(79,865)
2017年12月31日	168,471,411	10,716,262	26,326,256	142,820,691	348,334,620
評価日					
原価	41,901,340	10,716,262	26,326,256	142,820,691	221,764,549
再評価	126,570,071	-	-	-	126,570,071
	168,471,411	10,716,262	26,326,256	142,820,691	348,334,620

累積減価償却

2017年1月1日	1,366,583	4,852,103	15,065,697	-	21,284,383
年間の料金	3,222,472	955,438	3,946,573	-	8,124,483
廃棄	-	(34,071)	(944)	-	(35,015)
償却	-	(38,986)	(341,638)	-	(380,624)
連結範囲変化	(355,921)	(763,783)	(35,733)	-	(1,155,437)
再評価 余剰	(3,444,252)	-	-	-	(3,444,252)
再評価 利得	(197,508)	-	-	-	(197,508)
2017年12月31日	591,374	4,970,701	18,633,955	-	24,196,030
帳簿価額					
2017年12月31日	167,880,037	5,745,561	7,692,301	142,820,691	324,138,590

(\*1) 2017年、銀行は建物の耐用年数を見直しました。その結果、同じ建物の推定耐用年数は40年から60年に延長されました。これらの変更は、IAS 8に従って会計上の見積りの変更として会計処理されます。これらの変更が実際のおよび予想される減価償却費に与える影響は重要ではないと予想されます。

(\*2) 建設中のアカウントは、主に当行の新しいオフィスビルと支店の建設費用で構成されています。銀行は、2016年6月にRiverstone Property LLCと新しい本社を建設する契約を締結し、136,973,200千MNTを支払いました。Riverstone Property LLCは現在、建設に必要な許可を取得中です。実際の建設作業は、2018年に開始され、2022年に完了する予定です。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

9有形固定資産(続)

独立した専門の評価会社によって評価された建物の最新の評価の詳細は次のとおりでした。

評価日	不動産の説明	評価の基礎
2016年12月31日	ビル	市場価格
2017年12月31日	ビル	市場価格
2018年12月31日	ビル	市場価格

次の表は、建物の公正価値の測定に使用される評価手法と、使用された重要な観察不能なインプットを示しています。

評価方法	重要な観測不能な入力	重要な観測不能なインプットと公正価値測定の相互関係
市場価格法	プロキシの平均販売価格	見積公正価値は、次の場合に増加(減少)します。
	(単位: 千MNT/m <sup>2</sup> ); 建物: 6,018 ~ 8,957	プロキシの土地所有権、建物、およびアパートの予想市場価格は高かった(低かった)。

10無形資産

	2018 千MNT	2017 千MNT
<b>コスト</b>		
1月1日	13,030,544	14,386,501
追加ソフトウェア	1,657,600	446,628
償却	-	(5,676)
連結範囲の変更	(2,822,989)	(1,796,909)
12月31日	11,865,155	13,030,544
<b>償却</b>		
1月1日	10,443,358	9,338,385
その年の償却費(*1)	1,457,852	1,480,796
償却	-	(5,676)
連結範囲の変更	(2,812,464)	(370,147)
12月31日	9,088,746	10,443,358
帳簿価額		
12月31日	2,776,409	2,587,186

(\*1)ソフトウェアの償却が請求されます。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

11 投資不動産

	2018 千MNT	2017 千MNT
1月1日	91,951,413	88,923,950
廃業	(13,300,560)	-
公正価値の変動	1,463,673	3,027,463
12月31日	80,114,526	91,951,413

投資不動産の公正価値は、独立した専門の評価会社によって評価されました。独立した鑑定人は、銀行の投資不動産ポートフォリオの公正価値を毎年提供しています。

投資不動産の公正価値階層は、評価手法で使用されるインプットに基づいてレベル3に分類されています。

2018年と2017年の間、投資不動産のレベル3への、またはレベル3からの移動はありませんでした。

次の表は、投資不動産の公正価値の測定に使用された評価手法と、使用された重要な観察不能なインプットを示しています。

評価方法	重要な観察不能な入力	重要な観察不能なインプットと公正価値測定の相互関係
市場価格法	プロキシの平均販売価格 (単位: 千MNT/m <sup>2</sup> ); 建物: 5,547 ~ 8,957	見積公正価値は、以下の場合に増加(減少)します。 プロキシビルの予想市場価格が高かった(低かった)。

12 抵当流れの不動産

	2018 千MNT	2017 千MNT
工業ビル	11,820,677	12,129,207
アパート・住宅	1,263,746	1,358,786
減少: 手当	(10,361,264)	(10,679,687)
	2,723,159	2,808,306

2018年および2017年に、差し押さえられた不動産からの回収時にそれぞれ1,405,822千MNTおよび481,869千MNTの引当金が戻され、差し押さえられた不動産は減損損失から償却されませんでした。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

13 その他の資産

	2018 千MNT	2017 千MNT
貴金属	54,974	32,149
未収利息	212,328,654	170,379,528
前払い	4,006,574	3,634,799
在庫品	1,084,523	871,872
ヘッジ手段(*1)(*2)(*3)	379,263,246	314,341,681
国内為替決済債権	5,558,175	14,042,067
その他の売掛金(*4)	24,842,895	12,119,858
	627,139,041	515,421,954

(\*1)ヘッジ手段の当初認識時に認識された繰延利益の変化は次のとおりです。

	2018 千MNT	2017 千MNT
期首残高	42,926,708	61,359,941
繰延	-	-
償却(*)	(18,433,233)	(18,433,233)
期末残高	24,493,475	42,926,708

(\*)繰延利益の償却は、デリバティブの公正価値の変動の有効部分として、キャッシュフローヘッジに関連して、2017年12月31日および2018年に終了した年度のその他の包括利益として認識されました。

(\*2)銀行は、2015年5月15日以降のUSD建ての債券の発行に起因する外国通貨リスクをヘッジするために、デリバティブ(FXスワップ)を使用して500,000千USDのキャッシュフローヘッジ金額を適用しました。

(\*3)2017年および2018年12月31日に終了した年度のキャッシュフローヘッジの有効部分として認識されたその他の包括利益の変化は次のとおりです。

	2018 千MNT	2017 千MNT
期首残高	72,371,681	14,905,402
増加	64,921,565	26,266,279
再分類(*)	(107,895,000)	31,200,000
期末残高	29,398,246	72,371,681

(\*)2018年度および2017年度の純損益に再分類された評価利得。ヘッジ手段の損益の非有効部分の認識額はゼロです。銀行は、キャッシュフローヘッジとして指定されたデリバティブ契約が2018年12月31日の時点でキャッシュフローのボラティリティリスクにさらされる期間は、2020年4月29日までになると予想しています。

(\*4)その他の未収金は、それぞれ減損損失を差し引いて724,883千MNTおよび795,115千MNT 2018年12月31日および2017年12月31日現在表示されます。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

14 売却目的で保有する非流動資産

2018年、当行は、差し押さえられた不動産の10棟の建物を売却目的で保有する非流動資産に分類しました。当行は、資産が売却目的保有に分類されてから1年以内に売却が完了するという特定の計画を開始しました。そして、銀行は2018年12月31日時点で販売計画が非常に高い確率であると予想しています。

2018年12月31日時点で売却目的で保有されている資産は以下のとおりです。

	2018 千MNT
取得コスト	65,313,807
累積減損	(444,181)
	<u>64,869,626</u>

2018年12月31日で終了した年度に売却目的で保有されていた資産の累積減損損失の変動は以下のとおりです。

	2018 千MNT
期首残高	-
減損損失	444,181
期末残高	<u>444,181</u>

15 顧客からの預金

	2018 千MNT	2017 千MNT
当座預金	1,570,821,745	1,243,670,776
貯蓄預金	313,527,953	256,649,910
定期預金	1,582,392,670	1,507,655,252
その他の預金	56,024,308	62,257,698
	<u>3,522,766,676</u>	<u>3,070,233,636</u>

通常、当座預金およびその他の預金には関心がありません。ただし、当座預金残高を所定の限度を超えて維持する預金者の場合、外国および現地通貨口座の年利はそれぞれ約1.62%および3.68% (2017: 2.26%および3.54%)の利率で提供されます。

外国および地方の通貨貯蓄預金は、それぞれ約1.91%および5.96%の利率を負担します(2017年: 1.92%および5.95%)。

外国および現地通貨の定期預金は、それぞれ約5.80%および13.79% (2017年: 6.23%および14.63%)の利率を負担します。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

16 銀行およびその他の金融機関による預金・預け入れ

	2018 千MNT	2017 千MNT
当座預金:		
外貨預金	33,430,063	34,606,332
現地通貨預金	1,610,332	11,209,388
外国通貨の販売確認	4,444	12,722
	<u>146,963,125</u>	<u>198,079,149</u>
銀行からの預金		
	<u>182,007,964</u>	<u>243,907,591</u>

17 買戻し条件付き売却手形

契約当事者	売却日	満期日	金利	2018 千MNT	2017 千MNT
モンゴル開発銀行	2016年2月8日	2018年9月21日	7.5%	-	64,960,388
モンゴル開発銀行	2016年2月8日	2021年10月6日	7.5%	15,000,000	15,000,000
モンゴル開発銀行	2016年2月25日	2021年11月23日	7.5%	20,000,000	20,000,000
モンゴル開発銀行	2016年3月3日	2021年11月29日	7.5%	20,000,000	20,000,000
モンゴル開発銀行	2016年3月3日	2021年12月14日	7.5%	10,000,000	10,000,000
				<u>65,000,000</u>	<u>129,960,388</u>

当行は、モンゴル銀行(「BOMJ」)と買戻し契約を締結しました。これは、当行が買戻し契約に基づきDBM有価証券を総額65,000,000千MNTで売却した契約です。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

18 借入金

	2018 千MNT	2017 千MNT
Kreditanstalt fuer Wiederaufbau	4,206,674	4,165,879
World Bank	341,807	594,945
アジア開発銀行	21,110,953	15,359,262
International Development Association	1,151,618	1,115,842
中国輸出入銀行	3,238,170	3,890,984
国際協力機構 (JICA)	25,183,563	27,131,236
Atlantic Forfaitierungs AG	12,950,631	16,807,091
中小企業基金 産業省	1,672,250	3,307,611
Commerzbank AG	51,180,191	55,695,530
Industrial and Commercial Bank of China	4,947,546	-
ING Bank	2,989,381	-
包商銀行	115,001,341	2,687,071
Sumitomo Mitsui Banking Corporation	19,597,813	70,395,831
Netherlands Development Finance Company	-	4,085,217
Development Bank of Mongolia	178,241,208	261,291,378
住宅ローンプログラム BOM, MOF TDB	107,099,892	163,720,745
Syndicated Facility	-	28,173,139
Cargill TSF Asia Pte. Ltd	78,286,684	58,814,851
Cargill Financial Services International, INC	-	127,424,325
China Trade Solutions	1,594,846	1,510,436
Erste Group Bank	15,857,520	1,440,677
Banca Popolare di Sondrio	-	27,613,115
Banco Popular Espanol	-	16,572,301
OPEC Fund for International Development	-	60,405,858
Japan Bank of International Cooperation	14,018,110	20,325,499
中国農業銀行	3,481,985	5,224,622
Mongolian Mortgage Corporation HFC LLC	4,162,660	4,235,559
Chailease International Financial Services	-	48,205,091
中国開発銀行	52,665,710	1,751,112
内モンゴル銀行	30,269,336	12,135,650
Promsvyazbank	-	15,776,345
Transkapitalbank	22,630,373	8,252,242
International Bank for Economic Co-operation	26,304,190	-
VTB bank Russia	177,255,552	-
Crowdcredit Estonia OÜ	385,977	-
	975,825,981	1,068,669,444

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

18 借入金 (続き)

Kreditanstalt fuer Wiederaufbau ("KfW")

(a) 1997年、銀行はモンゴル銀行を通じてKfWと資金調達契約を締結しました。これにより、銀行はBOMを介してKfWから最大4,345,981EURをEURおよびMNTで、主にさまざまな小規模および 渡過金利の中規模企業のお客様。2017年および2018年12月31日の未払いKfWローンは、それぞれ107,144EUR (324,502千MNT) および408,572EUR (1,183,988千MNT) でした。ローンは、年間1.25%の固定金利で利息を負担します。元本返済は半年ごとであり、このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間に応じて異なります。

(b) 上記の (a) で説明した融資契約に基づき、2017年および2018年12月31日のMNTローン残高は、それぞれ3,882,172千MNTおよび2,981,891千MNTになりました。ローンは年間5%の固定金利で利息を負担し、このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。

World Bank

(a) 2006年、銀行は世界銀行とTDB補助ローン契約を締結しました。これにより、銀行は、サブローンの提供を通じて第2民間セクター開発プロジェクトに融資するために、財務省を通じて世界銀行から最大4百万

USDを借りることができます。このローンは、6か月間のロンドン銀行間貸出レート (LIBOR) USDレートに年率1%のマージンを加えた利子を負担します。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。2017年12月31日時点で、未払いの世界銀行USDローンは36,000USD (87,377千MNT) でした。ローンは全額返済されており、貸出残高は2018年12月31日ではありません。

(b) 上記 (a) で説明したTDB子会社ローン契約に基づき、銀行は、特定の投資プロジェクトの資金を調達するために、財務省を介して世界銀行から特別引出権 (SDR) 6,250,000までのさまざまな通貨でサブローンの見直し金額を借りることができます。2017年および2018年12月31日の世界銀行MNTローン残高はそれぞれ12,000千MNTおよび156,000千MNTでした。ローンは、過去12か月間にBOMが発行したMNT要求預金の平均金利に等しい金利で利息を負担します。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。

(c) 2006年、銀行は、職員研修を含む制度開発プログラムの銀行の実施に資金を提供する目的で、財務省を通じて世界銀行トレーニング支援プログラムローンに基づき、世界銀行から30万USDのUSDローンを取得しました。信用分析、リスク評価、およびリスクベースの内部監査の分野。このプログラムに基づく世界銀行の融資残高は、2017年および2018年12月31日の時点で、それぞれ124,789USD (329,807千MNT) および144,849USD (351,568千MNT) でした。ローンは年間2%の固定金利で利子を負担します。ローンは、2025年5月の最終返済まで半年ごとに返済されます。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

18 借入金(続き)

アジア開発銀行("ADB")

- (a) 1999年、銀行はADBからBOMを介して134,164USDのUSD融資を受け、銀行の会計情報システムをアップグレードしました。2017年および2018年12月31日の貸付残高はそれぞれ58,138USD(153,653千MNT)および62,610USD(151,962千MNT)でした。ローンは2031年に満期を迎え、年率1%の固定金利で利息を負担し、2002年に開始された30回の年次分割払いで返済されます。
- (b) 2011年、ADBはADBと金融契約を締結しました。ADBは、ADBから財務省を介して最大11,000,000USDを借りて、商品、工事、コンサルティングサービスのコストを降ろす必要がある顧客にのみ融資を提供できます。農業および農村地域の開発に関連するバリューチェーン開発("VCD")サブプロジェクトの実行に必要。サブローンは2018年6月に満期となり、年間最大12%の固定金利で利息を負担します。銀行はMNTで借りることもできます。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。2017年12月31日の未払いのMNTローンは250,000千MNTでした。ローンは全額返済されており、2018年12月31日には貸出残高はありませんでした。
- (c) 2016年、銀行と財務省("MOF")の間で追加の融資に関する貸付契約が締結されました。この合意の下で、ADBは、農業および農村開発プロジェクトの資金調達のために、財務省を通じてADBから最大41,187,500USDを借りることができます。サブローンは2024年1月に満期を迎え、年率4.5%、3.5%の固定金利で利息を負担します。2018年12月31日と2017年には、未払いのMNTローンはそれぞれ20,957,300千MNTと14,957,300千MNTになりました。
- (d) 2018年12月31日のように、銀行はADBにNPL比率の要件を指定した財務制限条項に違反しました。このような財務制限条項の違反により、ADBはプログラムの下で追加資金を取得するTDBの権利を一時的に停止する場合があります。当行は、そのような違反が当行の財務諸表に重要な影響を及ぼさないと考えています。

International Development Association("IDA")

1998年、銀行はIDAから60万USDのUSDローンを取得し、Norwegian BANKING Resources Ltd.("NBR")との提携契約に資金を提供しました。2017年および2018年12月31日のIDA融資残高は、それぞれ435,737USD(1,151,618千MNT)および459,737USD(1,115,842千MNT)でした。ローンは年間1%の固定金利で利息を負担します。元本返済は2007年8月に開始され、最終返済は2037年1月に行われました。

中国輸出入銀行("TEXIM")

2004年に、当行はTEXIMとの再貸与施設を締結し、台湾で生産された機械およびその他の製品を購入する顧客に融資するために、当行は最大5,000,000USDを借り入れることができました。2018年12月31日と2017年12月31日の契約中の貸出残高は、それぞれ1,225,224USD(3,238,170千MNT)と1,603,121USD(3,890,984千MNT)です。ローンは、6か月のLIBOR USDレートを加えて、年額1.25%のマージンで利息を負担します。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

18 借入金(続き)

国際協力機構("JICA")

- (a) 2006年、銀行はJICAと融資融資契約を締結しました。これにより、銀行は、大蔵省を介して、JICAから2,981,000,000円相当のUSDまたはMNTの融資を借りることができます。および中規模企業("SME")の開発と環境保護。2018年12月31日および2017年の未払いのUSDローンは、それぞれ23,500USD(62,109千MNT)および53,500USD(129,852千MNT)でした。ローンは、6か月のLIBOR USDレートと年率1%のマージンで利息を負担します。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。
- (b) 上記の(a)で説明したローン融資契約の下では、未払いのMNTローンは2017年および2018年12月31日でそれぞれ935,003千MNTおよび1,352,876千MNTになりました。MNTローンは、過去12か月間にBOMが発行したMNT要求払預金の平均金利に等しい金利で利息を負担します。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。
- (c) 2011年、銀行は、JICAとその他の融資融資契約を締結しました。これにより、銀行は、財務省を介して、JICAから50億円相当のUSDまたはMNTの融資を借りることができます。中小企業開発および環境保護の目的の開発。2018年12月31日時点での融資残高は606,900USD(1,603,988千MNT)および22,582,463千USD、2017年12月31日時点で873,000USD(2,118,885千MNT)および23,529,623千USDです。ローンは、過去12か月間にBOMが発行したMNT要求払預金の平均金利に等しい金利で利息を負担します。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。

Atlantic Forfaitierungs AG("AF")

2009年、銀行は、プランテーション支援基金に参加している顧客に貸し出す目的で、AFとファンリティ契約を締結しました。2018年12月31日の残高は3,161,289USD(8,355,033千MNT)、1,517,375EUR(4,595,598千MNT)、2017年12月31日は6,924,677USD(16,807,091千MNT)でした。この特定のローンの金利は、AFによって決定される各ドローダウンによって異なります。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。

モンゴル貿易開発銀行  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**18 借入金(続き)**

**SME Fund, Ministry of Food, Agriculture and Light Industry**

(a) 2009年、銀行は、中小企業の発展を目的として、食品農業省と信用供与ローン契約を締結しました。食品、農業、軽工業省は、この施設のために30,000,000千MNTを予算化しました。これは、個々の銀行に割り当てられた特定の金額なしで、すべてのモンゴル商業銀行で利用可能です。2010年と2011年に、当行はこのファシリティ契約を更新し、総予算はそれぞれ60,000,000千MNTと150,000,000千MNTに増加しました。2016年2月、銀行は、中小企業の発展を支援し、職場を増やす目的で、食品農業・軽工業省とのこの施設契約を更新しました。ローンは、年間1.2%の固定金利で利子を負担し、引き取り日によって返済日が異なります。2017年および2018年12月31日の残高はそれぞれ622,735千MNTおよび1,071,608千MNTでした。

(b) 2014年8月、銀行は、輸出促進および輸入代替プログラム(888プロジェクト)における中小企業開発を目的として、食品、農業、軽工業省と融資契約を締結しました。金額が2,000,000千MNT未満のプロジェクトは、産業省の中小企業基金によって実施され、モンゴル開発銀行によって資金提供されました。2018年12月31日および2017年の貸出残高は、それぞれ1,049,516千MNTおよび2,236,003千MNTでした。ローンは年率3.0%の固定金利で利子を負担します。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。

**Commerzbank AG**

2011年に、銀行は、顧客に輸出入取引の資金調達を依頼する目的で、Commerzbank AGと非コミットの二国間貿易金融ファシリティマスター契約を締結しました。各ドローダウンの金額と通貨、適用される金利、支払日、返済日、および各ドローダウンの特定のその他の条件は、ケースバイケースで銀行と顧客によって合意されるものとします。このファシリティ契約に基づき、当行は2018年12月31日現在で13,980,529USD(36,949,420千MNT)および4,698,718EUR(14,230,771千MNT)、および2017年12月31日現在で16,241,605USD(39,420,487千MNT)および5,616,209EUR(16,275,043千MNT)です。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。

**Industrial and Commercial Bank of China**

2014年に、銀行は信用状の再確認または確認のためにICBCとの貿易金融ラインを取得しました。各ドローダウンの金額と通貨、適用される金利、支払日、返済日、および各ドローダウンの特定のその他の条件は、ケースバイケースで銀行と顧客によって合意されるものとします。2018年12月31日の融資残高は1,872,000USD(4,947,546千MNT)でした。

モンゴル貿易開発銀行  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**18 借入金(続き)**

**ING Bank**

2011年、当行はINGとの貿易金融ラインを、信用状の再確認または確認のために取得しました。各ドローダウンの金額と通貨、適用される金利、支払日、返済日、および各ドローダウンの特定のその他の条件は、ケースバイケースで銀行と顧客によって合意されるものとします。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。この貿易金融施設の下で、銀行は2018年12月31日時点で1,131,090USD(MNT 2,989,381千USD)の貸出残高を保有しています。

**包商銀行**

(a) 2017年5月に、当行は包商銀行と借換え施設契約を締結し、その中で包商銀行の融資はその他の借り手に拡大された。この施設の下での貸出金は、2018年12月31日時点で6,144,064USD(16,238,271千MNT)および7,000,000CNY(2,700,110千MNT)、2017年12月31日時点で938,694USD(2,278,333千MNT)および1,100,000CNY(408,738千MNT)でした。

(b) 2018年4月、当行は、包商銀行および徽商銀行と銀行間シンジケートローン契約を締結しました。2018年12月31日のこのファシリティに基づく貸出残高は、249,041,970CNY(96,062,959千MNT)でした。

**Sumitomo Mitsui Banking Corporation ("SMBC")**

2012年3月、銀行はSMBCと借換え信用状ファシリティ契約を締結しました。この契約に基づき、銀行は顧客への再融資のために最大45,000,000USDを借りることができます。施設の満期日および利息は、各前払いの期間に応じて異なり、最大12か月および18か月です。2018年12月31日時点での融資残高は1,716,214USD(4,535,816千MNT)、629,156,100円(15,061,997千MNT)、2017年12月31日時点では24,747,422USD(60,065,211千MNT)および507,692,500円(10,930,620千MNT)です。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。

**Netherlands Development Finance Company("FMO")**

2012年6月、銀行はFMOとシニアタームファシリティ契約を締結しました。これにより、銀行は最大10,000,000USDを借りることができ、中小企業向けの貸し出し目的で使用されます。2017年12月31日の融資残高は1,666,667USD(4,045,217千MNT)でした。ローンは完全に返済されており、2018年12月31日には貸出残高はありませんでした。

**China Trade Solutions**

当行は、中国貿易ソリューションと短期貿易金融施設契約を締結しました。各ドローダウンの金額と通貨、適用される金利、支払日、返済日、および各ドローダウンの特定のその他の条件は、ケースバイケースで銀行と顧客によって合意されるものとします。2017年および2018年12月31日の貸付残高は、それぞれ603,441USD(1,594,846千MNT)および622,313(1,510,436千MNT)です。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

18 借入金(続き)

モンゴル開発銀行

- (a) 2014年7月、銀行は皮革原料の購入と商品の製造を支援する目的で、モンゴル開発銀行と信用供与ローン契約を締結しました。この信用機関は、ドローダウンの日付に応じて返済日が変動し、年率5.0%の固定金利で利息を負担します。このプログラムでは、2014年と2015年に9人のサブローンが正常に融資されました。この信用枠の下に未払いの融資金は、2017年および2018年12月31日でそれぞれ1,017,282千MNTおよび1,969,241千MNTに達しました。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。
- (b) 2014年7月、銀行はモンゴル開発銀行との間で、輸出促進および輸入代替プログラム(888プロジェクト)内のより大きなプロジェクト支援を目的とした融資契約を締結しました。2,000,000千MNTを超えるプロジェクトは、モンゴル開発銀行によって実装および資金提供されました。2017年および2018年12月31日の残高は、それぞれ37,754,800千MNTおよび50,505,40万MNTでした。ローンは年率5.0%の固定金利で利息を負担します。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。
- (c) 2015年6月、銀行は輸出促進、輸入代替、雇用創出目的で、モンゴル開発銀行と産業者の中小企業基金との間で3者間信用供与契約を締結しました。このプログラムは、産業者の中小企業基金によって実施され、モンゴル開発銀行によって資金提供されました。この信用枠契約は、2019年3月5日に期限が切れ、ドローダウン日によって返済日が異なり、年率6.0%の固定金利で利息を負担します。2017年および2018年12月31日の残高は、それぞれ1,748,148千MNTおよび8,174,713千MNTでした。
- (d) 2015年9月、銀行は工業化支援の目標内で輸出促進、輸入代替目的で、モンゴル開発銀行と新しい信用供与契約を締結しました。2017年9月に、クレジットファンリティ契約が修正され、MNTでの借入に加えて、このクレジットファンリティで銀行がUSDで借入れるようになりました。モンゴル開発銀行は、このファンリティの予算を3,000億MNTとしました。この信用枠は、ドローダウン日に応じて返済日が変動し、年率6.0%およびUSD8.65%の固定金利で利息を負担します。2018年12月31日時点で、この信用枠の下にある貸出残高は、8,797,000千MNTおよび727,974USD(1,923,978千MNT)、2017年12月31日では、それぞれ10,386,000千MNTおよび776,528 USD(1,884,733千MNT)です。
- (e) 2015年9月と12月、銀行はASEM(アジア欧州会議)ヴィラプロジェクトおよびホテル、ASEM向けの建物への融資を目的として、モンゴル開発銀行と新たな信用供与契約を締結しました。モンゴル開発銀行は、上記の施設のために275,000,000千MNTを予算化しました。ローンは、ドローダウン日に応じて返済日が異なる、年間4.5%の固定金利で利息を負担します。2017年および2018年12月31日の時点で、これらの信用枠の下にある貸出残高はそれぞれ1,125,000,000千MNTおよび176,197,541 MNTでした。
- (f) 2016年4月、銀行は「肉」プログラムの資金調達を目的として、モンゴル開発銀行と新しい信用供与契約に署名しました。モンゴル開発銀行は、上記の施設のために250億MNTを予算化しました。ローンは、年率9.5%の固定金利で利息を負担し、ドローダウン日によって返済日が異なります。2017年12月31日の時点で、この信用機関の下にある貸出残高は11,046,400千MNTに達しました。ローンは完全に返済されており、2018年12月31日には貸出残高はありませんでした。

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

18 借入金(続き)

モンゴル開発銀行(続き)

- (g) 2016年4月、銀行は、「農業生産の安定化」プログラムの資金調達を目的として、モンゴル開発銀行と新しい信用供与契約を締結しました。モンゴル開発銀行は、上記の施設のために250億MNTを予算化しました。ローンは、年間9.0%の固定金利で利息を負担し、ドローダウン日によって返済日が異なります。2017年12月31日の時点で、この信用機関の未払いの資金金は1,127,350千MNTでした。ローンは完全に返済されており、2018年12月31日には貸出残高はありませんでした。
- (h) 2018年6月、銀行は、カシミヤの製造業者と加工業者を支援する目的で、モンゴル開発銀行と新しい信用供与契約を締結しました。モンゴル開発銀行は、上記の施設のために1500億MNTを予算化しました。ローンは、ドローダウンの日付に応じて返済日が異なる、年間10.0%の固定金利で利息を負担します。2018年12月31日の時点で、この信用枠の下にある未払いの資金金は2,000,000千MNTに達しました。

住宅ローンプログラム BOM, MOF

2013年、銀行はモンゴル銀行との間で「モンゴル銀行からの住宅ローン融資」というタイトルの信用供与ローン契約を締結しました。意図された目的は、中産階級の貯蓄を増やすことにより、中産階級を支援し、長期的な持続可能な経済成長を支援することです。2017年6月から財務省も資金調達を開始しました。2018年12月31日時点で未払いのモンゴル銀行融資は77,638,432千MNT、財務省融資は29,461,460千MNT、2017年12月31日時点では138,273,907千MNT、財務省融資は25,446,838千MNTです。ローンは、ドローダウンの日付に応じて返済日が変わることで、それぞれ年率2.0%と4.0%の固定金利で利息を負担します。

Erste Group Bank

銀行は、2015年2月にErste Group Bankと合計500万EURで「マスターフォーファイティング契約」を締結しました。このファンリティ契約に基づき、当行は2017年および2018年12月31日それぞれ6,000,000USD(15,857,520千MNT)およびEUR 497,150(1,440,677千MNT)の貸出残高を保有しています。この特定のローンの利子は、Erste Group Bankによって決定される各ドローダウンによって異なります。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。

中国農業銀行

2011年、銀行は輸入金融協定を締結しました。これにより、銀行は輸入財に対する顧客の資金調達が可能になります。2018年、銀行は中国農業銀行と輸入金融協定を延長しました。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。2018年12月31日現在の貸付残高は9,027,000CNY(3,481,985千MNT)でした。

Japan Bank of International Cooperation ("JBIC")

2013年、銀行は日本の輸出業者が生産する設備、機械、商品、サービスの資金調達を目的として、JBICとモンゴル政府との間で2013年に締結した輸出信用枠契約に基づいて、財務省と貸付契約を締結しました。銀行は、合計融資額8,000,000千円までの円およびUSDの融資を取得できます。2017年および2018年12月31日の貸付残高は、それぞれ585,551,795円(14,018,110千MNT)および944,054,778円(20,325,499千MNT)です。ローンは2020年7月に満期を迎え、3.13%の利率で基本金利を負担します。

モンゴル貿易開発銀行  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**18 借入金(継続)**

**OPEC Fund for International Development ("OFID")**

2015年8月、銀行はOFIDと貿易金融タームローン契約を締結しました。この融資に基づき、当行は25,000,000USDを借り入れ、現地企業および中小企業の外国貿易金融要件を満たすために使用します。2017年12月31日の融資残高は24,887,772USD (MNT 60,405,858千)でした。ローンは全額返済されており、2018年12月31日時点で貸出残高はありませんでした。

**TDB Syndicated Facility**

2013年9月、当行は、オランダ開発金融会社(「FMO」)とA / Bシンジケート期間ファシリティア契約を締結しました。FMOが手配し、国際投資銀行が参加した35,000,000USDの開発トランシェ(「A」ローン)およびING銀行NVおよびTDBキャピタルが手配した47,000,000USDの商業トランシェ(「B」ローン)から成る、82,000,000USDのシンジケート期間ファシリティアLLC。「B」ローンへの参加は、Ausfuhrkredit、三菱東京UFJ銀行、VTBモスクワ、Commerzbank、Atlantic Forfaitierungs、MG Leasing CorporationおよびChailase Groupから受けました。ファシリティアの収益は、顧客への貸し出しを含むTDBの一般的な資金調達要件に充てられます。各ローンの利率は、1年あたりの利率であり、これは該当するマージンとLIBORの合計です。2017年12月31日の貸付残高は、11,607,594USD (28,173,139千MNT)でした。元本は施設契約に従って支払われ、利息は2018年9月に実行される最終返済まで半年ごとに返済されました。ローンは完全に返済され、2018年12月31日には貸出残高はありませんでした。

**Banca Popolare Di Sondrio**

2015年10月以来、イタリアのBanca Popolare Di Sondrioは、イタリアおよびイタリア以外の取引について輸入後資金を提供しています。各ドローダウンの金額と通貨、適用される金利、支払日、返済日、および各ドローダウンの特定のその他の条件は、ケースバイケースで銀行と顧客によって合意されるものとします。銀行は、2017年12月31日時点で6,957,724USD (16,887,301千MNT)および3,701,275EUR (10,725,814千MNT)の貸出残高を保有しています。ローンは完全に返済されており、2018年12月31日には貸出残高はありませんでした。

**Banco Popular Espanol**

スペインのBanco Popular Espanolは、2015年9月からケースごとに銀行と顧客が合意し受益者に関連する貿易関連取引に協力してきました。銀行は2017年12月31日時点で10,188EUR (29,523千MNT)および6,815,777USD (16,542,778千MNT)の貸出残高を保有しています。ローンは完全に返済されており、2018年12月31日には貸出残高はありませんでした。

**Cargill TSF Asia Pte.Ltd**

2014年5月以降、当行は2017年および2018年12月31日に、それぞれ29,621,284USD (78,286,684千MNT)および24,232,262USD (58,814,851千MNT)の貿易関連の融資契約を締結しました。この特定のローンの利子は、Cargill TSF Asia Pte.Ltdによって決定される各ドローダウンによって異なります。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。

モンゴル貿易開発銀行  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**18 借入金(継続)**

**Cargill Financial Services International, Inc**

2014年12月、2015年5月、2015年11月、銀行は貿易関連ローン契約を締結しました。この契約では、2年の期間で、合計額25,000,000USD、880万USD、51,500,000USDの物品輸入資金を調達します。この特定のローンの利子は、カーギルファイナンシャルサービスインターナショナルによって決定される各ドローダウンによって異なります。貸出残高は2017年12月31日時点で52,500,000USD (MNT 127,424,325千)に達しました。ローンは完全に返済されており、2018年12月31日には貸出残高はありませんでした。

**Mongolian Mortgage Corporation HFC LLC**

2017年および2018年8月、当行は、簿価5,370,059千MNTおよび309,670千MNTの住宅ローンのプールをMIKに譲渡しました。ローンは、適とベースでMIKに譲渡され、重要リスクと報酬がモンゴル住宅ローン公社HFC LLCに譲渡されなかったため、金融資産の認識中止基準の対象にはなりません。したがって、当行は、これらの取引を2017年および2018年12月31日時点でそれぞれ4,162,660千MNTおよび5,224,622千MNTの担保融資として会計処理した。

**Chailase International Financial Services**

2016年1月、銀行はChailase International Financial Servicesと2,500,000USDの二国間融資契約を締結しました。2017年12月31日の融資残高は1,745,090USD (4,235,559千MNT)でした。施設は、2018年に5%、12.5%、12.5%、70%の4回に分けて全額返済されました。

**中国開発銀行**

2016年7月、当行は中国開発銀行と20,000,000USDの期間の施設契約を締結しました。これは地元企業の支援に使用されます。ローンには3年間の期間があり、施設の利息は2020年1月に施設の満期日に支払われる最終返済まで半年ごとに返済されます。2017年および2018年12月31日の貸付残高は、それぞれ19,927,092USD (52,665,710千MNT)および19,860,943USD (48,205,091千MNT)でした。

**内モンゴル銀行**

2016年11月、銀行は内モンゴル銀行と貿易金融施設契約を締結しました。各ドローダウンの金額と通貨、適用される金利、支払日、返済日、および各ドローダウンの特定のその他の条件は、ケースバイケースで銀行と顧客によって合意されるものとします。2018年2月、銀行は内モンゴル銀行とのこの貿易金融施設契約を更新しました。2018年12月31日時点の貸付残高は76,341,971CNY (29,447,388千MNT)、311,000USD (821,948千MNT)、2017年12月31日時点で1,786,890CNY (663,973千MNT)、447,911USD (1,087,139千MNT)。

**Promsvyazbank**

Promsvyazbankは、ロシア連邦とモンゴル間の輸出入取引をサポートする目的で、2017年に貿易金融制限を承認しました。2017年9月、銀行はロシアで石油製品を購入するモンゴル企業に融資するために、1年間の期間で5,000,000USDの信用を取得しました。2017年12月31日の融資残高は5,000,000USD (MNT 12,135,650千)でした。ローンは完全に返済され、2018年12月31日時点で貸出残高はありませんでした。

モンゴル貿易開発銀行  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**18 借入金(継続)**

**Transkapitalbank**

2017年、当行は顧客に輸出入取引の資金調達を目的とするため、Transkapitalbankとマスター契約を締結しました。この特定のローンの金利は、Transkapitalbankによって決定される各ドローダウンによって異なります。このローンの返済日は、さまざまな借り手に付与されたローンの期間によって異なります。上記の契約に基づく借入残高は、2017年および2018年12月31日の時点で、それぞれ8,562,640USD (22,630,373千MNT) および6,500,000USD (15,776,345千MNT)です。

**International Bank for Economic Co-operation**

2017年、銀行は、銀行の顧客の対外経済取引銀行による資金調達を目的として、国際経済協力銀行とマスターファイナンス契約を締結しました。ローンは年率5.5%の固定金利で利子を負担し、満期は2018年12月です。2017年および2018年12月31日時点で貸出残高はそれぞれ9,952,700USD (26,304,190千MNT) および3,400,000USD (8,252,242千MNT)でした。

**VTB Bank Russia**

2017年、当行はVTIA銀行とEXIAR (REC Group) が7,000万USDの信用供与契約を締結しました。このファシリティは、燃料と石油製品の需要の増加に伴い、モンゴルでの石油製品の輸入と消費の資金調達を目的としています。2018年12月31日の貸出残高は67,068,073USD (177,255,552千MNT)でした。

**Crowd Credit Estonia OU**

2018年11月、銀行は、モンゴルにおける中小企業向け融資の資金調達を目的としてCrowdcredit Inc.とマスターファシリティ契約を締結しました。2018年12月31日の貸出残高は385,978千MNTに達しました。ローンは2020年6月に満期となり、12%の利率で基本金利を負担します。

モンゴル貿易開発銀行  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**19 発行済債券**

	2018 千MNT	2017 千MNT
発行済債券、償却後のコストで	1,461,246,758	1,344,633,676

2015年5月19日に、当行は2020年5月19日に支払われる5億USDの保証ノート(モンゴル政府により無条件および取消不能保証)を発行しました。これらの債券は、半年ごとに支払われる年間9.375%の利子を負担します。

2016年6月28日、銀行は2021年6月28日に支払われる1,600億MNTのノートを、モンゴル銀行による不良資産借り換えプログラム(「TARP」)に基づき100%の価格で発行しました。

2018年および2017年に、それぞれの負債証券は、実効金利法を使用して、それぞれ11,290,293千MNTおよび9,493,265千MNT増加しました。

また、当行は、モンゴルと関連国との間の相対的な二重租税条約に従って、特定の投資家に支払われた支払利息に加えて、源泉徴収税を負担する義務を負っています。

**20 その他の負債**

	2018 千MNT	2017 千MNT
未払利息	101,544,963	92,667,854
決済の遅延	19,138,808	16,051,052
取引のデリバティブ負債	1,515,973	6,750
未払いファイナンスリース	1,441,315	2,591,014
国内為替債務	6,229,201	11,197,320
その他	18,291,961	19,453,657
	<u>148,162,221</u>	<u>141,967,647</u>

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

21 株式資本と資本剰余金

	普通株式数		株式資本 千MNT		資本剰余金 千MNT	
	2018	2017	2018	2017	2018	2017
1月1日	3,305,056	3,305,056	50,000,011	50,000,011	19,272,456	19,272,456
年内に発行	344,094	-	5,205,571	-	191,120,702	-
12月31日	3,649,150	3,305,056	55,205,582	50,000,011	210,393,158	19,272,456

2018年12月31日および2017年12月31日現在、4,000,000株の承認済み株式のうち、発行済みおよび流通株式は、それぞれ3,649,150株および3,305,506株です。2018年、銀行は1株当たり570,560MNTで344,094株を追加して増資しました。2018年12月31日および2017年12月31日現在、すべての発行済み株式は完全に支払われており、額面価格は15,128MNTです。

22 黒種その他の包括利益

	2018 千MNT			
	売却可能 金融資産の 公正価値の 純変動	キャッシュフ ローヘッジの評 価の純変動	再評価 準備金	合計
期首残高	13,721,669	72,371,681	130,014,323	216,107,673
公正価値の変動	(3,053,015)	-	6,908,435	3,855,420
キャッシュフローヘッジの評 価における未実現純利益	-	(42,973,435)	-	(42,973,435)
処分および償却による変更	-	69,465	(7,690,863)	(7,621,398)
期末残高	10,738,119	29,398,246	129,231,895	169,368,260

	2017 千MNT			
	売却可能金融資産 の公正価値の純変動	キャッシュフ ローヘッジの評 価の純変動	再評価 準備金	合計
期首残高	30,219,254	14,905,402	126,992,124	172,116,780
公正価値の変動	4,180,431	-	4,419,681	8,600,112
キャッシュフローヘッジ の評価における未実 現純利益	-	57,466,279	-	57,466,279
処分および償却による 変更	(20,678,016)	-	-	(20,678,016)
連結範囲の変更	-	-	(1,397,482)	(1,397,482)
期末残高	13,721,669	72,371,681	130,014,323	216,107,673

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

23 金利収入

	2018 千MNT	2017 千MNT
貸付金	396,982,265	365,018,080
有価証券	250,608,095	230,974,639
銀行およびその他の金融機関への 預金および記置	16,518,081	16,618,825
再販契約の下で購入された請求書 劣後ローン	401,278	33,343
	-	237,333
	664,509,719	612,882,220

24 支払利息

	2018 千MNT	2017 千MNT
預金	246,701,231	193,364,035
借入金	75,935,944	86,085,993
買戻し条件付き売却手形	8,558,099	9,786,092
発行済債券	145,100,424	143,782,741
発行された劣後債	-	1,102,970
	475,765,337	434,121,831

25 純手数料および手数料収入

	2018 千MNT	2017 千MNT
<b>手数料収入</b>		
電信送金	8,641,031	7,309,924
カードサービス	21,506,676	18,175,047
ローン関連サービス	15,925,893	17,565,787
その他	5,201,891	4,088,163
手数料合計	51,289,491	47,138,921
<b>手数料およびコミッション費用</b>		
カードサービス費用	9,688,829	7,846,858
その他	3,076,633	2,252,107
手数料およびコミッション費用合計	12,765,462	10,098,965
<b>純手数料および手数料収入</b>	<u>38,524,029</u>	<u>37,039,956</u>

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

26 その他の営業利益(費用)純額

	2018 千MNT	2017 千MNT
外国為替利得純額	15,786,155	15,437,750
貴金属取引利得(損失)純額	(1,438,691)	273,581
有価証券の処分による利益(損失)	(3,154,611)	14,168,548
子会社への投資の売却損 関連会社および合弁会社への投資の処分に関する利得	(10,759,812)	-
	(9,884,133)	8,556,355
有形固定資産(純額)の処分による利益	54,545	4,868
投資不動産の処分損失	(1,463,675)	3,027,463
受取配当金	44,661	49,705
その他	765,183	6,455,953
	(8,929,419)	47,974,223

モンゴル貿易開発銀行  
決算書に対する注記  
2017年および2018年12月31日

27 営業経費

	2018 千MNT	2017 千MNT
人件費	38,816,800	35,705,209
有形固定資産の減価償却(注記9)	8,169,202	8,124,483
無形資産の償却(注記10)	1,457,852	1,480,796
広告と広報	8,268,969	8,504,537
レンタル費用	5,043,253	4,635,169
専門家費用	3,225,927	6,762,240
技術支援と外国銀行送金手数料	1,900,673	1,545,020
有形固定資産の償却	41,279	140,534
保険	8,538,285	7,035,315
出張費	1,558,855	1,406,406
現金取り扱い	656,322	521,433
筆記具および消耗品	1,773,929	1,440,236
通信費	1,479,524	1,359,876
研修費	216,447	99,916
ユーティリティ費	846,167	824,774
修理・メンテナンス	1,485,390	1,158,944
セキュリティ費	258,266	152,168
食費・娯楽費	1,143,964	762,026
交通費	488,953	374,389
ITメンテナンス費	3,271,608	3,378,004
その他(*)	3,137,887	4,518,606
	91,779,552	89,930,081

(\*)その他には、貸付金の回収、清掃、その他の雑費にかかる費用が含まれます。

28 減損損失引当金

	2018 千MNT	2017 千MNT
ローンの減損損失保証金	129,204,862	114,365,825
その他の資産および差し押さえ不動産の 減損損失保証金	(115,822)	1,196,200
	129,089,040	115,562,031

モンゴル貿易開発銀行  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**29 リース**

当行は、さまざまなリース契約に基づいて支店の一部をリースしています。銀行が2017年および2018年12月31日で1年以上の解約不能オペレーティングリース契約に基づいて支払う最低リース契約は以下のとおりです。

	2018 千MNT	2017 千MNT
1年以内	3,351,622	4,304,763
1-5年	2,790,510	5,555,693
	<u>6,142,132</u>	<u>9,860,456</u>

**30 法人所得税**

**包括利益計算書で認識:**

	2018 千MNT	2017 千MNT
法人所得税-現在の年	322,324	381,360

**実効税率の調整:**

	2018 千MNT	2017 千MNT
税引前利益	12,962,054	74,141,306
法定所得税率での税(*1)	2,790,513	18,085,327
非控除費用の税効果	14,630,756	2,860,828
非課税所得の税効果	(17,402,094)	(20,928,695)
特別税率に対する課税所得の税効果(*2)	<u>303,149</u>	<u>363,900</u>
	<u>322,324</u>	<u>381,360</u>

(\*1)モンゴルの税法に従い、当行は、30億MNTまでの課税所得の10%および30億MNTを超える課税所得の25%の割合で政府所得税を支払う必要があります。

(\*2)モンゴル税法によると、銀行は特定の種類の課税所得に対して特別税を支払う必要があります。

**31 配当金**

2018年度および2017年度に宣言された配当はありませんでした。

モンゴル貿易開発銀行  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**32 現金および現金同等物**

2018年12月31日、BOMでは、MNTの平均顧客預金の最低10.5%、および外国通貨の平均顧客預金の12%をBOMで2週間維持する必要があります。2017年12月、BOMでは、2週間の平均顧客預金の最低12%をBOMで維持する必要があります。毎日の要件に関連して、銀行はまた、毎日の終わりに必要な準備金の50%以上を維持する必要があります。2017年および2018年12月31日の場合、必要な引当金はそれぞれ410,810,982千MNTおよび368,398,156千MNTでした。

	2018 千MNT	2017 千MNT
現金および預金 (注記4)	1,294,793,495	1,073,933,382
使用が制限されているBOM残高	(410,810,982)	(368,398,156)
現金および現金同等物	<u>883,982,513</u>	<u>705,535,226</u>

重要な非現金活動2018年度および2017年度の詳細は以下のとおりです。

	2018 千MNT	2017 千MNT
販売可能金融資産の評価損	(2,984,025)	(16,497,110)
資産および設備の再評価	(782,428)	4,419,681
キャッシュフローヘッジの評価利得(損失)	(42,973,435)	57,466,279

モンゴル貿易開発銀行  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**33 セグメント報告**

セグメント情報は、当行の事業セグメントに関して提示されています。主要なフォーマットである事業セグメントは、当行の管理および内部報告構造に基づいています。

事業セグメントは、資本と資金調達コストの配分を反映するために、独立企業間ベースで財務部門に支払い、財務部門から利息を受け取ります。

セグメント資本的支出は、のれん以外の有形固定資産および無形資産を取得するために期間中に発生した合計コストです。

**事業セグメント**

銀行は、次の主要な事業セグメントで構成されています。

- ・ **コーポレートバンキング**      ローン、預金およびその他の取引、法人顧客との残高が含まれます。銀行は顧客をコーポレートバンキングの顧客として分類し、融資額が3,000,000千MNTを超えるか、借り手の販売額が6,000,000千MNTを超えます。
- ・ **中小企業（「SME」）バンキング**      ローン、預金およびその他の取引、および中小企業の顧客との残高が含まれます。銀行は顧客をSMEバンキングの顧客として分類します。融資額は350,000千MNTから3,000,000千MNT、または借り手の販売額は1,500,000千MNTから6,000,000千MNTです。
- ・ **リテールバンキング**      ローン、預金およびその他の取引、小売顧客およびカード顧客との残高が含まれます。銀行は顧客をリテールバンキングの顧客として分類します。この場合、融資額は350,000千MNT未満で、借り手の販売額は1,500,000千MNT未満です。
- ・ **投資銀行  
国際銀行業務**      当行の取引、企業金融、外国金融機関からの借入、および国際資本市場での債券発行が含まれます。
- ・ **財務**      銀行金、債務証券の発行、リスク管理目的でのデリバティブの使用、短期募集や企業および政府債務証券などの資産への投資を通じて、銀行の資金調達と集中型リスクマネジメント活動を引き受けます。操作は、当行の資金管理活動です。
- ・ **その他**      銀行の敷地と特定の企業コストを管理する本社業務と中央共有サービス業務が含まれます。

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**33 セグメント報告(続き)**

(千MNT)

2018年1月1日～12月31日

	コーポレート バンキング	SME バンキング	リテール バンキング	投資銀行 国際銀行業務	財務	その他	合計
セグメント結果							
外部収益							
純受取利息(費用)	281,432,184	25,177,924	(125,473,783)	(190,000,361)	197,207,088	401,330	188,744,382
純手数料および手数料収入	8,757,553	135,237	28,666,783	72,554	247,061	644,841	38,524,029
その他 営業利益(損失)純額	426,334	-	7,678,057	-	(17,101,568)	67,758	(8,929,419)
セグメント間収益(費用)	(216,375,840)	(3,355,977)	220,615,595	197,654,987	(198,497,580)	(41,185)	-
合計セグメント収益(費用)	<u>74,240,231</u>	<u>21,957,184</u>	<u>131,486,652</u>	<u>7,727,180</u>	<u>(18,144,999)</u>	<u>1,072,744</u>	<u>218,338,992</u>
営業経費	(1,315,127)	-	(43,718,520)	(2,033,266)	(2,424,857)	(42,287,782)	(91,779,552)
関連会社および合弁会社の利益の分配	-	-	-	-	-	15,491,654	15,491,654
減損損失の取消し(引当)	(129,037,050)	925,059	(1,020,450)	-	(2,560)	45,961	(129,089,040)
税引前利益(損失)	<u>(56,111,946)</u>	<u>22,882,243</u>	<u>86,747,682</u>	<u>5,693,914</u>	<u>(20,572,416)</u>	<u>(25,677,423)</u>	<u>12,962,054</u>
法人所得税							(322,324)
当期純利益							<u>12,639,730</u>
非支配持分							-
セグメント資産	<u>2,476,615,148</u>	<u>196,788,114</u>	<u>730,434,863</u>	<u>-</u>	<u>3,291,641,368</u>	<u>588,310,189</u>	<u>7,283,789,682</u>
セグメント負債	<u>24,755,757</u>	<u>493,598</u>	<u>3,570,046,751</u>	<u>2,012,978,953</u>	<u>734,253,783</u>	<u>12,480,758</u>	<u>6,355,009,600</u>
減価償却費	(15,066)	-	(4,106,983)	(8,992)	(11,116)	(5,484,897)	(9,627,054)
資本支出	33,504	-	11,341,131	9,485	3,910	64,963,317	76,351,347

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**33 セグメント報告 (続き)**

(千MNT)

2017年1月1日～12月31日	コーポレート バンキング	SME バンキング	リテール バンキング	投資銀行 国際銀行業務	財務	その他	合計
セグメント結果							
外部収益							
純受取利息(費用)	278,262,879	15,552,882	(84,868,718)	(194,359,740)	163,978,029	195,057	178,760,389
純手数料および手数料収入	12,191,151	178,243	23,546,117	218,814	420,181	485,450	37,039,956
その他 営業利益(損失)純額	3,741,982	-	7,636,144	22,319	43,395,478	(6,821,700)	47,974,223
セグメント間収益(費用)	<u>(203,285,065)</u>	<u>(3,056,824)</u>	<u>155,244,277</u>	<u>202,315,302</u>	<u>(151,177,554)</u>	<u>(40,136)</u>	-
合計 セグメント収益(費用)	<u>90,910,947</u>	<u>12,674,301</u>	<u>101,557,820</u>	<u>8,196,695</u>	<u>56,616,134</u>	<u>(6,181,329)</u>	<u>263,774,568</u>
営業経費	(1,095,474)	-	(37,140,649)	(2,382,991)	(2,629,961)	(46,681,006)	(89,930,081)
関連会社および合併会社の利益の分配	-	-	-	-	-	15,858,850	15,858,850
減損損失の取消し(引当)	<u>(115,375,819)</u>	<u>1,854,266</u>	<u>(1,714,331)</u>	-	<u>287,274</u>	<u>(613,421)</u>	<u>(115,562,031)</u>
税引前利益(損失)	<u>(25,560,346)</u>	14,528,567	62,702,840	5,813,704	54,273,447	(37,616,906)	74,141,306
法人所得税							<u>(381,360)</u>
当期純利益							<u>73,759,946</u>
非支配持分							<u>-</u>
セグメント資産	<u>2,306,831,075</u>	101,353,005	544,270,813	-	3,341,934,943	580,535,480	6,874,925,316
セグメント負債	<u>44,115,297</u>	48,063	2,947,572,185	1,851,389,691	1,153,469,237	2,798,212	5,999,392,685
減価償却費	(6,989)	-	(3,556,518)	(6,869)	(10,693)	(6,024,210)	(9,605,279)
資本支出	29,913	-	1,930,982	13,655	5,108	2,447,089	4,426,747

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

34 関連当事者との重要な取引および残高

以下の事業体は、銀行の関連当事者と見なされます。

- UB City Bank およびその子会社 当行の会長は、UB City Bankの取締役会のメンバーです。
- Mongolian National Rare Earth Corp LLC ("MNREC") 当行は2018年12月31日時点でMNRECの純資産持分100.0%を保有している
- Valiant Art LLC 2018年12月31日の時点で、銀行の執行役員の子孫の親族がValiant Art LLCを所有しています。
- MIK Holding JSC およびその子会社("MIK") (\*) (\*)
- Mongolian General Leasing LLC およびその子会社("MGLL") (\*) (\*)
- National News Corporation およびその子会社("NNC") (\*) (\*)
- JCDecaux LLC (\*) (\*)

当行の執行役員とその近親者も当行の関連当事者とみなされます。

(\*) MIK, MGLL, NNC, JCDecaux LLCは、TDBキャピタルLLCの処分時に、銀行の関連当事者から除外されました。以下は、かかる処分前に当行が認識した取引および残高のリストである。

2018年12月31日および2017年に終了した年度における関連当事者との重要な取引および残高は次のとおりでした。

	2018 千MNT	2017 千MNT
<b>UB City Bank およびその子会社(*1):</b>		
<b>12月31日で終了した年度</b>		
金利収入	1,433,619	5,139,394
支払利息	(1,360,972)	(758,866)
純手数料および手数料収入	-	(188)
<b>12月31日時点</b>		
預金および銀行およびその他の金融機関との配置	142	70,660,743
銀行およびその他の金融機関による預金と配置	31,208,078	26,452,916
貸付金	-	21,028
未収金利収入	99	35,607
未収支払利息	33,204	20,348

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

34 関連当事者との重要な取引および残高(続)

	2018 千MNT	2017 千MNT
<b>MIK (*1):</b>		
<b>12月31日で終了した年度</b>		
金利収入	10,051,920	10,676,275
支払利息	(3,784,676)	(6,124,278)
手数料収入	2,946,485	2,447,216
<b>12月31日時点</b>		
有価証券(注記 5)	102,802,800	105,177,000
銀行およびその他の金融機関による預金と配置	-	72,113,000
貸付金	11,198,053	-
未収金利収入	1,275,713	1,356,440
未収支払利息	-	2,754,264
借入金	4,162,660	5,224,622
売掛金	1,193,165	1,028,399
<b>MGLL:</b>		
<b>12月31日で終了した年度</b>		
純手数料および手数料収入	-	300,000
金利収入	244,226	63,707
支払利息	(375,471)	(281,871)
<b>12月31日時点</b>		
銀行およびその他の金融機関による預金配置	-	-
貸付金	17,683,821	10,271,553
未収金利収入	17,566,241	615,773
売掛金	44,696	4,466
未収支払利息	-	82,500
リース債務	8,586	11,293
	1,424,871	2,591,014
<b>NNC:</b>		
<b>12月31日で終了した年度</b>		
支払利息	(2,937)	(1,985)
<b>12月31日時点</b>		
銀行による預金配置	24,193	84,641
売掛金	-	432,000

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

34 関連当事者との重要な取引および残高(続表)

	2018 千MNT	2017 千MNT
JCDecaux LLC:		
<i>12月31日で終了した年度</i>		
営業経費	-	(163,768)
MNREC:		
<i>12月31日時点</i>		
売掛金	562,833	249,774
Valiant Art LLC:		
<i>12月31日で終了した年度</i>		
金利収入	25,343	310,442
<i>12月31日時点</i>		
貸付金	1,857,352	1,966,763
未収金利収入	2,245	2,150
Executive officers:		
<i>12月31日で終了した年度</i>		
金利収入	748,713	626,577
<i>12月31日時点</i>		
貸付金	8,553,338	7,039,486
未収金利収入	49,889	28,063
(*1) その他の取引		
	2018 千MNT	2017 千MNT
UB City Bank およびその子会社		
投資セキュリティの処分	-	12,961,642
MIK:		
投資セキュリティの処分	-	11,428,685

執行役員への融資は、当行の貸付金に含まれています。執行役員に延長された住宅ローンおよびその他のローンに課される金利は、独立企業間取引に課される金利よりも低いです。付与された住宅ローンは、それぞれの借り手の資産によって保護されています。

2018年および2017年12月31日に終了した年度に執行役員および取締役役に支払われた合計報酬および従業員給付は、それぞれ8,632,459千MNTおよび7,844,245千MNTでした。

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**35 金融商品のカテゴリー**

金融資産および金融負債2018年12月31日および2017年12月31日現在のカテゴリーの帳簿価額は次のように要約されました。

(千MNT)

2018年12月31日時点

	取引	保有期間 満期投資	ローンと 売掛金	売却可能 金融資産	償却原価の 金融負債	ヘッジのために保有 されるデリバティブ	合計
<b>金融資産</b>							
現金および預金	-	-	1,294,793,495	-	-	-	1,294,793,495
有価証券	-	1,057,740,563	-	701,400,993	-	-	1,759,141,556
貸付金	-	-	3,054,731,766	-	-	-	3,054,731,766
再販契約の下で購入された請求書 デリバティブ 資産	-	-	-	-	-	379,263,246	379,263,246
その他の資産	-	-	242,729,724	-	-	-	242,729,724
(*1)	-	1,057,740,563	4,592,254,985	701,400,993	-	379,263,246	6,730,659,787
<b>金融負債</b>							
顧客からの預金	-	-	-	-	3,522,766,676	-	3,522,766,676
銀行およびその他の金融機 関による預金と配置	-	-	-	-	182,007,964	-	182,007,964
買戻し条件付き売却手形	-	-	-	-	65,000,000	-	65,000,000
借入金	-	-	-	-	975,825,981	-	975,825,981
発行済債券	-	-	-	-	1,461,246,758	-	1,461,246,758
デリバティブ 負債	1,515,973	-	-	-	-	-	1,515,973
その他の負債(*2)	-	-	-	-	146,285,787	-	146,285,787
	1,515,973	-	-	-	6,353,133,166	-	6,354,649,139

(\*1)前払金、貴金属、在庫品、デリバティブ資産、スポット売掛金を除く

(\*2)未収所得、デリバティブ負債および現物債務を除く

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

35 金融商品のカテゴリー(続き)

(千MNT)

2017年12月31日時点

	取引	満期保有投資	ローンと売掛金	売却可能金 融資産	償却原価 の金融負債	ヘッジのための デリバティブ	合計
<b>金融資産</b>							
現金および預金	-	-	1,073,933,382	-	-	-	1,073,933,382
有価証券	-	1,119,096,011	-	907,190,696	-	-	2,026,286,707
貸付金	-	-	2,764,974,569	-	-	-	2,764,974,569
再販契約に基づいて購入し た請求書	-	-	11,981,945	-	-	-	11,981,945
デリバティブ 資産	-	-	196,541,453	-	-	314,341,681	314,341,681
その他の資産(*1)	-	1,119,096,011	4,047,431,349	907,190,696	-	314,341,681	6,388,059,737
<b>金融負債</b>							
顧客からの預金	-	-	-	-	3,070,233,636	-	3,070,233,636
銀行およびその他の金融機 関による預金と配置	-	-	-	-	243,907,591	-	243,907,591
買戻し契約に基づいて販売さ れた請求書	-	-	-	-	129,960,388	-	129,960,388
借入金	-	-	-	-	1,068,669,444	-	1,068,669,444
発行済債券	6,750	-	-	-	1,344,633,676	-	1,344,633,676
デリバティブ 負債	-	-	-	-	-	-	6,750
その他の負債(*2)	6,750	-	-	-	141,953,944	-	141,953,944
	6,750	-	-	-	5,999,358,679	-	5,999,365,429

(\*1)前払金、貴金属、在庫品、デリバティブ資産、スポット売掛金を除く

(\*2)未収所得、デリバティブ負債および現物債務を除く

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**35 金融商品のカテゴリー(続)**

2018年度および2017年度の金融商品カテゴリー別の純利益(損失)は次のとおりです。

(千MNT)

2018年12月31日で終了した年度

	利息収入	支払利息	手数料 収入	その他 事業収入	減損損失引当金	純利益 (損失)	その他の包 括的収入
満期保有投資	167,424,587	-	-	-	-	167,424,587	-
ローンと売掛金	413,901,624	-	15,925,893	-	(129,132,654)	300,694,863	-
販売可能金融資産	83,183,508	-	-	(3,154,611)	-	80,028,897	(2,984,025)
デリバティブとスポット取引	-	-	-	15,785,496	-	15,785,496	(42,973,435)
償却原価の金融負債	-	(475,765,337)	-	-	-	(475,765,337)	-
	664,509,719	(475,765,337)	15,925,893	12,630,885	(129,132,654)	88,168,506	(45,957,460)

2017年12月31日で終了した年度

	利息収入	支払利息	手数料 収入	その他 事業収入	減損損失引当金	純利益 (損失)	その他の包 括的収入
満期保有投資	183,851,050	-	-	-	-	183,851,050	-
ローンと売掛金	381,907,581	-	17,587,535	-	(114,717,809)	284,777,307	-
販売可能金融資産	47,123,589	-	-	14,168,548	-	61,292,137	(16,497,110)
デリバティブとスポット取引	-	-	-	15,437,750	-	15,437,750	57,466,279
償却原価の金融負債	-	(434,121,831)	-	-	-	(434,121,831)	-
	612,882,220	(434,121,831)	17,587,535	29,606,298	(114,717,809)	111,236,413	40,969,169

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**36 金融リスクマネジメント**

(a)概要

当行は、金融商品から生じる以下のリスクにさらされています。

- 信用リスク
- 流動性リスク
- 市場リスク

この注釈は、上記の各リスクに対する当行のエクスポージャー、当行の目的、リスクを測定および管理するための方針およびプロセス、ならびに当行の資本管理に関する情報を提供します。

リスクマネジメントの枠組み

取締役会は、銀行のリスク管理フレームワークの確立と監督について全体的な責任を負っています。理事会は、資産および負債委員会(「ALCO」)および信用委員会を設立し、指定された分野での銀行のリスクマネジメント方針の策定とモニタリングを担当しています。

当行のリスク管理ポリシーは、当行が直面するリスクを特定および分析し、適切なリスクの制限と管理を設定し、リスクと制限の遵守を監視するために確立されています。リスクマネジメントのポリシーとシステムは定期的に見直され、市場の状況、提供される製品およびサービスの変化を反映しています。当行は、その訓練と管理の基準と手順を通じて、すべての従業員がそれぞれの役割と義務を理解する、規律ある建設的な管理環境の開発を目指しています。

当行の代表取締役会(「RGB」)は、当行のリスクマネジメントのポリシーおよび手順のコンプライアンスの監視、および当行が直面するリスクに関するリスク管理フレームワークの妥当性のレビューを担当しています。RGBは、内部監査によってこれらの機能を支援します。内部監査は、リスクマネジメントの統制と手順の定期的および臨時のレビューを実施し、その結果はRGBに報告されます。

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**36 金融リスクマネジメント(続き)**

**(b) 信用リスク**

信用リスクは、顧客または金融商品の取引相手が契約上の義務を履行できなかった場合の当行の財務損失のリスクであり、主に当行の貸付金および有価証券から発生します。

*信用リスクの管理*

取締役会は、信用リスクの管理責任を信用委員会に委任しました。各支店は、銀行の信用委員会から委任された信用承認機関とともに、銀行の信用ポリシーおよび手順を実施する必要があります。各支店は、信用ポートフォリオの品質とパフォーマンス、および中央承認の対象を含むポートフォリオ内のすべての信用リスクの監視と管理を担当しています。

支店および信用プロセスの定期監査は、内部監査によって行われます。

報告日現在の各引当金を含む貸付金および投資有価証券の純額の分析を以下に示した。不良資産回収プログラム

(「TARP」)への関連ローンの分類およびBOM免除は、特定の資産分類および引当率を適用しました。(注7)

(千MNT)	貸付金		有価証券	
	2018	2017	2018	2017
貸付残高	3,054,731,766	2,764,974,569	1,628,940,103	1,910,686,942
期限超過債権(*)	2,313,565,857	2,477,772,798	1,628,940,103	1,910,686,942
不良債権:	652,856,982	330,117,241	-	-
a) 正常	112,938,733	46,097,859	-	-
b) 要注意	283,636,783	55,778,226	-	-
c) 損失	128,400,067	123,140,907	-	-
総額	3,491,398,422	3,032,907,031	1,628,940,103	1,910,686,942
手当	(436,666,656)	(267,932,462)	-	-
純貸付残高	3,054,731,766	2,764,974,569	1,628,940,103	1,910,686,942
信用状と保証書	318,584,981	471,676,191	-	-
ローンとクレジットカード	189,906,239	166,400,776	-	-
コミットメント	45,172,472	70,325,791	-	-
未積立シンジケートリスク参加	553,663,692	708,402,758	-	-

(\*)この分類に含まれるローンは、契約上の利息または元本の支払い期限が過ぎているものですが、当行は、利用可能な担保/担保のレベルおよび/または当行に支払うべき金額の回収段階に基づいて減損は適切ではないと考えています。

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**36 金融リスクマネジメント(続き)**

**(b) 信用リスク(続き)**

*減損ローンと有価証券*

減損したローンと有価証券は、客観的証拠が資産の最初の認識後に損失事象が発生し、損失事象が資産の将来のキャッシュフローに確実に推定できる影響を与えることを実証するローンと有価証券です。

以下に示すのは、分類ごとの延滞または個別に減損した資産の総額および純額(貸倒損失の手当後)の分析です。

	2018 千MNT			2017 千MNT		
	Gross	Net	公正価値 of collateral(*1)	Gross	Net	公正価値 of collateral(*1)
延滞	652,856,982	567,267,282	558,357,353	330,117,241	252,004,180	242,316,653
正常	112,938,733	74,650,953	74,442,949	46,097,859	32,182,273	32,086,793
要注意	283,636,783	115,609,021	115,555,906	55,778,226	16,246,030	16,152,788
損失(*2)	128,400,067	(69,930)	-	123,140,907	(1,040,231)	-
	1,177,832,565	757,457,326	748,356,208	555,134,233	299,392,252	290,556,234

(\*1)担保の公正価値は、各項目による担保による信用リスクの軽減を表しています。担保の公正価値には、フローティングチャージ、第三者からの保証、その他の有形資産など、その他の種類の信用強化による信用リスクの軽減は含まれません。

(\*2)未使用の信用コミットメントの提供が含まれています。

当行は、資産に対する抵当権益、資産に対するその他の登録証券、および保証の形で、顧客に対する担保としての利息の貸付金を保有している。担保は、一般的に、銀行に対する貸付金を超えて保有されることはありません。ただし、証券がリバース・レボ取引および証券借入活動の一環として保有される場合を除きます。通常、担保は利得有価証券として保持されず、そのような担保は2018年および2017年には保持されませんでした。

ローンの最終的な回収可能性は、実施中または交渉中のさまざまな再編計画の下での債務者の成功、モンゴル経済の状況に応じてローンおよび債務義務を遂行する能力、不利な傾向または他の不利な開発の潜在的な継続など、多くの要因の影響を受けます。その結果、減損したローンの準備金と、当行の財務書類にとって重要となる可能性のある金額の短期的な投資の帳簿価額を調整することが合理的に可能です。

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**36 金融リスクマネジメント(続き)**

**(b) 信用リスク(続き)**

銀行は、部門ごとに信用リスクの集中を監視しています。報告日における信用リスクの集中の分析を以下に示しました。

	2018 千MNT	2017 千MNT
農業	18,613,014	16,092,838
鉱業	218,956,032	255,823,865
製造業	364,296,240	340,965,750
石油輸入販売	120,010,895	80,263,373
商業	754,663,449	602,055,280
建設	450,143,423	389,100,404
電力・給熱	21,131,604	1,387,672
ホテル・レストラン・観光	89,050,885	189,522,217
金融サービス (*)	234,335,271	303,438,332
運輸業	59,246,456	41,955,252
医療	32,670,050	16,165,173
教育	28,073,396	4,344,363
不動産業 支	261,073,098	247,491,200
払いカード	193,208,906	112,245,734
担保付貯蓄	45,998,559	39,676,520
その他	163,260,488	124,446,596
合計	3,054,731,766	2,764,974,569

(\*)当行は、当行の部門法典に従って、その他の業界の会社の株式のみを所有する持株会社を金融サービスとして分類しました。

モンゴルのバンキング法で規定されているように、1人または関連者のグループに提供されるローン、ローン相当資産および保証の合計額は、銀行の総資本の20%を超えないものとします。株主、会長、代表取締役会のメンバー、執行取締役またはグループ役員またはその関係者に提供されるローン、ローン相当資産および保証の最大額は、銀行の資本の5%を超えてはならない、および合計額は、それぞれ銀行の資本の20%を超えないものとします。2018年12月31日時点のローンの集中基準は次のとおりです。

説明	適正比率	12月31日	
		2018	違反
1人の借り手にも与えられたローンと保証	<Eq 20%	17.88%	なし
単一の関連当事者にも与えられたローンと保証	<Eq 5%	2.69%	なし
合計ローンと関連当事者への保証	<Eq 20%	5.38%	なし

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**36 金融リスクマネジメント(続き)**

**(c) 流動性リスク**

流動性リスクは、銀行が金融負債からの義務を果たすのに困難に直面するリスクです。流動性を管理するための当行のアプローチは、可能な限り、通常およびストレス条件の両方で、許容できない損失または当行の評判への損害を被ることなく、いつでもその債務を満たすために十分な流動性を確保することです。

当行は、現在の預金、満期の預金およびローンのドロウダウンからの利用可能な現金リソースの頻繁な呼び出しにさらされています。当行のALCOは、かかる現金流出をカバーするために利用可能な満期資金の最小割合、および予想外の需要レベルでの引き出しをカバーするために設置すべき銀行間およびその他の借入施設の最低レベルに制限を設けています。

*流動性リスクへの暴露*

流動性リスクを管理するために銀行が使用する重要な尺度は、液体資産の総負債に対する比率であり、これはモンゴルのバンキング法に記載された流動性比率と一致しています。

この目的のために、銀行は流動性比率を維持しています。銀行の流動資産に対する手許現金、預金および銀行およびその他の金融機関との配置、BOMおよび有価証券との残高を含む、銀行の流動資産に対する比率として計算されます。顧客からの預金、銀行およびその他の金融機関からの預金および配置、外国の金融機関からのローン、課税および発行済債券を含む。

報告日の報告された比率の詳細は次のとおりです。

	2018	2017
12月31日時点	42%	46%

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**36 金融リスクマネジメント(続き)**

(c) 流動性リスク(続き)

以下の表は、銀行の金融資産・負債を満期・返済までの残りの期間に基づいて、関連するグループに分けた分析です

(千MNT)

2018年12月31日時点	3か月未満	3-6か月	6か月-1年	1-5年	5年超	合計
<b>金融資産</b>						
手許現金	77,762,969	-	-	-	-	77,762,969
銀行及びその他の金融機関の預金*	259,172,568	209,966	8,368,270	4,330,226	7,754,223	279,835,253
中央銀行(BoM)当座預金	937,195,273	-	-	-	-	937,195,273
有価証券	489,307,190	-	46,984,249	1,010,756,314	212,093,803	1,759,141,556
貸付金	222,620,333	181,157,282	507,931,994	1,724,655,888	418,366,269	3,054,731,766
その他の資産(*1)	204,521,827	405	1,881,885	414,395,388	1,193,466	621,992,971
<b>金融負債</b>	<b>2,190,580,160</b>	<b>181,367,653</b>	<b>565,166,398</b>	<b>3,154,137,816</b>	<b>639,407,761</b>	<b>6,730,659,788</b>
顧客からの預金	2,449,906,662	371,705,704	582,080,988	105,760,828	13,312,494	3,522,766,676
銀行及びその他の金融機関の預金	36,454,532	13,214,600	14,728,892	117,609,940	-	182,007,964
買戻し契約に基づいて販売された請求書	-	-	-	65,000,000	-	65,000,000
借入金	132,393,355	38,247,329	216,183,931	581,172,064	7,829,302	975,825,981
発行済債券	-	-	-	1,461,246,758	-	1,461,246,758
その他の負債(*2)	67,937,715	20,311,910	27,752,646	30,377,939	1,421,550	147,800,760
発行された金融保証契約	318,584,981	-	-	-	-	318,584,981
認識されていないローンコミットメント	189,906,239	-	-	-	-	189,906,239
未積立のシンジケートリスク参加	45,172,472	-	-	-	-	45,172,472
	<u>3,240,355,956,443</u>	<u>479,543,840,746</u>	<u>457,236,167,529</u>	<u>22,563,346,908</u>	<u>312,831</u>	<u>3,240,355,956,443</u>
金融資産/(負債)純額	<u>(1,049,775,796)</u>	<u>(262,111,890)</u>	<u>(275,580,059)</u>	<u>792,970,287</u>	<u>616,844,415</u>	<u>(177,653,043)</u>

(\*1)前払い、貴金属、在庫品を除く  
 (\*2)未収入を除く

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**36 金融リスクマネジメント(続き)**

(c) 流動性リスク(続き)

(千MNT)

2017年12月31日時点	3か月未満	3-6か月	6か月-1年	1-5年	5年超	合計
<b>金融資産</b>						
手許現金	62,641,118	-	-	-	-	62,641,118
銀行及びその他の金融機関の預金	218,623,755	-	-	-	-	218,623,755
中央銀行(BoM)当座預金	792,668,509	-	-	-	-	792,668,509
再販で購入した請求書	11,981,945	-	-	-	-	11,981,945
契約有価証券	684,543,820	1,863,585	64,731,736	822,689,169	452,458,397	2,026,286,707
貸付金	252,267,353	266,652,507	425,932,380	1,448,374,385	717,747,944	2,764,974,569
その他の資産(*1)	<u>152,896,045</u>	<u>70,626,244</u>	<u>2,442,016,345</u>	<u>3,777,776</u>	<u>10,096,671</u>	<u>510,883,134</u>
	<u>2,175,622,545</u>	<u>268,586,718</u>	<u>493,106,132</u>	<u>2,616,441,330</u>	<u>834,303,017</u>	<u>6,388,059,737</u>
<b>金融負債</b>						
顧客からの預金	891,225,663	599,280,346	665,078,478	912,015,449	2,633,700	3,070,233,636
銀行及びその他の金融機関の預金	52,048,414	30,584,572	137,257,221	24,017,384	-	243,907,591
買戻し販売された請求書	-	-	64,960,388	65,000,000	-	129,960,388
借入金	142,351,013	95,361,575	378,200,684	280,595,934	172,160,237	1,068,669,443
発行済債券	-	-	-	1,344,633,676	-	1,344,633,676
発行済劣後債	-	-	-	-	-	-
その他の負債(*2)	75,868,662	16,902,622	28,155,663	20,691,917	341,830	141,960,694
発行済信用保証契約	471,676,191	-	-	-	-	471,676,191
認識されていないローンコミットメント	166,400,776	-	-	-	-	166,400,776
未積立のシンジケートリスク参加	<u>70,325,791</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>70,325,791</u>
	<u>1,869,896,510</u>	<u>742,129,115</u>	<u>1,273,652,434</u>	<u>2,646,954,360</u>	<u>175,135,767</u>	<u>6,707,768,186</u>
金融資産/(負債)純額	<u>305,726,035</u>	<u>(473,542,397)</u>	<u>(780,546,302)</u>	<u>(30,513,030)</u>	<u>659,167,245</u>	<u>(319,708,449)</u>

(\*1)前払い、貴金属、在庫品を除く (\*2)未収入を除く

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

### 36 金融リスクマネジメント(続き)

#### (d) 市場リスク

市場リスクは、金利や為替相場などの市場価格の変動がグループの収益または金融商品の保有価値に影響を与えるリスクである。市場リスク管理の目的は、市場リスクの許容範囲を許容範囲内で管理し、リスクリターンを最適化することである。

#### 資産査定(AQR)

2017年5月24日、国際通貨基金(IMF)の理事会は、モンゴルの拡張信用供与措置(EFF)の下で、同国の経済改革プログラムを支援するための3年間の拡張契約を承認しました。合計融資パッケージは、アジア開発銀行、世界銀行、日本、韓国、中国からの支援を含めて、約55億ドルです。このプログラムの柱の1つは、バンキングシステムを修復し、モンゴル銀行を強化する包括的な取り組みです。プログラムの一環として、モンゴル銀行は、資産査定(AQR)を含むモンゴルの商業銀行に関する診断研究を委託しました。AQRは、主に欧州中央銀行のAQRマニュアルのバージョン2をモンゴル銀行がいくつかの分野でローカライズしたものに基いて実行されました。

2018年5月、モンゴル銀行は、AQRで見つかった不良債権と銀行の事業計画に基づくストレステストの結果に基づいて、2018年1月に行われた評価を2018年末の予測資本ニーズを反映するように更新したことを銀行に通知しました。これにより、2018年末までにバンキングシステムがGDPの3.1%に引き上げる必要があった新しい資本の必要量に変更されました。2018年9月に、商業銀行はAQRが要求するすべての追加の引当を予約しましたが、IMFがEFFの5回目のレビュー報告で述べたように返済されたローンによってのみ調整されました。

これらの財務諸表の承認日現在、貿易開発銀行はAQRの結果に必要なすべての見通しを立て、資本調達期限に合わせて上記の不足に対処するために十分な新規資本を調達しました。

#### 市場リスクの管理

銀行は、財政状態およびキャッシュフローに対する市場利息率の実勢レベルの変動の影響にさらされています。利息率リスクは、市場利息率の変化がマージンと純収入にどの程度影響するかによって測定されます。利息を有する資産の用語構造が、利息率の変動の結果として増加または減少する金利収入の負債純額とは異なります。

利息率リスクは、当行の経営陣が指定した限度内でポジションを増減することにより管理されます。これらの制限により、利息率の変動が利息マージンおよび利息に敏感な資産および負債の価値に及ぼす潜在的な影響が制限されます。

市場リスクの全体的な権限はALCOに帰属しています。

#### 金利リスクへのエクスポージャー

銀行の金融資産と負債がさらされる主なリスクは、市場利息率の変化による将来のキャッシュフローまたは金融商品の公正価値の変動による損失のリスクです。利息レートリスクは、主にモニタリング利息レートギャップを介して、および帯域幅の再設定に対して事前に承認された制限を設けることにより管理されます。当行の金融資産および負債に対する利息率格差ポジションの概要は以下のとおりです。

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社

決算書に対する注記

2017年および2018年12月31日

36 金融リスクマネジメント(続き)

(d) 市場リスク(続き)

2018年12月31日時点

(千MNT)

	平均 利率	合計	利息非依存	3か月未満	3-6か月	6か月-1年	1-5年	5年超
<b>金融資産</b>								
手許現金	-	77,762,969	77,762,969	-	-	-	-	-
銀行及びその他の金融機関の預金	2.19%	279,835,253	216,336,102	42,836,466	209,966	8,368,270	4,330,226	7,754,223
中央銀行(BoM)当座預金	-	937,195,273	937,195,273	-	-	-	-	-
有価証券	12.63%	1,759,141,556	147,198,453	468,396,740	-	46,984,249	1,010,756,314	85,805,800
貸付金	15.20%	3,054,731,766	-	222,620,333	181,157,282	507,931,994	1,724,655,888	418,366,269
その他の資産 (*1)	-	621,992,971	621,992,971	-	-	-	-	-
		<u>6,730,659,788</u>	<u>2,000,485,768</u>	<u>733,853,539</u>	<u>181,367,248</u>	<u>563,284,513</u>	<u>2,739,742,428</u>	<u>511,926,292</u>
<b>金融負債</b>								
顧客からの預金	6.52%	3,522,766,676	-	2,449,906,662	371,705,704	582,080,988	105,760,828	13,312,494
銀行及びその他の金融機関の預金	4.21%	182,007,964	33,728,693	2,725,839	13,214,600	14,728,892	117,609,940	-
買戻し条件付き売却手形	7.50%	65,000,000	-	-	-	-	65,000,000	-
借入	6.01%	975,825,981	-	132,393,355	38,247,328	216,183,931	581,172,065	7,829,302
発行済債券 その他の 負債(*2)	9.34%	1,461,246,758	-	-	-	-	1,461,246,758	-
	-	<u>147,801,760</u>	<u>147,801,760</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
		<u>6,354,649,139</u>	<u>181,530,453</u>	<u>2,585,025,856</u>	<u>423,167,632</u>	<u>812,993,811</u>	<u>2,330,789,591</u>	<u>21,141,796</u>
金融資産/(負債)純額		<u>376,010,649</u>	<u>1,818,955,315</u>	<u>(1,851,172,317)</u>	<u>(241,800,384)</u>	<u>(249,709,298)</u>	<u>408,952,837</u>	<u>490,784,496</u>

(\*1)前払い、貴金属、在庫品を除く (\*2)未収収入を除く

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**36 金融リスクマネジメント(続き)**

(d) 市場リスク(続き)

2017年12月31日時点

(千MNT)

	平均 利率	合計	利息非依存	3か月未満	3-6か月	6か月-1年	1-5年	5年超
<b>金融資産</b>								
手許現金	-	62,641,118	62,641,118	-	-	-	-	-
銀行及びその他の金融機関の預金								
中央銀行(BoM)当座預金	0.40%	218,623,755	210,623,755	8,000,000	-	-	-	-
有価証券 貸付金	-	792,668,509	792,668,509	-	-	-	-	-
再販契約の下で購入された請求書	12.30%	2,026,286,707	115,599,765	684,543,820	1,863,585	64,731,736	822,689,169	336,858,632
その他の資産(*1)	14.16%	2,764,974,569	-	252,267,353	266,652,507	425,932,380	1,448,374,385	371,747,944
	11.00%	11,981,945	-	11,981,945	-	-	-	-
	-	510,883,134	510,883,134	-	-	-	-	-
		<u>6,388,059,737</u>	<u>1,692,416,281</u>	<u>956,793,118</u>	<u>268,516,092</u>	<u>490,664,116</u>	<u>2,271,063,554</u>	<u>708,606,576</u>
<b>金融負債</b>								
顧客からの預金	7.15%	3,070,233,636	-	891,225,663	599,280,346	665,078,478	912,015,449	2,633,700
銀行及びその他の金融機関の預金								
買戻し条件付き売却手形 借入	3.89%	243,907,591	44,978,823	7,069,591	30,584,572	137,257,221	24,017,384	-
発行済債券	7.50%	129,960,388	-	-	-	64,960,388	65,000,000	-
その他の負債(*2)	5.89%	1,068,669,443	-	142,351,013	95,361,575	378,200,684	280,595,934	172,160,237
	9.40%	1,344,633,676	-	-	-	-	1,344,633,676	-
	-	141,960,694	141,960,694	-	-	-	-	-
		<u>5,999,365,428</u>	<u>186,939,517</u>	<u>1,040,646,267</u>	<u>725,226,493</u>	<u>1,245,496,771</u>	<u>2,626,262,443</u>	<u>174,793,937</u>
金融資産/(負債)純額		<u>388,694,309</u>	<u>1,505,476,764</u>	<u>(83,853,149)</u>	<u>(456,710,401)</u>	<u>(754,832,655)</u>	<u>(355,198,889)</u>	<u>533,812,639</u>

(\*1)前払い、貴金属、在庫品を除く (\*2)未収収入を除く

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

36 金融リスクマネジメント(続き)

(d) 市場リスク(続き)

利率のギャップ制限に対する利率リスクの管理は、さまざまな標準および非標準利率シナリオに対する当行の金融資産および負債の感度をモニタリングすることにより補完されます。100ベースポイント(bp)に対する利率の増加または減少に対する銀行の感度の分析(利回り曲線に非対称な動きがないこと、および財政状態の一定の計算書を想定)は次のとおりです。

	100 bp パラレル 増加 千MNT	100 bp パラレル 減少 千MNT
<b>純受取利息の感度</b>		
2018		
12月31日	<u>(18,333,283)</u>	<u>18,333,283</u>
2017		
12月31日	<u>(5,475,237)</u>	<u>5,475,237</u>

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

36 金融リスクマネジメント(続き)

(d) 市場リスク(続き)

外国為替レートへのエクスポージャー

当行は、財政状態およびキャッシュフローに対する実勢外国為替レートの変動の影響にさらされている。当行の経営陣は、通貨(主にUSD)および合計でエクスポージャーのレベルに制限を設けています。これらの制限は、BOMによって設定された最小要件にも準拠しています。

(千MNT)	2018			2017		
	MNT 建て	外貨建て	合計	MNT 建て	外貨建て	合計
<b>金融資産</b>						
手許現金	38,314,688	39,448,281	77,762,969	29,654,491	32,986,627	62,641,118
銀行及びその他の金融機関の預金	42,625,096	237,210,157	279,835,253	78,660,742	139,963,013	218,623,755
Bom当座預金						
	202,982,243	734,213,030	937,195,273	211,450,889	581,217,620	792,668,509
有価証券	1,733,928,961	25,212,595	1,759,141,556	2,024,416,596	1,870,111,202	3,894,527,798
貸付金	1,984,893,324	1,069,838,442	3,054,731,766	1,456,036,564	1,308,938,005	2,764,974,569
再販契約で購入した請求書	-	-	-	11,981,945	-	11,981,945
その他の資産(*1)	<u>527,526,414</u>	<u>94,466,557</u>	<u>621,992,971</u>	<u>439,258,809</u>	<u>71,624,325</u>	<u>510,883,134</u>
	<u>4,530,270,726</u>	<u>2,200,389,062</u>	<u>6,730,659,788</u>	<u>4,251,460,036</u>	<u>2,136,599,701</u>	<u>6,388,059,737</u>
<b>金融負債</b>						
顧客からの預金	1,996,652,009	1,526,114,667	3,522,766,676	1,581,674,987	1,488,558,649	3,070,233,636
銀行及びその他の金融機関の預金	2,885,332	179,122,632	182,007,964	11,234,388	232,673,203	243,907,591
買戻契約に基づいて販売された請求書	65,000,000	-	65,000,000	129,960,388	-	129,960,388
借入金	338,006,949	637,819,032	975,825,981	474,887,313	593,782,131	1,068,669,444
発行済債券	160,000,000	1,301,246,758	1,461,246,758	160,000,000	1,184,633,676	1,344,633,676
その他の負債(*2)	<u>88,500,540</u>	<u>59,301,220</u>	<u>147,801,760</u>	<u>80,065,127</u>	<u>61,895,567</u>	<u>141,960,694</u>
	<u>2,651,044,830</u>	<u>3,703,604,309</u>	<u>6,354,649,139</u>	<u>2,437,822,203</u>	<u>3,561,543,226</u>	<u>5,999,365,429</u>
<b>オフバランスの外貨</b>						
エクスポージャー(純額)		<u>1,319,708,331</u>			<u>1,274,120,623</u>	
純外貨		<u>(183,506,915)</u>			<u>(150,822,902)</u>	

(\*1) 前払い、貴金属、在庫品を除く

(\*2) 未収入金を除く

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**36 金融リスクマネジメント(続き)**

(d) 市場リスク(続き)

**為替レートリスクのエクスポージャー(続き)**

2017年および2018年12月31日のUSDに対するMNTの10%の強化または弱体化により、以下に示す金額だけ包括的な収入が増加(減少)します。この分析は、すべてのその他の変数、特に利率が一定のままであることを前提としています。

	10% 強含み 千MNT	10% 弱含み 千MNT
2018 12月31日	18,350,692	(18,350,692)
2017 12月31日	15,822,902	(15,822,902)

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**36 金融リスクマネジメント(続き)**

(e) 資本管理

BOMは、銀行全体の資本要件を設定および監視します。

モンゴル銀行は、銀行が2018年および2017年12月31日時点でリスク調整後の合計資本および総資産(「CAR」)に基づき、最低14.0%の自己資本比率を維持することと、2017年および2018年12月31日時点でリスク調整後の総資産(「TCAR」)に基づいて、最低9%の合計ティア1資本を維持することを要求しています。

資本ベースの要素にはさまざまな制限が適用されます。適格なティア2資本はティア1資本を超えることはできません。劣後借入金資本は、Tier 1資本の50%を超えることはできません。

リスク加重資産は、資産およびオフバランスシートエクスポージャーに付随するさまざまなレベルのリスクを反映しようとする特定の要件に従って決定されます。

銀行の方針は、投資家、債権者および市場の信頼を維持し、事業の将来の発展を維持するために、強固な資本基盤を維持することです。資本のレベルが株主のリターンに与える影響も認識されており、当行は、より大きなギアリングで得られる可能性のあるより高いリターンと、健全な資本ポジションによってもたらされる利点とセキュリティとのバランスを維持する必要性を認識しています。

銀行は、期間を通じて外部から課せられたすべての資本要件を遵守しました。当年度中、当行の資本管理に重大な変更はなかった。

2015年4月1日、モンゴル銀行総裁は命令A-58を発表しました。これにより、銀行は2015年12月31日までに自己資本を500億MNTに増やし、2018年12月31日までに配当を支払わないことが求められます。

銀行の自己資本の適正比率2018年12月31日および2017年12月31日現在、それぞれ次のとおりでした。

	2018 千MNT	2017 千MNT
Tier 1 資本	735,459,708	638,055,602
Tier 2 資本	131,985,976	136,612,874
合計 Tier 1 および Tier 2 資本	867,445,684	774,668,476
リスク加重資産	4,443,613,674	4,549,854,176
<b>資本比率</b>		
規制上の総資本に対する合計リスク加重資産(「CAR」)の比率	19.52%	17.03%
リスク配分資産(「TCAR」)に対する合計ティア1資本の比率	16.55%	14.02%

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**37 金融資産および負債の公正価値**

**公正価値および公正価値の階層の決定**

銀行は、測定に使用される重要なインプットのレベルに基づいて金融商品の公正価値を決定および開示するために、以下の階層に従います。

レベル1: 公正価値は、同一の資産または負債の活発な市場での相場価格に基づいています

レベル2: 費用価値の測定に使用される入力値は、直接的または間接的に市場で観測可能な入力値です。

レベル3: 評価手法は、重要なインプットが観測可能な市場データに基づいていない公正価値を推定するために使用されます。

**金融資産および負債の財政価値**

当行は、財務諸表の公正価値で計上されていない金融商品の公正価値を次のように決定します。

**(i) 公正価値が帳簿価額に近似する金融資産および金融負債**

流動性のある、または1年未満の短期満期を有する金融資産および金融負債の場合、貸付資金はそれぞれの予算価値に近似すると想定されます。この仮定は、需要預金、時間預金および変動金利金融商品にも適用されます。これは、主に、類似の預金商品に提供される現在の市場金利が開始時の市場金利と大きく変わらないという事実によるものです。

**(ii) 固定金利の金融商品**

償却原価ベースで運ばれる固定金利の金融資産と負債の財政価値は、最初に認識されたときの市場利率とモンゴルで利用可能な同様の金融商品に提供されている現在の市場利率を比較することによって推定されます。発行された相場債については、相場は相場の相場価格に基づいて測定され、観察可能な市場投入が入手できない場合、割引されたキャッシュフローモデルが採用されます。

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**37 金融資産および負債の公正価値 (続き)**

(千MNT)

注記	2018		2017	
	簿価	公正価値	簿価	公正価値
<b>金融資産</b>				
手許現金	4	77,762,969	77,762,969	62,641,118
銀行及びその他の金融機関の預金	4	1,217,030,526	1,217,030,526	1,011,292,264
有価証券 貸付金	5	1,759,141,556	1,819,877,590	2,026,286,707
再販で購入した請求書	7	3,054,731,766	3,106,425,444	2,764,974,569
契約				2,806,470,750
その他の資産(*1)	8	-	-	11,981,945
	13	<u>6,21,992,971</u>	<u>6,21,992,971</u>	<u>5,10,883,134</u>
		<u>6,730,659,788</u>	<u>6,843,089,501</u>	<u>6,388,059,737</u>
			<u>6,509,792,775</u>	
<b>金融負債</b>				
顧客からの預金	15	3,522,766,676	3,505,460,751	3,070,233,636
銀行及びその他の金融機関の預金	16	182,007,964	182,007,964	243,907,591
買戻して販売された請求書	17	65,000,000	65,000,000	129,960,388
契約	18	975,825,981	975,825,981	1,068,669,444
借入金	19	1,461,246,758	1,501,693,090	1,344,633,676
発行済債券 その他の負債(*2)	20	<u>147,801,760</u>	<u>147,801,760</u>	<u>141,960,694</u>
		<u>6,354,649,139</u>	<u>6,377,789,546</u>	<u>5,999,365,429</u>
			<u>6,081,751,842</u>	

(\*1) 前払い、貴金属、在庫品を除く

(\*2) 未収収入を除く

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**37 金融資産および負債の公正価値 (続き)**

財政状態計算書2018年12月31日および2017年12月31日現在の公正価値で測定される金融商品の公正価値階層は次のとおりでした。

(千MNT)

	2018			合計
	レベル1	レベル2(*2)	レベル3(*3)	
有価証券 (AFS)(*1) デリバティブ 資産	51,388,358	571,199,540	-	622,587,898
	-	-	379,263,246	379,263,246
	51,388,358	571,199,540	379,263,246	1,001,851,144
デリバティブ 負債	-	1,515,973	-	1,515,973

(\*1) 2018年12月31日時点、差し戻された資産、およびそれぞれ75,260,890千MNTおよび3,552,205千MNTに相当する引用されていない純資産証券原価を除く

(\*2) レベル2の金融商品の公正価値は、市場で観測可能な利率や外国通貨の為替レートなどを用いた評価手法により測定されました。2018年12月31日で終了した年度のレベル1とレベル2の間の移行はありませんでした。

(\*3) レベル3の金融商品の財政価値は、市場で観察不能な先物為替レートを使用した割引キャッシュフロー法により測定されました。2018年12月31日時点のUSDからMNTへの為替レートは2,915.30です。

2018年12月31日時点の市場で観測不能な入力の10%の強含み(弱含み)は、その他の包括利益を121,170,478千MNT増加(減少)になります。

レベル3の金融商品に関連する利益または損失およびその他の包括利益で認識された期間の合計利得または損失は、2018年12月31日で終了した年度の349,865,000千MNTおよび29,398,246千MNTでした。

2018年12月31日で終了した年度のレベル3とその他のレベルとの間の移行はありませんでした。

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**37 金融資産および負債の公正価値 (続き)**

(千MNT)

	2017			合計
	レベル1	レベル2(*2)	レベル3(*3)	
有価証券 (AFS)(*1) デリバティブ 資産	22,898,445	791,590,931	-	814,489,376
	-	-	314,341,681	314,341,681
	22,898,445	791,590,931	314,341,681	1,128,831,057
デリバティブ 負債	-	6,750	-	6,750

(\*1) 2017年12月31日時点で、それぞれ、92,257,890千MNTおよび443,430千MNTに相当する、差し戻された資産および引用されていない純資産証券原価を除く

(\*2) レベル2の金融商品の公正価値は、市場で観測可能な利率や外国通貨の為替レートなどを用いた評価手法により測定されました。2017年12月31日で終了した年度のレベル1とレベル2の間の移行はありませんでした。

(\*3) レベル3の金融商品の財政価値は、市場で観察不能な先物為替レートを使用した割引キャッシュフロー法により測定されました。2017年12月31日時点のUSDからMNTへの為替レートは2,931.70です。

市場2017年12月31日時点で観測不能な入力の10%の強含み(弱含み)は、その他の包括利益を106,031,576千MNT増加(減少)させます。

レベル3の金融商品に関連する利益または損失およびその他の包括利益で認識された期間の合計利得または損失は、2017年12月31日で終了した年度の241,970,000千MNTおよび72,371,681千MNTでした。

2017年12月31日で終了した年度のレベル3とその他のレベルとの間の移行はありませんでした。

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**37 金融資産および負債の公正価値(続き)**

財政状態計算書2018年12月31日および2017年12月31日現在の公正価値で測定されていない金融商品の公正価値階層は次のとおりでした。

(千MNT)

	2018			合計
	レベル1	レベル2	レベル3	
手許現金	77,762,969	-	-	77,762,969
銀行及びその他の金融機関の預金	-	-	1,217,030,526	1,217,030,526
有価証券(HTM)	-	1,118,476,597	-	1,118,476,597
貸付金	-	-	3,106,425,444	3,106,425,444
その他の資産(*1)	-	-	242,729,724	242,729,724
	<u>77,762,969</u>	<u>1,118,476,597</u>	<u>4,566,185,694</u>	<u>5,762,425,260</u>
顧客からの預金	-	-	3,505,460,751	3,505,460,751
銀行及びその他の金融機関の預金	-	-	182,007,964	182,007,964
買戻して販売された請求書	-	-	65,000,000	65,000,000
契約	-	-	975,825,981	975,825,981
借入金	-	1,501,693,090	-	1,501,693,090
発行済債券	-	-	146,285,788	146,285,788
その他の負債(*2)	-	-	4,874,580,484	4,874,580,484
	<u>-</u>	<u>1,501,693,090</u>	<u>4,874,580,484</u>	<u>6,376,273,574</u>

(\*1)前払い、貴金属、在庫品、デリバティブ資産、スポット売掛金を除く

(\*2)未稼得の収入、デリバティブ負債、および買掛金を除く

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**37 金融資産および負債の公正価値(続き)**

(千MNT)

	2017			合計
	レベル1	レベル2	レベル3	
手許現金	62,641,118	-	-	62,641,118
銀行及びその他の金融機関の預金	-	-	1,011,292,264	1,011,292,264
有価証券(HTM)	-	1,199,332,868	-	1,199,332,868
貸付金	-	-	2,806,470,750	2,806,470,750
再販で購入した請求書	-	-	-	-
契約	-	-	11,981,945	11,981,945
その他の資産	-	-	196,541,453	196,541,453
(*1)	<u>62,641,118</u>	<u>1,199,332,868</u>	<u>4,026,286,412</u>	<u>5,288,260,398</u>
顧客からの預金	-	-	3,048,074,877	3,048,074,877
銀行及びその他の金融機関の預金	-	-	243,907,591	243,907,591
買戻して販売された請求書	-	-	129,960,388	129,960,388
契約	-	-	1,068,669,444	1,068,669,444
借入金	-	1,449,178,848	-	1,449,178,848
発行済債券	-	-	141,953,944	141,953,944
その他の負債(*2)	-	-	4,632,566,244	4,632,566,244
	<u>-</u>	<u>1,449,178,848</u>	<u>4,632,566,244</u>	<u>6,081,745,092</u>

(\*1)前払金、貴金属、在庫品、デリバティブ資産、スポット売掛金を除く

(\*2)未稼得の収入、デリバティブ負債、および買掛金を除く

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**38金融資産と負債の相殺**

相殺対象の金融資産および金融負債、強制力のあるマスターネットティング契約、および同様の契約2018年12月31日時点および2017年の詳細は以下のとおりです。

(FMNT)

	2018					合計
	認識された金融 資産及び負債	認識された金融資 産と負債の相殺	相殺後に認識された 金融資産・負債	金融商品	受け取った現金担保	
<b>金融資産</b>						
再販で購入した請求書契 約(*1)	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
<b>金融負債</b>						
買戻して販売された請求書 契約(*1)	65,000,000	-	65,000,000	65,000,000	-	-
	65,000,000	-	65,000,000	65,000,000	-	-

(\*1)再販および買戻契約、証券買取および貸付契約も、強制力のあるネットティング契約に関するISDA契約と類似しています。

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

38 金融資産と負債の相殺(続き)

(千MNT)

	2017					
	認識された 金融資産と負債	認識された金融資産 と負債の相殺	相殺後の認識された 金融資産・負債	財務諸表で相殺されない金額		合計
			金融商品	受け取った現金担保		
<b>金融資産</b>						
再販で購入した請求書契 約(*1)	11,981,945	-	11,981,945	11,981,945	-	-
	<u>11,981,945</u>	<u>-</u>	<u>11,981,945</u>	<u>11,981,945</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
<b>金融負債</b>						
買戻しで販売された請求書 契約(*1)	129,960,388	-	129,960,388	129,960,388	-	-
	<u>129,960,388</u>	<u>-</u>	<u>129,960,388</u>	<u>129,960,388</u>	<u>-</u>	<u>-</u>

(\*1) 再販および買戻し契約、証券買取および貸付契約も、強制力のあるネットティング契約に関するISDA契約と類似しています。

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**39 コミットメントと偶発債務**

**金融保証と信用状**

銀行はいつでも信用を延長するための未払いのコミットメントを有しており、これらのコミットメントは承認されたローンの未引出部分、クレジットカードの限度額、当座貸越の形をとる。

銀行は、顧客の第三者の業績を保証するために、財務保証と信用状を提供しています。これらの契約には一定の制限があり、通常1年未満の期間延長されます。当行はまた、証券貸借取引および貸出取引において決済代行者として行動することにより保証を提供します。コミットメントと偶発債務の契約上の金額は、カテゴリごとに次の表に記載されています。

保証および信用状の表に反映されている金額は、取引相手が契約どおりに履行できなかった場合に、報告日でエクスポージャーから信用までの最大リスクが認識された最大値を表します。

	2018 千MNT	2017 千MNT
12月31日時点		
信用状および保証書	318,584,981	471,676,191
ローンおよびクレジットカード契約	189,906,239	166,400,776
未払いのシングルリスク参加	45,172,472	70,325,791

偶発的な負債およびコミットメントの大部分は、全体または一部が進行することなく失効します。したがって、金額は予想される将来のキャッシュフローを表すものではありません。

**その他の事項**

2017年2月10日、モンゴル国会は、MCC(Mongolian Copper Corporation LLC)(MCC)によるErdenet Mining Corporation LLC(EMC)の持分49%の取得に関する決議第23号を公表した。この決議に基づき、モンゴル政府(GoM)は、2017年3月29日に国有財産管理調整局(SPMCD)がMCCの49%の株式を国有企業に移転するよう指示した。SPMCDはそれぞれの決定を下し、知的財産国家登録局(GDIPSR)は、SPMCDの唯一の代表者がMCCIに通知することなく開催した株主総会の承認を得てEMCの改定定款を登録した。

MCCは、(1)MCCの49%の株式を国に不法に譲渡したこと、(2)違法に改正したEMCの定款に関連するMCCが侵害された権利と利益を回復するためのSPMCDおよびGDIPSRに対する民事訴訟請求を提起した。

モンゴルの民事裁判所、控訴裁判所、最高裁判所は、請求を審査し、MCCIに有利な判決を下した。モンゴル最高裁判所は、議会決議は特別株主総会を開催し、補償なしに株主の権利を制限する根拠とはならないと裁定した。株主総会を開催する手続は、法律が定める規則および手続きを遵守するものとする。最高裁の決定に基づき、GDIPSRに登録されたMCCの持分49%は有効なままである。

2018年1月4日に、GoMは、MCCのEMCに対する49%の持分を国有財産に譲渡することを要求するその他の決議を発行しました。これと引き換えに、GoMは、EMCで49%の利息を取得したときにMCCが支払った費用で、GoM（モンゴル開発銀行を含む）と銀行の間のローンおよび担保契約に従ってGoMによって銀行に延長された未払いローンを相殺することを決定しました。MCCIは、解決策とその後の決定を無効にするために、GoM、SPMCD、およびGDIPSRに対して利益を主張しました。

2018年2月9日に、第一審行政裁判所はGoMの決議の実施とその後の決定を停止することを決定しました。

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**39 コミットメントと偶発債務(続き)**

**その他の事項(続き)**

2018年7月19日、行政事件の控訴裁判所も判決を支持しました。  
 2018年9月19日、モンゴルの最高裁判所はこの事件を審理し、下級裁判所の決定を支持しました。ただし、SPMCDは出資をMCCIに譲渡せず、2018年9月19日に下された最高裁判所の判決を尊重していません。

2018年のモンゴル最高裁の判決にもかかわらず、GoMは、EMCの問題に関して2016年に行われた以前のGoM会議議事録を2019年3月にリリースし、MCCがEMCの49%の株式を取得するための資金調達に違法であると主張しました。

2019年3月6日、GoMは、政府法およびその他の関連法に基づいて、EMCで6か月間の緊急体制を設定する決議を発表しました。緊急体制の期間中は、EMCなどの運用が中断されることはなく、財務書類のみが検査されます。首相は、決議を実施するためのワーキンググループを設立しました。

GoMは、政府の決定により、EMCを100%国営企業(SOE)として再構築しました。検察庁は、銀行の経営陣およびその他を法廷で訴訟を起こすには証拠が不十分であるため、訴訟ファイルを返しました。

GoMの申し立てには、Kanetic LLC(68百万USD)、United Energy System LLC(70百万USD)およびMCC(75百万USD)への融資と、Riverstone Properties LLC(EMCステークの購入時に7000万USD)への支払いが含まれています。Kanetic LLCへの68百万USDの融資は全額返済され、2017年には銀行は28.0百万USDおよび911億MNTの新規融資に拡大しました。

2018年12月31日の時点で、Kanetic LLCへのローン、MCCへの6280万USD、およびRiverstone Properties LLCに関連する支払いが行われている建設中の9,000万USDのローンは、財務諸表に記載されています。

銀行は、最高裁判所の判決により、これらの取引は違法な資金ではないと断言しており、GoMによる申し立てにもかかわらず、ローンとRiverstone Properties LLC(Riverstone)の建設進捗に影響はないと考えています。

しかし、銀行は、リバーストーンの監査報告から、新しい本社ビルの建設のために銀行から支払われた資金の一部が、リバーストーンによってMCCIに支払われたことを認識しました。当行は、RiverstoneによるMCCへの前払い金の貸付に関連する法律に違反していると結論づける法務上の根拠はないと考えており、契約に定められた期間内にRiverstoneが義務を履行しなかった場合、銀行はモンゴルの民法に基づく契約の放棄に起因する損害について補償を要求する権利を有します。銀行はリバーストーンと協力しており、建設の進捗を引き続き監視します。

EMCでの6か月間の緊急体制下でのGoMによる財務書類の検査が現在進行中であるため、この問題の最終的な結果を現在判断することはできません。したがって、財務諸表には引当金が記録されていません。

モンゴル貿易開発銀行およびその子会社  
**決算書に対する注記**  
 2017年および2018年12月31日

**40非連結化法人の利息**

2017年および2018年12月31日としての非統合化法人の利息に関連するリスクの性質は次のとおりです。

タイプ	自然と目的	ファイナンス	総資産	
			2018 千MNT	2017 千MNT
発生:				
貸出金証券 化手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>銀行の融資活動のための資金。</li> <li>融資手数料</li> </ul>	人民元債	2,868,123,771	2,559,588,842
			これらの投資手段は、投資家への ノート発行を通じて資金提供される	

2018年12月31日および2017年12月31日現在の非連結構造化法人の利息に関連するリスクへのエクスポージャーは次のとおりです。

	2018 千MNT	2017 千MNT
<b>有価証券</b>		
貸出金のための証券化手段	102,802,800	105,177,000



**TDB**

TRADE & DEVELOPMENT BANK



---

**MORE INFORMATION:**

**Phone:** +976 1900-1977  
**E-mail:** [info@tdbm.mn](mailto:info@tdbm.mn)  
**Website:** [www.tdbm.mn](http://www.tdbm.mn)